

令和 2 年度

業 務 年 報

令和 3 年 3 月

鳥 取 県 病 害 虫 防 除 所

目 次

I 病害虫防除所の概要

1 組織・業務体制の変遷	1
2 業務内容	2
3 組織・人員	
(1) 職員	2
(2) 病害虫発生状況調査は調査員	3
(3) 病害虫防除所および関係機関の体制	4

II 病害虫発生予察事業

1 事業の目的	5
2 事業実施方針	5
3 対象病害虫の種類	5
4 発生予察情報の種類と用語の使用法	7
5 令和2年度に発表した情報	
(1) 発表状況	9
(2) 内 容	
ア 警 報	10
イ 注意報	10
ウ 特殊報	17
エ 発生予報	19
オ 指導情報	21
カ ホームページのアクセス件数、更新回数	23
(3) 情報の発送先とその伝達手段	24
(4) 情報発信の流れ図	25
6 普通作物病害虫の発生予察調査結果	
(1) 主な普通作物病害虫の発生程度別面積	26
(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	28
(3) 調査の概要と結果	
ア イ ネ	32
イ ムギ類 (二条オオムギ)	50
ウ ダイズ	52

7 果樹病害虫の発生予察調査結果	
(1) 主な果樹病害虫の発生程度別面積	57
(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	58
(3) 調査の概要と結果	
ア ナシ	60
イ ブドウ	74
ウ カキ	76

8 野菜病害虫の発生予察調査結果	
(1) 主な野菜病害虫の発生程度別面積	79
(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	81
(3) 調査の概要と結果	
ア スイカ	87
イ キャベツ	89
ウ ブロッコリー	92
エ ネギ	94
オ イチゴ	98
カ ナガイモ	99
キ ラッキョウ	100
ク サトイモ	101
ケ トマト	101

Ⅲ ミバエ類等侵入警戒調査事業	102
-----------------	-----

付表 令和2年半旬別気象表

1 鳥取市（鳥取地方気象台）	103
2 北栄町（園芸試験場）	105

本業務年報中の表における注意事項	107
------------------	-----

I 病虫害防除所の概要

1 組織・業務体制の変遷

- ・昭和 16 年： 昭和 15 年の北日本のいもち病、西日本のウンカによる被害を発端として、普通作物病虫害発生予察事業を全国で開始
- ・昭和 25 年： 植物防疫法制定
- ・昭和 26 年： 植物防疫法の一部改正
 - ・指定病虫害、指定外病虫害を規定
- ・昭和 27 年： 植物防疫法に基づき病虫害発生予察事業開始
県下 8 か所（鳥取、岩美、気高、八頭、東伯、西伯、米子、日野）に病虫害防除所設置
- ・昭和 40 年： 果樹等病虫害発生予察事業開始
普通作物病虫害発生予察事業実施要綱の制定
 - ・県予察員、地区予察員の設置
- ・昭和 41 年： 県下 5 か所（鳥取、八頭、倉吉、米子、日野）に病虫害防除所を統合
- ・昭和 51 年： 県下 3 か所（鳥取、倉吉、米子）に病虫害防除所専任職員配置
（昭和 49 年の斑点米カメムシ類被害により発生予察体制の強化）
- ・昭和 55 年： 野菜病虫害発生予察事業開始
- ・昭和 60 年： 植物防疫法一部改正により、指定病虫害発生予察事業補助金の一部交付金化
 - ・病虫害防除所の設置形態、名称、事業内容の規定
 - ・発生予察情報の提供責任者を原則として病虫害防除所に規定
（水稻病虫害に係る警報については、都道府県主管部長に限る）
 - 植物防疫事業実施要項及び同運用の制定
 - 植物防疫推進事業実施要領及び同運用の制定
 - ・県予察員、地区予察員の名称区分廃止
- ・昭和 61 年： 鳥取市橋本に病虫害防除所を統合し、鳥取県病虫害防除所が発足
- ・平成 4 年： 県農業共済組合連合会からの依頼に基づき、県農業共済組合職員 25 人を病虫害防除員に委嘱
- ・平成 9 年： 植物防疫情報総合ネットワーク（J P P-N E T）の本格稼働により J P P-N E T へ予察データの送信開始
アメダスデータ（気温、降水量、日照時間、風速）利用による、水稻いもち病発生予察システム（B L A S T A M）の稼働開始
- ・平成 10 年： 花き病虫害発生予察事業開始

- ・平成 12 年： 病虫害防除所のホームページを開設
- ・平成 15 年： 植物防疫法の一部改正
植物防疫事業交付金の一部を一般財源化
食品安全基本法の制定
農林水産省消費・安全局の設置
農薬取り締まり業務を県農林水産部から県生活環境部へ移管
- ・平成 16 年： 病虫害防除所のインターネット利用者に対する予報情報のメール配信の開始
- ・平成 20 年： 鳥取県農林総合研究所農業試験場内に、病虫害防除所を設置。
農業試験場・園芸試験場環境研究室の研究員が兼務する体制となる。
- ・平成 23 年： 病虫害防除員を休止
- ・平成 26 年： 農林総合研究所の廃止による再編に伴い、再び農業試験場内に病虫害防除所を設置(農業試験場・園芸試験場環境研究室の研究員が兼務する体制は継続)。
- ・令和 2 年： 次長職（園芸試験場長兼務）を新たに設置

2 業務内容

- (1) 発生予察事業に関する事務
- (2) 植物の検疫に関する事務
- (3) 防除についての企画に関する事務
- (4) その他防除に関し必要な事務
- (5) 農薬の使用等に関する助言、指導、その他の援助

3 組織・人員

(1) 職員

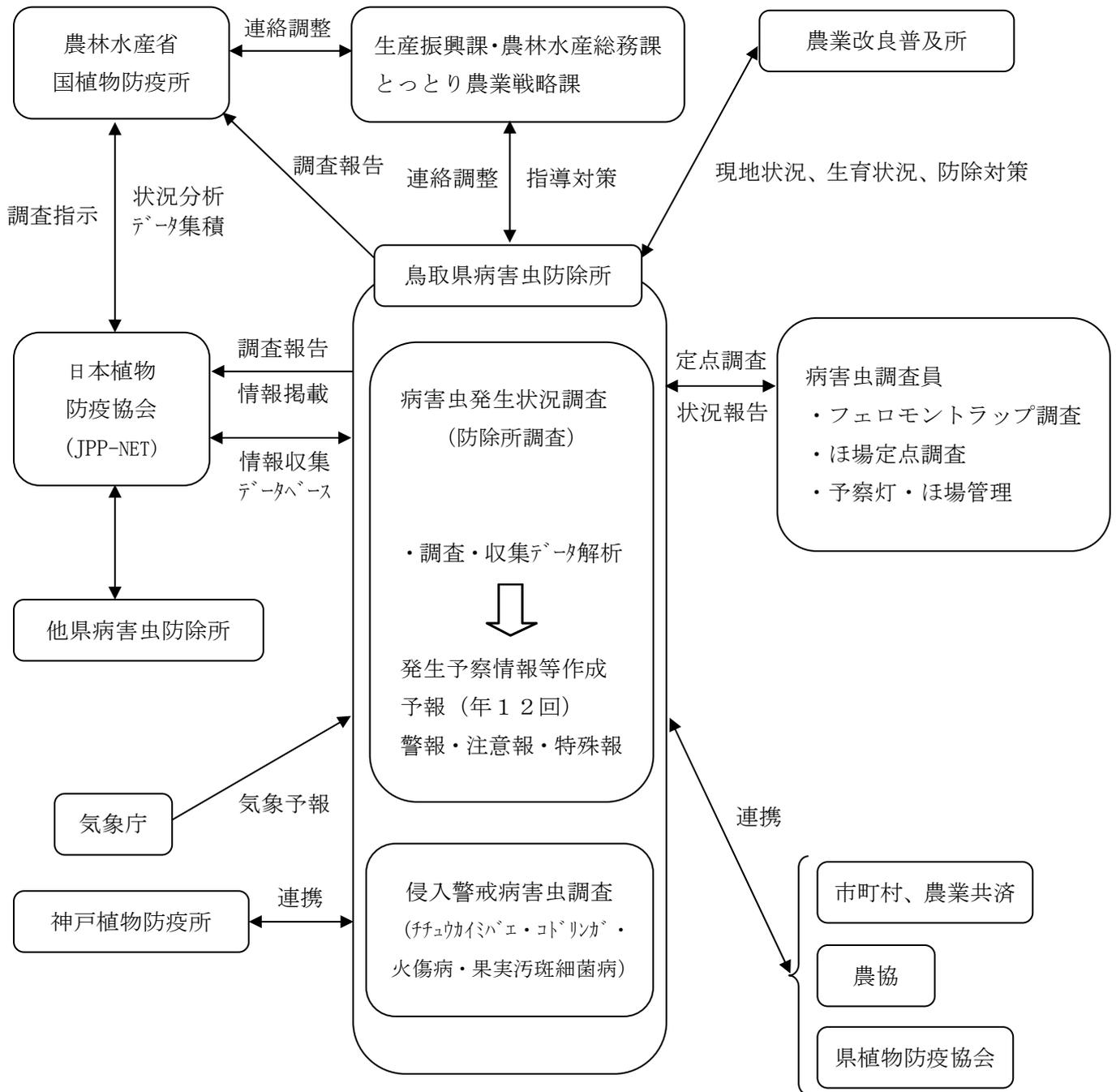
職 名	氏 名	担 当 作 物
所次課長補佐	坂東 悟	本務：農業試験場
係長	吉前 浩一	本務：園芸試験場
係長	長谷川 優健	本務：農業試験場
農林技師	中田 良行	本務：園芸試験場
	香奥 恭代	普通作物（本務：農業試験場）
	田中 陽子	普通作物（本務：園芸試験場）
	宇山 啓太	普通作物（本務：農業試験場）
	藤原 更紗	普通作物（本務：園芸試験場）
	山田 高之	果樹（本務：園芸試験場）
	古井 佑樹	果樹（本務：園芸試験場）
	松村 和洋	野菜（本務：園芸試験場）
	岩田 侑香里	野菜（本務：園芸試験場）

(2) 病虫害発生状況調査ほ調査員

防除所職員でカバーしきれない調査、予察灯管理等について、補完的業務を行うために設置。調査ならびに調査ほの管理については調査員が行う。

区 分	調 査 地 点	対 象 病 害 虫	備 考
普通作	岩美郡岩美町牧谷	イネ害虫	予察灯設置
	東伯郡琴浦町光好	〃	〃
	西伯郡日吉津村富吉	〃	〃
	東伯郡琴浦町槻下	ニカメイガ (イネ)	フェロモントラップ調査
	東伯郡琴浦町光好	斑点米カメムシ類 (イネ)	〃
	鳥取市河原町和奈見	ハスモンヨトウ (ダイズ)	〃
果 樹	八頭郡八頭町池田	ナシ病虫害	観察・フェロモントラップ調査
	東伯郡湯梨浜町北福	〃	〃
	鳥取市福部町湯山	ナシ害虫	フェロモントラップ調査
	八頭郡八頭町花原	〃	予察灯設置
	東伯郡湯梨浜町別所	〃	〃
野 菜 ・ 花 き	倉吉市下米積	コナガ (キャベツ)	フェロモントラップ調査
	西伯郡大山町平田	ハスモンヨトウ、コナガ (ブロッコリー)	〃
	倉吉市沢谷	イチゴ病虫害	観察
	東伯郡湯梨浜町橋津	〃	〃
	東伯郡北栄町妻波	〃	〃
	米子市夜見町	シロイチモジヨトウ (ネギ)	フェロモントラップ調査

(3) 病虫害防除所および関係機関の体制



Ⅱ 病虫害発生予察事業

1 事業の目的

農業生産の安定を確保し、生産物の品質を向上させるためには農作物の有害動植物の防除を適期に経済的に行う必要がある。そのため、有害動植物の繁殖、気象、農作物の生育状況などを調査して、その発育と損害を予察し、これに基づく情報を関係者に広く提供し、効率的な防除に資するとともに、農作物の有害動植物による損害を未然に防止することを目的とする。

2 事業実施方針

発生予察実施要綱並びに要領に基づき普通作物、果樹、野菜、花卉の発生予察に必要な基礎調査と発生状況の把握を行い、的確な予察情報の提供に務める。

3 対象病虫害の種類

(1) 植物防疫法における指定有害動植物等の根拠規定

ア 指定有害動植物（指定病虫害）

植物防疫法第22条の規定に基づく病虫害

（鳥取県の該当は農作物12作目、対象病虫害60種類）

イ 指定有害動植物以外の有害動植物（重要病虫害）

植物防疫法第31条の規定に基づく病虫害

（鳥取県の該当は農作物12作目、対象病虫害52種類）

(2) 対象病虫害一覧表

区分	対象作物	指定病虫害	重要病虫害
普通作物	イネ	いもち病、紋枯病、ばか苗病、縞葉枯病、もみ枯細菌病、ニカメイガ、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカ、フタオビコヤガ、コブノメイガ、トビイロウンカ、セジロウンカ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ	ごま葉枯病、苗立枯病、心枯線虫病、イチモンジセセリ
	ムギ	うどんこ病、赤かび病	黒穂病、斑葉病、黒節病、網斑病
	ダイズ	吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウ	紫斑病、モザイク病、子実害虫類（シロイチモジマダラメイガ、マメシンクイガ）

区分	対象作物	指定病虫害	重要病虫害
果樹	ナシ	黒斑病、黒星病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カメムシ類、ハダニ類、アブラムシ類	赤星病、うどんこ病、輪紋病、ニセナシサビダニ、コナカイガラムシ類（クワコナカイガラムシ、マツモトコナカイガラムシ）
	カキ	炭疽病、カキノヘタムシガ、アザミウマ類、カイガラムシ類、カメムシ類、ハマキムシ類	うどんこ病、灰色かび病、樹幹害虫（ヒメコスカシバ、フタモンマダラメイガ）
	ブドウ	灰色かび病、晩腐病、べと病	黒とう病、チャノキイロアザミウマ、ハマキムシ類
野菜	スイカ	アブラムシ類	つる枯病、炭疽病、疫病、うどんこ病、菌核病、ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）
	キャベツ	黒腐病、菌核病、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ、コナガ、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	軟腐病、べと病、黒斑細菌病、モンシロチョウ、タマナギンウワバ
	ブロッコリー	コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ	軟腐病、黒腐病、べと病、黒すす病、アブラムシ類、モンシロチョウ、タマナギンウワバ
	ネギ	黒斑病、さび病、べと病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、シロイチモジヨトウ	萎縮病、軟腐病、白絹病、萎ちょう病、ネギハモグリバエ
	イチゴ	炭疽病、うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類	
	ナガイモ	シロイチモジヨトウ	炭疽病、ナガイモコガ、カンザワハダニ
	ラッキョウ		白色疫病、灰色かび病、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ

4 発生予察情報の種類と用語の使用法

(1) 根拠法令等

ア 発生予察情報の種類

植物防疫事業の運用について（平成18年4月7日17消安第12412号）

イ 用語の基準とその使用法

発生予察事業の調査実施基準（病害虫発生予察資料8 病害虫発生予察事業の実施について 平成13年3月 農林水産省生産局植物防疫課発行）

(2) 発生予察情報の種類

ア 発生予報：有害動植物の発生予想を定期的に発表するものとする。発表の時期及び回数については、農作物、有害動植物の性質等の考慮のうえ、防除に有効に利用されるよう定めるものとする。記載事項は、有害動植物名、有害動植物の発生時期、発生面積、発生程度、発生地域及びそれらの平年比、前年比、予報の根拠の概要、防除上注意すべき事項（防除の要否、回数、防除時期、使用薬剤等）、その他必要な事項とする。

イ 警報：重要な有害動植物が大発生することが予想され、かつ早急に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表するものとする。記載事項は、有害動植物名、発生の予想される地域及び時期、発生程度、防除時期及び防除法、その他必要な事項とする。

ウ 注意報：警報を発表するほどではないが、重要な有害動植物が多発することが予想され、かつ早目に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表するものとする。記載事項は、有害動植物名、発生の予想される地域及び時期、発生程度、防除時期及び防除法、その他必要な事項とする。

エ 特殊報：新規に有害動植物を発見した場合、重要な有害動植物の生態及び発生消長に特異な現象が認められた場合に速やかに発表するものとする。記載にあたっては、その内容により問題の重要性、意義等につき解説を加えるよう配慮するものとする。

(3) 用語の定義とその使用法

ア 発生面積：発生の認められるほ場の面積をいう。ただし、ここでいう発生とは、病害の場合には農作物に肉眼で認められる病徴の出現した状態のことをいい、害虫の場合にはほ場に生息している状態のことをいう。

イ 発生量：発生の程度と広がり両面を加味したものをいい、数値で（例えば、単位面積当たりの虫数）、又は（4）のイの（イ）のように表現する。

(4) 用語の基準とその使用法

ア 平年値

(ア) 気象上の観測値

気象庁では過去 30 年の観測値の平滑平年値をとっているため、これに準ずる。
30 年の資料がない場合には、全観測値の平均を平年値とする。

(イ) 病害虫の発生時期、発生量、発生面積

原則として、過去 10 か年の平均とする。

(ウ) 農作物の生育時期

原則として、過去 5 か年の平均とする。

イ 平年値との比較

(ア) 時 期

平 年 並	平年値を中心として前後 2 日以内。
やや早い	平年値より 3～5 日早い。
やや遅い	平年値より 3～5 日遅い。
早 い	平年値より 6 日以上早い。
遅 い	平年値より 6 日以上遅い。

(イ) 量（発生量、発生面積及び被害量等）

平 年 並	平年値を中心にして 40% の度数の入る幅
やや多い	平年並の外側 20% の度数の入る幅
やや少ない	同 上
多 い	上記三者の外側 10% の度数の入る幅
少 ない	同 上

ウ 半旬のとり方

半旬については、暦日半旬を用いるものとする。

エ 発生程度別基準

発生程度は、甚、多、中、少、無の 5 段階に分ける。この基準は各論で病害虫ごとに定める。

5 令和2年度に発表した情報

(1) 発表状況

種 類	発表回数	対 象 病 害 虫 及 び 回 数
警 報	発表なし	
注意報	3回	[イネ]斑点米カメムシ類、トビイロウンカ [果樹] カメムシ類
特殊報	1回	[飼料用トウモロコシ・スイートコーン・ソルガムなど] ツマジロクサヨトウ
予 報	12回	[イネ] 葉いもち3回、穂いもち3回、紋枯病3回、苗立枯病2回、ばか苗病3回、イネシンガレセンチュウ2回、縞葉枯病(ヒメトビウンカ)3回、斑点米カメムシ類3回、イネミズゾウムシ3回、セジロウンカ2回、トビイロウンカ2回、コブノメイガ1回、フタオビコヤガ2回 [オオムギ] 赤かび病1回、うどんこ病1回、網斑病1回 [ダイズ] 紫斑病2回、カメムシ類2回、ハスモンヨトウ3回 [ナシ] 黒斑病8回、黒星病8回、赤星病2回、輪紋病2回、ハダニ類7回、カメムシ類3回、クワコナカイガラムシ2回、アブラムシ類2回、ニセナシサビダニ1回、シンクイムシ類5回 [カキ] 落葉病1回、炭疽病4回、うどんこ病1回、灰色かび病1回、カキノヘタムシガ2回、樹幹害虫(ヒメコスカシバ・フタモンマダラメイガ)2回 [ブドウ] ベと病4回、灰色かび病1回、チャノキイロアザミウマ2回、ハマキムシ類2回 [果樹共通] カメムシ類6回 [ネギ] さび病5回、黒斑病5回、軟腐病2回、ベと病5回、白絹病2回、ネギハモグリバエ5回、ネギアザミウマ5回、シロイチモジヨトウ2回、ネギハモグリバエ・ネギアザミウマ1回 [ネギ・ナガイモ] シロイチモジヨトウ2回 [スイカ] つる枯病2回、うどんこ病3回、菌核病2回、褐色腐敗病・疫病1回、つる枯病・炭疽病2回、アブラムシ類3回、ハダニ類3回 [スイカ・メロン] アブラムシ類2回、ハダニ類1回 [ナガイモ] 炭疽病3回、ナガイモコガ2回、ハダニ類2回、シロイチモジヨトウ1回 [ラッキョウ] 灰色かび病1回、白色疫病2回 [イチゴ] うどんこ病3回、灰色かび病1回、炭疽病2回、アブラムシ類2回、ハダニ類2回 [キャベツ・ブロッコリー・イチゴ] ハスモンヨトウ2回 [キャベツ・ブロッコリー] 軟腐病2回、黒腐病2回、ベと病2回、黒すす病2回、コナガ2回、ヨトウムシ1回、ハスモンヨトウ2回、アブラムシ類2回 [ブロッコリー] コナガ1回

(2) 内 容

ア. 警 報

発表なし

イ. 注意報

令和2年度病害虫発生予察注意報第1号（令和2年6月25日）

注意報の概要

6月中旬現在、果樹カメムシ類の発生量が多く、果樹全般において果実被害の発生が懸念される。今後、果樹園への飛来量が増加すると予想されるため、防除を徹底する必要がある。

病害虫名：果樹カメムシ類

1 対象作物 果樹全般

2 発生地域 県下全域

3 発生時期 平 年 並

4 発 生 量 多 い

5 注意報発表の根拠

- (1) カメムシ類の予察灯及び集合フェロモントラップにおける調査では、6月中旬までの総誘殺数（越冬世代成虫）がチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシともに平年を上回っており（表1、2）、越冬世代成虫の量が多いと予想される。
- (2) 向こう1か月の気象予報（6月18日発表）から、今後もカメムシ類の活動に好適な条件になると予想される。
- (3) 6月中旬現在では、果樹園におけるカメムシ類の多飛来は確認していないが、今後、飛来量が増加すると予想される。

6 防除上注意すべき事項

- (1) カメムシ類の被害や飛来状況は、ほ場間差が大きいため、園内外をこまめに見回り、早期発見に努め、被害果実やカメムシ類の発生が多い場合は早急に防除を行う（ネオニコチノイド系又は合成ピレスロイド系殺虫剤のいずれかを選択）。特に、過去の多発生年に早期に被害を受けた地域では注意する。
- (2) 果樹園への飛来量が増加する時期は、例年第1世代成虫が発生する7月中下旬頃であるが、多発生年において、7月上旬頃から果樹園への飛来量が増加した事例があるので注意する。
- (3) 防除は、カメムシ類が飛来する夕方か早朝が効果的である。ただし、薬剤が乾きにくい気象条件では薬害が発生しやすいため夕方散布を実施しない。また、カメムシ類は移動性が高いため、広域的な防除に努める。
- (4) 合成ピレスロイド系殺虫剤の多用が、カイガラムシ類及びハダニ類の発生を助長した事例があるので、必要最小限の使用にとどめる。
- (5) 各樹種の防除薬剤は表3を参考とする。また、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守る。

表1 予察灯における果樹カメムシ類の総誘殺数（4月上旬～6月中旬）

調査地点	チャバネアオカメムシ		クサギカメムシ		ツヤアオカメムシ	
	令和2年	平年*	令和2年	平年*	令和2年	平年*
八頭町	<u>382</u>	200.9	38	48.1	<u>252</u>	59.4
鳥取市河原町	<u>505</u>	165.5	<u>21</u>	17.0	<u>255</u>	47.1
湯梨浜町	<u>430</u>	148.8	<u>11</u>	7.1	<u>463</u>	66.0
北栄町	<u>460</u>	149.6	<u>7</u>	4.3	<u>869</u>	82.9

*平年：平成22年～令和元年の平均値、下線部は平年を上回る誘殺数を示す。

表2 集合フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの総誘殺数（4月上旬～6月中旬）

調査地点	令和2年	平年*
八頭町	<u>292</u>	96.6
北栄町	<u>234</u>	111.1

*平年：平成22年～令和元年の平均値、下線部は平年を上回る誘殺数を示す。

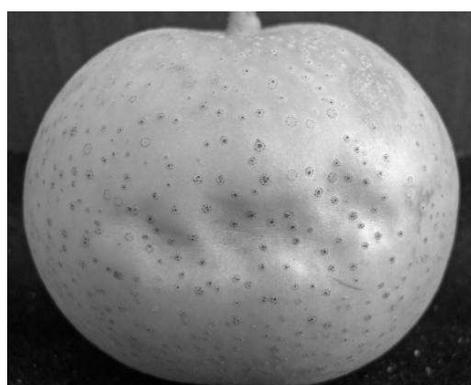


チャバネアオカメムシ成虫

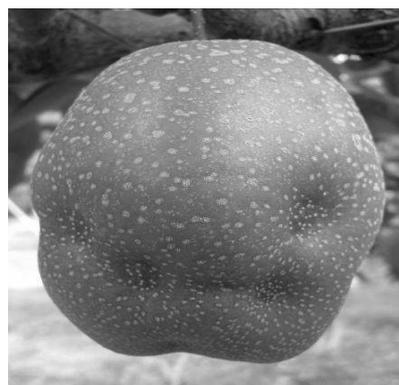
クサギカメムシ成虫

ツヤアオカメムシ成虫

写真1 主要な果樹カメムシ類



二十世紀の被害（有袋）



王秋の被害（無袋）

写真2 果樹カメムシ類による果実被害（収穫期）

表3 果樹カメムシ類の主な防除薬剤と使用基準*

作物名	農薬の名称	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	IRAC コード**	薬剤の系統
なし	スプラサイド水和剤	1,500倍	有袋：収穫7日前まで	3回以内	1B	有機リン系
			無袋：収穫21日前まで	2回以内		
	スミチオン乳剤	1,000倍	有袋：収穫14日前まで	6回以内		
			無袋：収穫21日前まで			
	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内		
	シペルメトリン水和剤 (アグロスリン水和剤)	1,000倍～ 2,000倍	収穫前日まで	3回以内	3A	合成ピレスロイド系
シペルメトリン水和剤 (イカズチWDG)	1,500倍	収穫前日まで				
テルスターフロアブル	3,000倍～ 6,000倍	収穫前日まで	2回以内			
かき	スプラサイド水和剤	1,500倍	収穫30日前まで	3回以内	1B	有機リン系
	スミチオン水和剤 40	800倍～ 1,000倍	収穫30日前まで	3回以内		
	キラップフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	2B	フェニルピラゾール系
	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫3日前まで	3回以内		
	アグロスリン水和剤	1,000倍～ 2,000倍	収穫前日まで	3回以内	3A	合成ピレスロイド系
ぶどう	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
りんご	スプラサイド水和剤	1,500倍	収穫30日前まで	2回以内	1B	有機リン系
	スミチオン水和剤 40	800倍～ 1,000倍	収穫30日前まで	3回以内		
	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
	MR. ジョーカー水和剤	2,000倍	収穫14日前まで	2回以内	3A	合成ピレスロイド系
もも	スミチオン水和剤 40	800倍～ 1,000倍	収穫3日前まで	6回以内	1B	有機リン系
	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
	アグロスリン水和剤	2,000倍	収穫前日まで	5回以内	3A	合成ピレスロイド系

*農薬の登録内容は令和2年6月10日現在

**IRAC コードは殺虫剤の作用機構の分類を示す。

令和2年度病害虫発生予察注意報第2号（令和2年8月4日）

注意報の概要

斑点米の原因となるカメムシ類が、水田周辺のイネ科植物及び極早生品種等、既に穂揃い期を迎えた水田で多発している。今後、出穂期を迎える水田へのカメムシ類の飛来及び本種の加害による斑点米の多発が懸念されることから、穂揃い期から乳熟初期のカメムシ類の防除を徹底する必要がある。

病害虫名：斑点米カメムシ類

- 1 対象作物 イネ
- 2 発生地域 県下全域
- 3 発生量 多い

4 注意報発令の根拠

- (1) 7月31日現在、水田周辺のイネ科植物では、主にアカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ及びトゲシラホシカメムシの4種が発生しており、このうち、アカスジカスミカメ及びクモヘリカメムシの発生量が平年より多い。特にクモヘリカメムシの発生量が多く、高密度で発生している地点が県下全域に点在している。
- (2) 8月3日現在、早植え、極早生品種等、すでに穂揃い期を迎えた水田（18地区、32ほ場）における斑点米カメムシ類の発生ほ場率は93.8%（平年：93.9%）と平年並であるが、要防除水準を超えているほ場率は93.8%（平年：66.1%）と平年より高い。また、平均すくい取り虫数は40.0頭（25往復50回振り虫数、平年：20.5頭）と平年より多い（表1）。特にクモヘリカメムシのすくい取り虫数は過去10年間で最も多く、本種が高密度で発生している水田が県下全域で散見される。
- (3) 気象予報によると、向こう1か月は、平年と同様に晴れの日が多く、平均気温は高い確率50%と予想されており、今後、出穂期を迎えるほ場へのカメムシ類の飛来、イネへの加害活動及び増殖に好適な条件となっている。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 水田周辺の雑草地、畦畔などのイネ科雑草はカメムシ類の増殖源となるので、適正な管理を行う。出穂20日前頃に畦畔等の草刈りを行ったほ場では、再生したイネ科雑草が出穂する前に再度草刈りを行うと、カメムシ類の密度がさらに低下する。一方、出穂20日前頃に畦畔等の草刈りを行っていないほ場では、穂揃い期から乳熟期に草刈りを行い、その直後に、水田に追い込まれたカメムシ類を粉剤、水和剤などで防除する。

- (2) 薬剤防除は適期に行う。

ア 粉剤、水和剤などを使用する場合

薬剤防除は穂揃い期から乳熟初期に行い、その後も発生が多い場合は7～10日間隔で1～2回の追加防除を行う。防除は地域一斉で行うと効果が高い。なお、出穂前散布の防除効果は期待できない。

イ 粒剤を使用する場合

発生の主体がアカスジカスミカメの水田では、粒剤による防除も可能である。病害虫防除指針等を参考にして、各薬剤の散布適期に湛水散布を行う（湛水散布にあたっては、農薬のラベルに記載されている止水に関する注意事項などを確認するとともに、止水期間を7日間とし、また、農薬の流出を防止するために必要な措置を講じるように努める）。また、散布後も発生が多い場合は粉剤、水和剤などで追加防除を行う。

なお、クモヘリカメムシに対して、粒剤は実用的な防除効果を示さない。

ウ 防除薬剤は表2を参考とする。また、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業者の安全の確保に努める。

- (3) クモヘリカメムシはイネの登熟後期まで水田内で発生する。そのため、本種の発生が多いほ場では防除後も発生状況に十分注意し、要防除水準（25往復50回振りすくい取り虫数4頭以上）を超えた場合はただちに追加防除を行う。
- (4) 水田内で穂をつけたヒエ類はカメムシ類の発生を助長するので、見つけ次第抜き取る。

表1 水田における斑点米カメムシ類の発生状況

調査年	発生ほ場率	要防除水準を超えているほ場率	すくい取り虫数
令和2年	93.8%	93.8%	40.0頭
平 年	93.9%	66.1%	20.5頭

注1) 調査期間：7月26日～8月3日、調査ほ場の熟期：穂揃い期～乳熟初期。

注2) 調査ほ場：病害虫防除所巡回調査定点地区及びその周辺地区18地区の1～3ほ場／地区を調査。

注3) すくい取り虫数は捕虫網25往復50回振り虫数を表す。



図1 クモヘリカメムシ成虫（体長1.5～1.7mm） 図2 アカスジカスミカメ成虫（体長4.5～6mm）

表2 斑点米カメムシ類の主な防除薬剤

剤型等	薬剤名
粉剤	トレボン粉剤DL、MR、ジョーカー粉剤DL、アルバリン粉剤DL、スタークル粉剤DL、ダントツ粉剤DL、クラブジョーカー粉剤DL、など
粒剤	アルバリン粒剤、スタークル粒剤、ダントツ粒剤、クラブ粒剤、など
水和剤等	トレボン乳剤、MR、ジョーカーEW、アルバリン顆粒水溶剤、スタークル液剤10、ダントツフロアブル、クラブジョーカーフロアブル、など
無人ヘリコプター防除剤	トレボンエア、MR、ジョーカーEW、スタークル液剤10、ダントツフロアブル、など

令和2年度病害虫発生予察注意報第3号（令和2年8月11日）

注意報の概要

トビイロウンカの発生量が過去の注意報発表年と同等以上に多く、既に県内全域の水田で成虫および幼虫が確認されている。今後、9月にかけてトビイロウンカが急増し、坪枯れ等の被害の発生が懸念されることから、ほ場をよく観察し、要防除水準を超えた場合は直ちに防除を行う。

病害虫名：トビイロウンカ

1 対象作物 イネ

2 発生地域 県下全域

3 発生量 多い

4 注意報発令の根拠

- (1) ウンカ類飛来予測システムの解析結果及び予察灯の誘殺状況から、6月中旬～7月下旬にかけて複数回の飛来があったと推測される。また、6～7月の予察灯への総誘殺数は注意報発表年（平成10年及び令和元年）と同等以上に多かった。
- (2) 8月3～11日の調査（ウンカ類調査定点及び巡回調査定点、29地点）の結果、発生ほ場率は52.3%と高かった。
- (3) 現在、増殖率の高い短翅成虫が県内全域で確認されており、今後、9月にかけてトビイロウンカの急増が予想される。
- (4) 気象予報によると、向こう1ヶ月は平年に比べて晴れの日が多く、平均気温は高い確率70%と予想されており、トビイロウンカの増殖に好適な気象条件が継続すると予想される。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 大部分のほ場での防除時期は8月下旬以降と見込まれる。しかし、トビイロウンカの発生量は地域間差及びほ場間差が非常に大きいいため、各時期の要防除水準を超えた場合は病害虫防除指針などを参考にして、粉剤、水和剤、粒剤などで防除を行う。なお、坪枯れ発生後の防除となった場合は、粉剤又は水和剤を使用する。

※8月中旬までの要防除水準：成幼虫数1頭/株

8月下旬～9月の要防除水準：成幼虫数10頭/株

- (2) 粉剤又は水和剤で防除を行う際、本種の生息場所である株元に農薬が十分かかるように注意する。
- (3) 防除にあたっては農薬の収穫前日数及び総使用回数に注意する。収穫期が迫り、防除が出来ないほ場は収穫適期の範囲内で早めに収穫する。
- (4) トビイロウンカは同一ほ場でも発生に偏りがあるが、ほ場周辺より内部での発生が多い傾向にあるので、ほ場を広く観察することに努める。なお、坪枯れの前兆となる坪状のイネの黄化の早期発見も有効な状況把握手段の1つである。

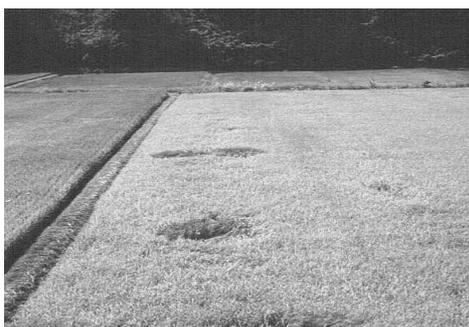


図1 トビイロウンカによる坪枯れ



図2 トビイロウンカの成虫及び幼虫



図3 トビイロウンカが多発したイネ株の株元の様子

表1 トビイロウンカの主な防除薬剤

剤型	薬剤名	収穫前日数
粉剤	トレボン粉剤DL	7日前
	MR. ジョーカー粉剤DL	7日前
	キラップジョーカー粉剤DL	14日前
	スタークル粉剤DL	7日前
	アルバリン粉剤DL	7日前
水和剤等	トレボン乳剤	14日前
	MR. ジョーカーEW	14日前
	キラップジョーカーフロアブル	14日前
	スタークル顆粒水溶剤	7日前
	アルバリン顆粒水溶剤	7日前
粒剤	スタークル粒剤	7日前
	アルバリン粒剤	7日前

ウ. 特殊報

令和2年度病害虫発生予察特殊報第1号（令和2年6月25日）

本県において、ツマジロクサヨトウの成虫及び幼虫が確認されたので、特殊報を発表します。

- 1 病害虫名 ツマジロクサヨトウ *Spodoptera frugiperda* (J.E.Smith)
- 2 対象作物 飼料用トウモロコシ、スイートコーン、ソルガムなど
- 3 発生地域 県全域
- 4 発生経過

(1) 県東部に設置したツマジロクサヨトウ用フェロモントラップにおいて、令和2年6月12日、本種と疑われる成虫が発見された（写真1）。農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼した結果、6月23日にツマジロクサヨトウの成虫であることが確認された。また、県西部のスイートコーンほ場において、本種と疑われる幼虫を発見し（写真2）、農林水産省神戸植物防疫所に確認を依頼した結果、本種の幼虫との回答があった。



写真1 フェロモントラップに捕獲された成虫

(2) 本種の幼虫は、令和元年7月3日に鹿児島県の飼料用トウモロコシほ場において国内で初めて確認された後、現時点（6月25日時点）までに29府県が特殊報を発表している。

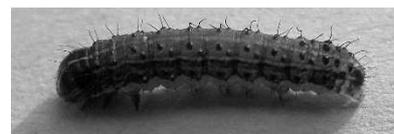


写真2 スイートコーンほ場のツマジロクサヨトウ幼虫
中齢（体長：約12mm）

5 形態及び生態

(1) 成虫は開張約37mm、雌雄で外観が大きく異なり、雄のみが前翅に淡色斑と白斑を持つ

（写真3）。終齢幼虫は体長約40mmで、頭部の複眼と前額の境界にみられる逆Y字状の模様（写真5）および尾部の斑点が特徴である。卵は寄主植物に塊状に産み付けられ、雌の体毛で覆われる。



写真3 成虫（左：雄 右：雌 開長：約37mm）農林水産省HPより



写真4 終齢幼虫（体長：約40mm）
農林水産省 HP より

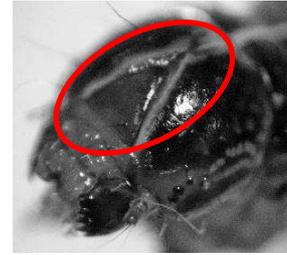


写真5 頭部の特徴（淡色の「逆Y字」紋）

- (2) 本種は南北アメリカ大陸の熱帯～亜熱帯原産で、暖地に適応した種である。南北アメリカでは毎年夏季に成虫が移動・分散するが、暖地を除く地域では越冬することはできない。本種の分布地域は、北米～南米、アフリカ（エジプト、サハラ以南）、アジア（インド、中国、台湾、韓国、タイ、ミャンマーなど）、オセアニア（オーストラリア）である。
- (3) これまでのところ、国内で発生が確認された農作物は主にイネ科作物（飼料用トウモロコシ、スイートコーン、ソルガム、サトウキビ等）である。文献では、イネ科作物の他、アブラナ科（カブ等）、ウリ科（キュウリ等）、キク科（キク等）、ナス科（トマト、ナス等）、ナデシコ科（カーネーション）、ヒルガオ科（サツマイモ等）、マメ科（ダイズ等）などの広範囲な作物を加害するとされている。
- (4) 幼虫が植物の葉、茎、花および果実を食害する。若齢幼虫は葉を裏側から集団で加害し、成長すると加害しながら分散する。幼虫の摂食量が多く、加害部には多量の糞が散在する。

6 防除対策

- (1) 現在行っているほ場調査及びほ場巡回を徹底し、早期発見に努める。本虫と疑われる幼虫を発見した場合には、速やかに鳥取県病害虫防除所に連絡する。
- (2) 本虫の発生が確認された場合、植物防疫法第29条第1項に基づく措置として、以下に示された薬剤の散布指導を行う。

（農林水産省「ツマジロクサヨトウに関する情報」）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html

- (3) 発生が確認されたほ場では、本虫の分散を防ぐため、収穫後は速やかに耕起し、残渣をすき込む。

エ. 発生予報

号	発表日	普通作	果樹	野菜
1	令和2年 4月 8日	イネ（苗立枯病、ば か苗病、イネシン ガレセンチュウ） オオムギ（赤かび病、 うどんこ病、網斑 病）	ナシ（黒斑病、黒星病、 赤星病、ハダニ類、 カメムシ類）	ラッキョウ（灰色かび病） ネギ（べと病、さび病） スイカ・メロン（アブラムシ 類）
2	令和2年 4月22日	イネ（苗立枯病、ば か苗病、イネミズ ゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 赤星病、カメムシ類） カキ（灰色かび病、樹幹 害虫（ヒメコスカシ バ・フタモンマダラメ イガ）） ブドウ（灰色かび病、 べと病）	ネギ（べと病、さび病、ネギハ モグリバエ・ネギアザミウ マ） スイカ（菌核病、つる枯病） スイカ・メロン（アブラムシ類、 ハダニ類）
3	令和2年 5月13日	イネ（葉いもち、縞 葉枯病（ヒメトビ ウンカ）、イネミ ズゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 ハダニ類、アブラムシ 類） 果樹共通（カメムシ類）	スイカ（菌核病、つる枯病、 うどんこ病、アブラムシ類、 ハダニ類） ネギ（べと病） ブロッコリー（コナガ）
4	令和2年 6月 3日	イネ（葉いもち、縞 葉枯病（ヒメトビ ウンカ）、イネミ ズゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 輪紋病、アブラムシ 類、ニセナシサビダ ニ、シンクイムシ類） カキ（落葉病、炭疽病、 カキノヘタムシガ） ブドウ（べと病、チャノ キイロアザミウマ、ハ マキムシ類（チャノコ カクモンハマキ）	スイカ（つる枯病・炭疽病、 うどんこ病、アブラムシ類、 ハダニ類） イチゴ（育苗期）（うどんこ 病、炭疽病、アブラムシ類、 ハダニ類） ネギ（べと病、さび病、黒斑病、 ネギアザミウマ、ネギハモグ リバエ）
5	令和2年 7月 8日	イネ（葉いもち、穂 いもち、紋枯病、 縞葉枯病（ヒメト ビウンカ）、セジ ロウンカ、斑点米 カメムシ類、フタ オビコヤガ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 輪紋病、クワコナカイ ガラムシ、ハダニ類、 シンクイムシ類） カキ（炭疽病、樹幹害虫 （ヒメコスカシバ・ フタモンマダラメイ ガ）） ブドウ（べと病） 果樹共通（カメムシ類）	ネギ（さび病、黒斑病、白絹病、 軟腐病、ネギハモグリバエ、 ネギアザミウマ） スイカ（つる枯病・炭疽病、うど んこ病、褐色腐敗病・疫病、 アブラムシ類、ハダニ類） イチゴ（うどんこ病、炭疽病、 アブラムシ類、ハダニ類） ナガイモ（炭疽病）

号	発表日	普通作	果樹	野菜
6	令和2年 8月 5日	イネ (穂いもち、紋 枯病、セジロウン カ、トビイロウン カ、斑点米カメム シ類、コブノメイ ガ、フタオビコヤ ガ) ダイズ (紫斑病、 ハスモンヨトウ、 カメムシ類)	ナシ (黒斑病、ハダニ類、 シンクイムシ類) カキ (うどんこ病、炭疽 病、カキノヘタムシガ) 果樹共通 (カメムシ類)	ネギ (軟腐病、白絹病、黒斑病、 ネギハモグリバエ、ネギアザ ミウマ、シロイチモジヨトウ) ナガイモ (炭疽病、ナガイモコ ガ、ハダニ類、シロイチモジ ヨトウ) キャベツ・ブロッコリー (ハス モンヨトウ)
7	令和2年 8月26日	イネ (穂いもち、紋 枯病、トビイロウン カ、斑点米カメ ムシ類) ダイズ (紫斑病、ハ スモンヨトウ、カ メムシ類)	ナシ (シンクイムシ類、 ハダニ類) 果樹共通 (カメムシ類)	キャベツ・ブロッコリー・イチ ゴ (ハスモンヨトウ) ネギ・ナガイモ (シロイチモジ ヨトウ)
8	令和2年 9月 9日	ダイズ (ハスモンヨト ウ)	ナシ (黒斑病、黒星病、 クワコナカイガラムシ、 シンクイムシ類、ハダ ニ類) カキ (炭疽病) ブドウ (べと病、チャノ キイロアザミウマ、ハ マキムシ類) 果樹共通 (ナシ・カキ・ ブドウ・リンゴ) (カメムシ類)	ネギ (黒斑病、ネギハモグリバ エ、ネギアザミウマ) ネギ・ナガイモ (シロイチモジ ヨトウ) ナガイモ (炭疽病、ナガイモコ ガ、ハダニ類) キャベツ・ブロッコリー (べと 病、黒腐病、軟腐病、黒すす 病、アブラムシ類、コナガ、 ヨトウムシ) キャベツ・ブロッコリー・イチ ゴ (ハスモンヨトウ)
9	令和2年 10月 7日		ナシ (黒星病) 果樹共通 (ナシ・カキ・ リンゴ) (カメムシ 類)	キャベツ・ブロッコリー (軟腐 病、黒腐病、べと病、黒すす 病、アブラムシ類、コナガ、 ハスモンヨトウ) ネギ (黒斑病、さび病、べと病、 ネギアザミウマ、ネギハモグリ バエ、シロイチモジヨトウ)
10	令和2年 12月 2日			ラッキョウ (白色疫病) イチゴ (うどんこ病、灰色かび 病)
11	令和3年 2月 3日			ラッキョウ (白色疫病)
12	令和3年 3月10日	イネ (ばか苗病、 イネシンガレセ ンチュウ)	ナシ (黒斑病、黒星病、ハ ダニ類、カメムシ類)	

オ. 指導情報

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容	
[イネ]	いもち病、 もみ枯細菌病	令和2年4月24日	育苗期の防除対策	
		いもち病	令和2年6月5日 令和2年6月26日 令和2年7月9日 令和2年7月16日 令和2年7月22日 令和2年7月31日 令和2年8月12日	感染好適条件の出現状況及び 防除対策
	トビイロウンカ	令和2年8月5日	発生状況及び防除対策	
		令和2年8月11日		
		令和2年9月3日		
		令和2年9月25日		
	[ナシ]	黒斑病	令和2年5月7日	ポリ袋検定結果
			令和2年7月3日	新梢葉の発病状況
			令和2年7月22日	
			令和2年9月28日	
			令和3年1月19日	越冬菌密度調査
		黒斑病胞子飛散情報	令和2年4月1日	半月毎の黒斑病菌胞子飛散状況
			令和2年4月6日	
令和2年4月13日				
令和2年4月16日				
令和2年4月21日				
令和2年4月27日				
令和2年5月1日				
令和2年5月7日				
令和2年5月11日				
令和2年5月18日				
令和2年5月22日				
令和2年5月26日				
令和2年6月1日				
令和2年7月3日				
令和3年3月26日				
黒星病	令和2年4月1日	発生状況及び防除対策		
	令和2年5月22日			
	令和2年6月24日			
	令和2年7月3日			
	令和3年2月16日	腋花芽における病芽率		

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[ナシ]	黒星病飛散情報	令和2年4月1日	半旬毎の黒星病菌子のう胞子、 分生子飛散状況
		令和2年4月6日	
		令和2年4月13日	
		令和2年4月16日	
		令和2年4月21日	
		令和2年4月27日	
		令和2年5月1日	
		令和2年5月7日	
		令和2年5月11日	
		令和2年5月18日	
		令和2年5月22日	
		令和2年5月26日	
		令和2年6月1日	
		令和3年3月22日	
		令和3年3月26日	
ニセナシサビダニ		令和2年5月18日	発生状況及び防除対策
		令和2年5月29日	
		令和2年6月5日	
		令和2年6月16日	
		令和2年6月26日	
クワコナカイガラムシ		令和2年5月7日	発生状況及び防除対策
		令和2年7月7日	
アブラムシ類		令和2年5月29日	発生状況
ハダニ類		令和2年7月27日	発生状況
		令和2年12月24日	越冬状況
カメムシ類		令和2年7月27日	巡回調査結果
[カキ]	フジコナカイガラムシ	令和2年6月12日	発生状況及び防除対策
[果樹共通]	カメムシ類	令和2年5月13日	予察灯及びフェロモントラップ の誘殺状況
		令和2年5月25日	
		令和2年6月3日	
		令和2年6月10日	
		令和2年6月12日	
		令和2年6月25日	
		令和2年7月3日	
		令和2年7月13日	
		令和2年7月21日	
		令和2年8月4日	
		令和2年8月7日	
		令和2年8月17日	
		令和2年8月24日	
		令和2年9月2日	
令和2年9月15日			

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[果樹共通]	カメムシ類	令和2年9月24日	予察灯及びフェロモントラップの誘殺状況
		令和2年10月6日	
		令和2年10月15日	
		令和2年10月26日	
		令和2年11月9日	
[果樹共通]	クサギカメムシ	令和2年12月24日	越冬状況
[トマト]	黄化葉巻病	令和2年7月31日	発生状況及び防除対策
[ダイズ・野菜]	ハスモンヨトウ	令和2年9月8日	発生状況及び防除対策

カ. ホームページのアクセス件数、更新回数

令和3年3月31日現在

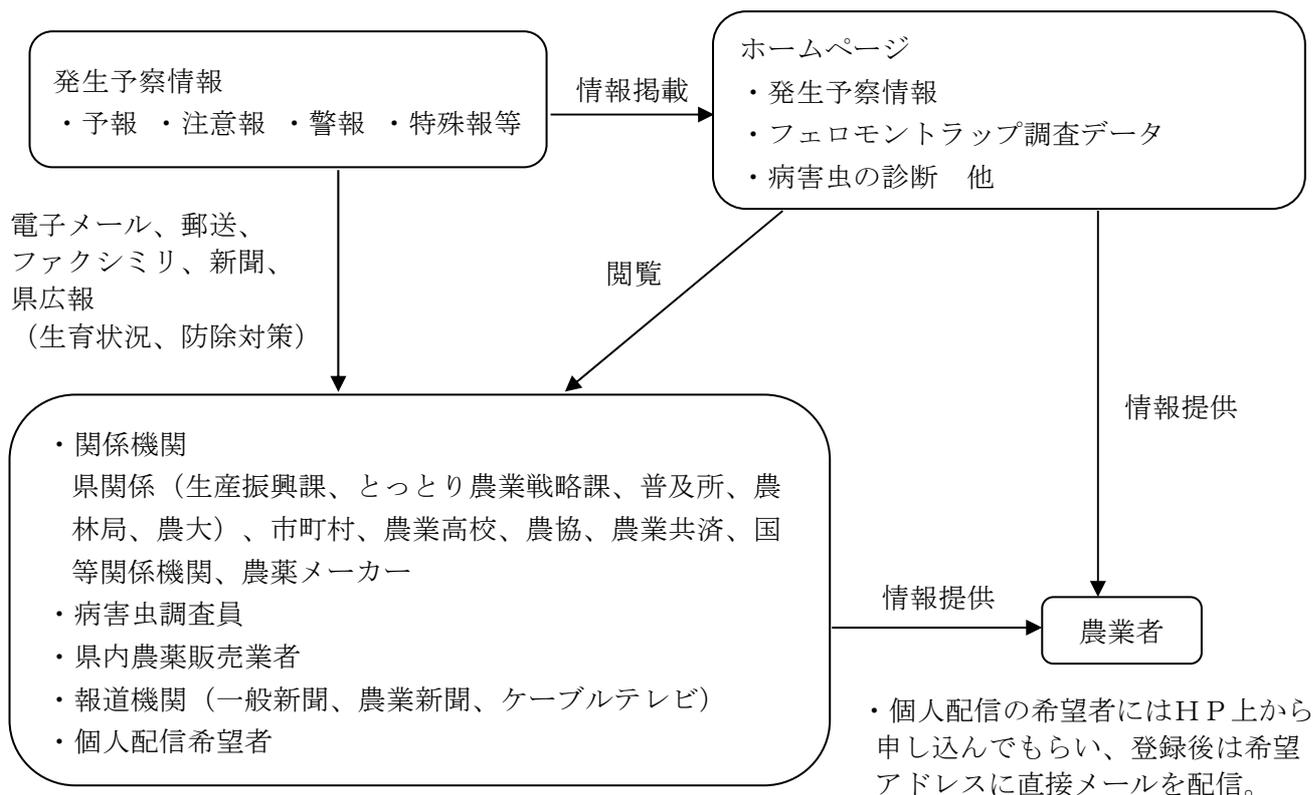
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アクセス件数	459	1,006	1,323	1,035	1,360	1,140	276	448	559	320	523	623	9,072
更新回数	12	13	13	14	12	11	7	1	2	1	2	3	91

(3) 情報の発送先とその伝達手段 (令和2年度)

発 送 先	発送数	伝 達 手 段		
		A	B	C
県庁関係課 (とっとり農業戦略課、生産振興課等)	5	○		
総合事務所農林局 農(林)業振興課	5	○		
農業大学校	1	○		
農業高等学校	4	○		
市町村関係課	20	○		
国関係機関	5	○		○
農業協同組合	3	○		
県農業協同組合連合会 (中央会、全農県本部)	2	○		
県農業共済組合連合会	1	○		
県産米改良協会	1	○		
病虫害調査員	17		○	
個別配信				
農業改良普及所 (所長、次長)	7	○		
とっとり農業戦略課 (専門技術員等)	7	○		
農業試験場 (関係研究員)	4	○		
園芸試験場 (関係研究員)	6	○		
農業協同組合等 (各課、各営農センター等)	41	○		
鳥取大学	2	○		
農薬製造販売会社	16	○		
ケーブルテレビ放送会社	3	○		
新聞社	1	○		
情報配信希望者 (農業者他)	28	○	○	
合 計	179			

- 注) (1) 発表した情報: 病虫害発生予報、注意報、警報、特殊報、指導情報
(上記以外の指導情報については、該当農業改良普及所に作目ごとに随時提供)
- (2) 伝達手段
A: 電子メール、B: 郵送、C: 植物防疫総合情報ネットワーク (JPP-NET)

(4) 情報発信の流れ図



6 普通作物病害虫の発生予察調査結果

(1) 主な普通作物病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	年次	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
				甚	多	中	少	計	
イネ	本年 12,800	葉いもち	本年	3	13	102	1280	1398	10.9
			平年	8	119	549	2182	2858	21.4
	平年 13,330	穂いもち	本年	0	1	8	171	180	1.4
			平年	5	23	183	1179	1390	10.4
	前年 12,600	紋枯病	本年	0	8	38	3499	3545	27.7
			平年	14	66	241	5194	5515	41.4
		白葉枯病	本年	0	0	0	2	2	0.0
			平年	0	0	0	0.8	0.8	0.0
		ばか苗病	本年	0	0	0	40	40	0.3
			平年	0	0	0	46	46	0.3
		心枯線虫病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
		もみ枯細菌病	本年	0	0	0	38	38	0.3
			平年	0	1	1	245	247	1.9
		ごま葉枯病	本年	1	85	683	1536	2305	18.0
			平年	1	48	154	580	783	5.9
		縞葉枯病	本年	0	0	0	2330	2330	18.2
			平年	0	0	42	1544	1586	12.3
		ニカメイガ 第1世代	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	108	108	0.8
		ニカメイガ 第2世代	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	89	89	0.7
		セジロウカ	本年	0	0	1024	9728	10752	84.0
			平年	0	0	316	7231	7547	56.6
		トビイロウカ	本年	0	64	680	7977	8721	68.1
			平年	0	1	13	834	848	6.4
		ヒメトビウカ	本年	0	0	252	10332	10584	82.7
			平年	0	15	685	8480	9180	68.9
		ツマク ^o ロヨコハイ	本年	0	0	0	8789	8789	68.7
			平年	0	77	645	6163	6885	51.7
	イモジ ^o セリ	本年	0	0	0	0	0	0	
		平年	0	0	0	155	155	1.2	
	コブノメイガ	本年	64	512	1536	8553	10665	83.3	
		平年	0	0	18	1194	1212	9.1	
	イネズ ^o ウムシ	本年	0	0	1092	3108	4200	32.8	
		平年	0	0	118	3652	3770	28.3	
	斑点米カ ^o ムシ類	本年	0	667	1467	9333	11467	89.6	
		平年	161	629	2315	6738	9843	73.8	
	フタヒ ^o コヤガ	本年	0	0	0	252	252	2.0	
		平年	0	159	608	2686	3453	25.9	

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	年次	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
				甚	多	中	少	計	
ムギ	本年	さび病類 (小さび病)	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	前年	うどんこ病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	3	4	5	9	21	19.8
	前年	赤かび病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	1	1	0.9
	前年	斑葉病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0.2	0.2	0.2
	前年	黒穂病類	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	前年	雲形病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	前年	縞萎縮病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	前年	黒節病	本年	0	0	0	1	1	1.1
			平年	0.2	0.3	1	2	3.5	3.3
前年	網斑病	本年	0	19	19	55	93	100	
		平年	0	8	11	77	96	90.6	
ダイズ	本年	紫斑病	本年	0	0	23	277	300	48.1
			平年	0	0	7	188	195	26.3
	前年	モザイク病 (褐斑粒)	本年	0	0	0	62	62	9.9
			平年	0	0	6	139	145	19.5
	前年	ハスモンヨトウ	本年	12	12	53	300	377	60.4
			平年	47	72	124	402	645	86.9
前年	カメムシ類	本年	0	0	291	291	582	93.3	
		平年	12	55	155	429	651	87.7	

*平年値は過去 10 年間の平均値。

注) 発生程度別面積は、定点巡回調査、必要に応じた追加調査をもとに算出。

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. イネ

病害虫名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
苗立枯病 (平年並)	一部で発生が認められた。	育苗環境が不適切であった。
葉いもち (平年並)	本田における葉いもちの発生は、7月中旬以降に山間地等の常発地および一部の平坦地において散見されたが、梅雨明け(7月31日頃)後は病勢が停滞した。 7月下旬の発生ほ場率は、平年並であった(本年:10.9%、平年:21.0%)。	本病弱抵抗性品種の作付割合が90%以上と高い。 苗いもちの発生が少なかった。 6月中旬から7月31日頃の梅雨明けまで、曇雨天が続いたが、その後は高温で経過したため、病勢が停滞した。
穂いもち (やや少ない)	山間地等の一部の常発地において、穂いもちの発生がみられた。9月上旬の発生ほ場率は平年よりやや低かった(本年:1.4%、平年:10.2%)。	出穂期は平年並であった。 8月上旬以降が高温で経過したため、感染に不適であった。一部の葉いもち発生ほ場において、発病が確認された。
紋枯病 (やや少ない)	9月上旬の発生ほ場率は、平年よりやや少なかった(本年:27.7%、平年:41.4%)。 近年、発生の地域間差、ほ場間差が大きくなっている。	6月第6半旬から7月下旬は曇雨天が続く、気温も高く推移したため、本病の水平進展が助長された。梅雨明け(7月31日頃)以降は降雨日が少なかったため、その後の上位進展は緩慢であった。
ばか苗病 (平年並)	一部で発生が認められた。 近年、問題となる大発生はないが、一部の糯米、酒米等で発生が散見されている。	JAから供給される温湯消毒種子の使用が大半であるが、酒米、糯米等では消毒時間が短いため、効果が不十分である。 一部の大規模農家の種子消毒が不適切であった。
心枯線虫病 (平年並)	発生は認められなかった。	前年の本種による葉先枯症状は少なかったため、汚染率は低いと推察される。
もみ枯細菌病 (やや少ない)	中生品種を中心に発生が認められ、発生ほ場率は平年と比較してやや低かった(本年:0.3%、平年:1.9%)。	本病が発生しやすい中生品種の栽培面積が約3割を占めている。
ごま葉枯病 (やや多い)	中生品種を中心に発生が認められ、極一部の秋落ち症状が発生しやすい地域では、多発生ほ場も散見された。発生ほ場率は平年よりやや高かった(本年:18.0%、平年:6.1%)。 近年、発生が増加傾向にある。	8月上旬から9月上旬の高温が秋落ち症状の原因となったと考えられる。 秋落ち症状が発生しやすい中生品種の栽培面積が約3割を占めている。

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
縞葉枯病 (平 年 並)	発生ほ場率は 18.2% (平年 : 12.3%) で、平年並の発生であった。発生の主体は中生品種栽培ほ場で、中間～平坦地の全域で本病が散見された。	近年、ヒメトビウンカの発生が増加しており、ウイルス保毒虫率も上昇傾向にあるが、ウンカ類に対して高い効果を示す育苗箱施用剤が導入されたため、発生の多かった前年に比べて発生は減少した。
ニカメイガ 第1世代 (平 年 並)	発生は認められなかった。	前年の第 2 世代幼虫の発生は認められなかった。
ニカメイガ 第2世代 (平 年 並)	発生は認められなかった。	第 1 世代幼虫の発生は認められなかった。
セジロウンカ (多 い)	予察灯への初誘殺は平年より早く (本年:6月25日、平年:7月2日)、7月下旬までの誘殺数は平年より多かった。7月下旬の発生ほ場率は84.0% (平年:56.1%) で、平年より多い発生であった。	6月から7月に断続的に飛来した。飛来回数、飛来量ともに平年より多かった。
トビイロウンカ (多 い)	<p>予察灯への初飛来は6月25日と早く (平年:9月5日、令和元年:7月4日)、その後、7月下旬にかけて断続的に飛来した。飛来場所は県下全域であったが、飛来量は県東部および中部で多かった。</p> <p>8月上旬の巡回調査定点およびウンカ類調査定点における発生ほ場率は平年より高かった (本年:53.3%、平年:0.3%)。その後も発生は増加し続け、9月上旬の発生ほ場率は平年より高く (本年:68.1%、平年:6.4%)、要防除水準を超えているほ場が散見され始めた。</p> <p>坪枯れは9月10日頃から発生し始め、9月第3半旬以降、発生地域数および発生ほ場数が急激に増加した。発生の中心は、県東部の全域および中部の一部地域の中～晩生品種および飼料稲であった。坪枯れが融合してほ場の半面が枯れたほ場が散見されたが、全面が枯れる甚大な被害は発生しなかった。</p>	<p>飛来回数、飛来量とも平年および前年より非常に多かった。また、巡回調査の結果から、飛来場所も前年より広がったと推測される。</p> <p>坪枯れは、本種に対して薬剤感受性が低下している育苗箱施用剤を使用したほ場、出穂期以降、本田防除を実施しなかったほ場、使用育苗箱数が極端に少ないほ場を中心に発生した。</p> <p>なお、県中部の坪枯れの発生が東部より少なかった要因として、ウンカ類に対して高い効果を示す育苗箱施用剤の導入が考えられる。</p>
ヒメトビウンカ (やや多い)	7月下旬の発生ほ場率は82.7% (平年:69.5%) で平年よりやや多い発生であった。少発生ほ場が大半を占め、中発生ほ場の割合が前年より大幅に減少した。	<p>2013年頃より発生が増加した要因として、県内で広域に使用される育苗箱施用剤の防除効果および残効性の低下、本田での散布剤の防除効果の低下、収穫後～冬の高温暖傾向等が考えられる。</p> <p>なお、前年より中発生以上のほ場率が減少した要因は、本種の発生量が他地域より多かった県中部全域において、ウンカ類に対して高い効果を示す育苗箱施用剤が導入されたためと考えられる。</p>

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
ツマグロヨコバイ (やや少ない)	7月下旬の発生ほ場率は68.7%(平年:52.9%)で平年よりやや多かったが、9月上旬の発生ほ場率は32.7%(平年:51.5%)で、最終的には平年よりやや少ない発生であった。	本年はトビイロウンカが多発し、本田における薬剤散布が例年以上に行われたため、最終的にはやや少ない発生となった。
コブノメイガ (多 い)	飛来時期は平年より早く、6月中旬と推定される。7月下旬の発生ほ場率は40.7%(平年:5.9%)、9月上旬の発生ほ場率は83.3%(平年8.7%)で平年より多い発生となった。大半が少発生ほ場であったが、中生品種および飼料用イネの一部では中～多発生ほ場も確認された。	飛来時期が早く、さらに飛来回数および飛来量が多かった。
イネミズゾウムシ (平 年 並)	水田への成虫侵入盛期は平年よりやや遅かった。6月中旬の発生ほ場率は32.8%(平年:28.3%)で、平年並の発生であった。	効果の高い育苗箱施用剤が県下全域で普及している。
斑点米カメムシ類 (やや多い)	<p>6～7月の予察灯への誘殺数は平年並であった。</p> <p>7月下旬の水田周辺のイネ科植物における発生量は平年より多かった。特にクモヘリカメムシの発生量が多く、高密度で発生している地点が県下全域に点在していた。</p> <p>7月下旬～8月初めに、既に穂揃い期を迎えた水田(早植え、極早生品種等)における発生ほ場率は平年並であったが(本年:93.8%、平年:93.9%)、要防除水準を超えているほ場率は平年より高かった(本年:93.8%、平年:66.1%)。また、すくい取り虫数は40.0頭(25往復50回振り虫数、平年:20.5頭)と平年より多く、特にクモヘリカメムシのすくい取り虫数は過去10年間で最も多かった。</p> <p>8月中旬の巡回調査定点における発生ほ場率は平年よりやや高かったが(本年:89.6%、平年:74.2%)、すくい取り虫数は平年並であった(本年:捕虫網25往復50回振り虫数8.5頭、平年:8.4頭)。</p>	<p>7月の気温が平年よりやや低かったが、降水量が平年並～やや多く、水田周辺のイネ科植物の生育が旺盛であったことから、7月下旬時点での発生が多かった。その後、防除が徹底され、発生ほ場率は平年よりやや高かったものの、すくい取り虫数は平年並となった。</p> <p>近年、クモヘリカメムシの発生が増加傾向にあり、本年は過去10年間で最も多かった。暖冬の影響により越冬量が多かったためと推測されるが、詳細な要因は不明である。</p>
フタオビコヤガ (少 ない)	7月下旬の発生ほ場率は2.0%(平年:25.0%)で、平年より少ない発生であった。	6月中旬から7月は本種の増殖に好適な気象条件(曇天寡照)で経過した。しかし、これまでに本種の発生が多かった地域では、効果の高い育苗箱施用剤が広域で普及しているため、発生量は平年より少なかった。

イ. ムギ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
うどんこ病 (やや少ない)	発生は認められなかった。	本病に強い品種が導入されている。
赤かび病 (やや少ない)	発生は認められなかった。	出穂期が平年より早かった。 感染適期が低温で経過した。
大麦縞萎縮病 (平年並)	発生は認められなかった。	抵抗性品種が作付されている。
斑葉病 (平年並)	発生は認められなかった。	採種ほ場ではほとんど発生が認められていないことから、種子の保菌率は低いと考えられる。
網斑病 (平年並)	発生ほ場率は100%と平年と同様に高く、発生程度は平年並であった。	

ウ. ダイズ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
紫斑病 (多い)	発生ほ場率は48.1% (平年:26.9%) で平年より多い発生であった。 ほとんどが少発生ほ場であったが、 一部地域では中発生ほ場が確認され た。	本病に比較的強い品種が広く普及し ているが、成熟期の降雨により、収穫 が遅れたほ場が散見された。
モザイク病 (やや少ない)	発生ほ場率は10.0% (平年:18.2%) で、やや少ない発生であった。	種子の保菌率が著しく低かったと推 察される。また、アブラムシ類の防除 が徹底された。
ハスモンヨトウ (やや少ない)	8~9月上旬のフェロモントラップ誘 殺数は平年並~やや多かった。9月中 旬の発生ほ場率は60.0% (平年:86.5%) で、最終的には平年よりやや少ない発 生となった。	8月以降、本種の発生に好適な条件 で経過したが、常発地では防除が徹底 されたため、最終的には平年よりやや 少ない発生となった。
カメムシ類 (平年並)	一部で中発生ほ場が確認されたが、 最終的な発生ほ場率は93.3% (平年 93.7%) で、平年並であった。	基幹防除が行われたため、平年並の 発生となった。

(3) 調査の概要と結果

ア. イネ

(ア) 調査地点

a. 県予察ほ場 鳥取市橋本

b. 一般ほ場

地区名	市町村名	発生程度別調査定点		ウンカ類追加調査地点	
		巡回調査地点	程度別追加調査地点		
東部	鳥取市	嶋	賀露、朝月、河内	細川 下坂本	
	〃 国府町	玉鉾	下原 小別所		
	〃 福部町	栗谷			
	〃 気高町	重高			
	〃 鹿野町	奥崎			
	〃 青谷町	福和田			
	〃 河原町	鷹狩			
	〃 用瀬町	古市 浦富	橋本	浦富	
	〃 佐治町				
	岩美町				蒲生
	八頭町 (旧郡家町)				池田
	〃 (旧船岡町)				
	〃 (旧八東町)				
若桜町	徳丸				
智頭町	須澄				
	三田				
中部	倉吉市	小鴨	下米積、服部	石脇	
	〃 関金町	今西	北福 牧 米里		
	湯梨浜町 (旧羽合町)	長瀬			
	〃 (旧泊村)				
	〃 (旧東郷町)			曲 穂波 笠見	
	三朝町	瀬戸 美好 出上			
	北条町				
	大栄町				
	琴浦町 (旧東伯町)				
	〃 (旧赤碕町)				
西部	米子市	東八幡	奈喜良、車尾	車尾、東八幡	
	〃 淀江町	福岡			
	境港市	原	下鴨部	富吉	
	南部町 (旧西伯町)				
	〃 (旧会見町)				
	伯耆町 (旧岸本町)				
	〃 (旧溝口町)	二部、宇代	平	下甲	
	日吉津村				
	大山町				
	〃 (旧名和町)	佐摩	旧奈和		
	〃 (旧中山町)		羽田井		
	江府町	洲河崎			
	日野町	黒坂			
日南町	矢戸、下石見	下阿毘縁			
調査地点数・ほ場数	巡回調査 30地点×3ほ場 程度別調査 30地点×5ほ場	程度別調査 20地点×5ほ場 (気象条件、発生状況 により実施の有無を判 断)	12地点×5ほ場 (予察灯への誘殺状況に より実施の有無を判断)		
調査時期	6月上旬～中旬、 6月下旬 7月上旬～中旬 7月下旬～8月上旬、8月 中旬 7月下旬、9月上旬	7月下旬、9月上旬	8月下旬～9月上旬		
調査項目	初期害虫、いもち病他、 カメシ類	全般	ウンカ類		

c. 予察灯

鳥取市橋本、岩美町牧谷、琴浦町光好、日吉津村富吉

(イ) 調査観察結果

a. イネの生育状況

第1表 県予察ほ場におけるイネの生育遅延状況

品種	生育遅延状況 (月. 日)		
	田植期 (平年比)	出穂期 (平年比)	収穫期
コシヒカリ (5.27植)	5.27 (+2)	8.7 (+2)	9.15
日本晴 (5.27植)	5.27 -	8.16 -	9.29

b. 病害の発生状況

(a) 県予察ほ場

第2表 県予察ほ場における葉いもち、穂いもちの発病状況

(無防除区)

品種	調査 月日	葉いもち						穂いもち		
		発病株率 (%)			病斑面積率 (%)			発病穂率 (%)		
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
コシヒカリ (5.27植)	6.22	0	0	±0	0	0	±0			
	7.1	0	0	±0	0	0	±0			
	10	0	0.8	-0.8	0	0.00	±0			
	22	56.0	8.8	+47.2	0.13	0.02	+0.11			
	8.3	54.0	13.0	+41.0	0.11	0.03	+0.08			
	9.8							0	0.24	-0.24
日本晴 (5.27植)	6.22	0	-	-	0	-	-			
	7.1	0	-	-	0	-	-			
	10	0	-	-	0	-	-			
	22	12.0	-	-	0.03	-	-			
	8.3	8.0	-	-	0.02	-	-			
	11	2.0	-	-	0.00	-	-			
	9.23							0	-	-

注1) フェルテラチェス箱粒剤(50g/箱)。

第3表 県予察ほ場における紋枯病の発生状況

(無防除区)

品種	調査月日	発病株率 (%)			病斑高率 (%)			被害度			発病度		
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
コシヒカリ (5.27植)	6.22				0	0	±0						
	7.1				0	0	±0						
	10				0	6.8	-6.8						
	22				18.8	18.6	+0.2						
	8.3				27.4	24.1	+3.3						
	11				29.6	31.9	-2.3						
	21				37.1	38.2	-1.0						
	31				40.6	50.1	-9.5						
	9.8	64.9	62.0	+2.9	52.1	56.9	-4.8	33.7	38.8	-5.1	30.3	39.2	-8.9
日本晴 (5.27植)	6.22				0	-	-						
	7.1				0	-	-						
	10				0	-	-						
	22				23.3	-	-						
	8.3				28.6	-	-						
	11				26.1	-	-						
	21				26.4	-	-						
	31				28.4	-	-						
	9.10				29.4	-	-						
	23	32.8	-	-	40.1	-	-	10.6	-	-	11.6	-	-

注1) フェルテラチェス箱粒剤(50g/箱)。

注2) 梅雨明け後に病勢が停滞したため、8月に病斑高率が低下した。

第4表 県予察ほ場における内穎褐変病（収穫後調査）、もみ枯細菌病（本田調査）の発生状況

品種	内穎褐変病 発病粗率 (%)				もみ枯細菌病 発病穂率 (%)
	濃い	薄い	しいな	計	
コシヒカリ (5.27植)	0.7	1.6	0.8	3.1	0
日本晴 (5.27植)	1.3	1.3	1.3	3.9	0

注) 内穎褐変病発病粗率は収穫後に無防除区を調査
(調査粒数は、コシヒカリ：約33,000粒、日本晴：約9,000粒)。

(b) 一般ほ場

第5表 一般ほ場におけるいもち病、ばか苗病、ごま葉枯病の発病状況

地区	月・ 半旬	いもち病						ばか苗病						ごま葉枯病										
		調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)		
			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			
東部	7・6	60	0	0	1	8	9	15.0	60	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	60	0	0	0	1	1	1.7	-	-	-	-	-	-	-	60	0	1	6	7	14	23.3	-	
中部	7・6	30	0	0	0	1	1	3.3	30	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	30	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	30	0	0	2	2	4	13.3	-	
西部	7・6	60	0	0	0	6	6	10.0	60	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	60	0	0	0	1	1	1.7	-	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	9	9	15.0	-	
全県	7・6	150	0	0	1	15	16	10.7	150	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	150	0	0	0	2	2	1.3	-	-	-	-	-	-	-	150	0	1	8	18	27	18.0	-	

注) いもち病は、7月は葉いもち、8月は穂いもち（早生品種主体）の調査。発生ほ場率は、地区毎の単純平均。

第6表 一般ほ場における紋枯病、縞葉枯病、白葉枯病の発病状況

地区	月・ 半旬	紋枯病						縞葉枯病						白葉枯病											
		調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)			
			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計				
東部	7・6	60	-	-	-	-	7	11.7	60	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	0	0	0	22	22	36.7	60	-	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	0	0	0	0	0
中部	7・6	30	-	-	-	-	2	6.7	30	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	30	0	0	0	6	6	20.0	30	-	-	-	-	-	-	-	30	0	0	0	0	0	0	0	0
西部	7・6	60	-	-	-	-	4	6.7	60	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	0	0	0	13	13	21.7	60	-	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	0	0	0	0	0
全県	7・6	150	-	-	-	-	13	8.7	150	0	0	0	0	0	0	0	150	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	150	0	0	0	41	41	27.3	150	-	-	-	-	-	-	-	150	0	0	0	0	0	0	0	0

第7表 一般ほ場におけるもみ枯細菌病の発病状況

地区	月・ 半旬	もみ枯細菌病						
		調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)
			甚	多	中	少	計	
東部	8・6	60	0	0	0	0	0	0
中部	8・6	30	0	0	0	0	0	0
西部	8・6	60	0	0	0	0	0	0
全県	8・6	150	0	0	0	0	0	0

c. 害虫の発生状況

(a) 県予察ほ場

第8表 県予察ほ場におけるニカメイガフェロモントラップの半旬別誘殺数

世代	月	半旬					
		1	2	3	4	5	6
越冬世代成虫	4月	0	0	0	0	0	0
	5月	0	0	0	0	0	0
	6月	0	0	0	0	0	0
	7月	0	0	0	0	0	0
第1世代成虫	8月	0	0	0	0	0	0

第9表 県予察ほ場におけるセジロウンカ成幼虫の発生消長（25株払い落とし虫数）

調査月日	コシヒカリ (5. 22植)						きぬむすめ (5. 26植)					
	防除区			無防除区			防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
6.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.9	2.9
7.9	0	0	0	12.3	74.5	86.8	0	0	0	3.4	108.8	112.3
21	1.0	0	1.0	10.8	3.9	14.7	2.0	0	2.5	24.5	29.9	54.4
30	1.5	0	1.5	3.4	233.8	237.3	0	0	1.0	10.8	448.0	458.8
8.12	0	0	0	2.9	54.4	57.4	0	0	0	51.5	155.4	206.9
19	0	0	0	1.5	74.5	76.0	0	0	0	2.0	35.8	37.7

第10表 県予察ほ場におけるトビロウンカ成幼虫の発生消長（25株払い落とし虫数）

調査月日	コシヒカリ (5. 22植)						きぬむすめ (5. 26植)					
	防除区			無防除区			防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
6.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	1.5	3.4
19	0	0	0	0	26.0	26.5	0	0	0	0.5	53.9	54.4
9.2	0	0	0	10.3	108.3	118.6	0	1.0	1.0	11.8	201.5	213.2
10	-	-	-	-	-	-	0	0	0	14.7	43.6	58.3

第11表 県予察ほ場におけるヒメトビウンカ成幼虫の発生消長（25株払い落とし虫数）

調査月日	コシヒカリ (5. 22植)						きぬむすめ (5. 26植)					
	防除区			無防除区			防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
6.29	0	0	0	0	106.4	106.4	0	0	0	0	149.5	149.5
7.9	0	0	0	0	19.1	19.6	0	0	0	0	5.9	5.9
21	0	0	0	6.4	9.8	16.2	0	0	0	9.8	11.3	21.1
30	0	0	0	0	15.2	15.7	0	0	0	2.9	20.1	23.0
8.12	0	0	0	5.9	30.9	36.8	0	0	0	5.9	61.3	67.2
19	0	2.9	3.4	2.9	55.9	58.8	0	0	0	1.0	34.8	35.8

(b) 一般ほ場

第12表 一般ほ場におけるイネミズゾウムシの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	イネミズゾウムシ					発生ほ場率(%)
			発生程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	
東部	6・3	60	0	0	2	12	14	23.3
中部		30	0	0	1	10	11	36.7
西部		60	0	0	10	15	25	41.7
全県		150	0	0	13	37	50	33.3

第13表 一般ほ場におけるセジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	セジロウンカ					トビイロウンカ					ヒメトビウンカ							
			発生程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率(%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	6	50	56	93.3	0	0	0	1	1	1.7	0	0	3	54	57	95.0
	8・6	85	-	-	-	-	-	-	0	0	7	68	75	88.2	-	-	-	-	-	-
中部	7・6	30	0	0	0	21	21	70.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	83.3
	8・6	35	-	-	-	-	-	-	0	0	2	13	15	42.9	-	-	-	-	-	-
西部	7・6	60	0	0	6	43	49	81.7	0	0	0	3	3	5.0	0	0	0	44	44	73.3
	8・6	87	-	-	-	-	-	-	0	0	2	48	50	57.5	-	-	-	-	-	-
全県	7・6	150	0	0	12	114	126	84.0	0	0	0	4	4	2.7	0	0	3	123	126	84.0
	8・6	207	-	-	-	-	-	-	0	0	11	129	140	67.6	-	-	-	-	-	-

第14表 一般ほ場におけるイネシガラセンチュウ、フタオビコヤガの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	イネシガラセンチュウ					フタオビコヤガ						
			発生程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率(%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3.3
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8・6	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
西部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.7
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全県	7・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2.0
	8・6	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第15表 一般ほ場におけるニカメイガ、コブノメイガの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	ニカメイガ					コブノメイガ						
			発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	33.3
	8・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	9	39	48	80.0
中部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12	40.0
	8・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	3	15	18	60.0
西部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	29	48.3
	8・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	6	46	52	86.7
全県	7・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	61	40.7
	8・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	18	100	118	78.7

第16表 一般ほ場におけるツマグロヨコバイの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	ツマグロヨコバイ					発生ほ場率(%)
			発病程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	53	53	88.3
	8・6	60	0	0	0	18	18	30.0
中部	7・6	30	0	0	0	17	17	56.7
	8・6	30	0	0	0	7	7	23.3
西部	7・6	60	0	0	0	33	33	55.0
	8・6	60	0	0	0	23	23	38.3
全県	7・6	150	0	0	0	103	103	68.7
	8・6	150	0	0	0	48	48	32.0

第17表 フェロモントラップにおけるニカメイガ雄成虫の半旬別誘殺数

世代	月・半旬	琴浦町槻下	
		本年	平年
越冬世代	5・5	0	0.0
	5・6	0	0.0
	6・1	0	0.2
	6・2	0	0.3
	6・3	0	0.3
	6・4	0	0.7
	6・5	0	0.4
	6・6	0	0.3
	合計	0	2.2
第1世代	8・1	0	0.3
	8・2	0	0.1
	8・3	0	0.2
	8・4	0	1.2
	8・5	0	0.6
	8・6	0	1.9
		合計	0

第18表 一般ほ場における斑点米カメムシ類の発生状況（8月4～13日調査）

地区名	市町村名	地点名	斑点米カメムシ類の種類							合計	
			アサシ [△] カスミカメ	ホソド [△] リ カスミカメ類	ホソハ カメムシ	トケ [△] シラホシ カメムシ	クモヘリ カメムシ	シラホシ カメムシ	ムギ [△] カスミカメ		その他
東部	鳥取市(旧国府町)	玉鉾	4.5	0	0	0	0.8	0	0	0	5.3
	" (旧福部村)	栗谷	3.3	0	0	0.3	7.5	0	0	0.3	11.4
	" (旧河原町)	福和田	2.3	0	0	0.5	1.8	0	0	0	4.6
	" (旧用瀬町)	鷹狩	1.3	0	0	0	2.5	0	0	0	3.8
	" (旧気高町)	奥崎	2.5	0	0.3	0.3	2.5	0	0	0	5.6
	"	嶋	1.8	0	0	0	0.3	0	0	0	2.1
	八頭町	池田	0	0	0	0	0.5	0	0	0	0.5
	"	徳丸	6.3	0	1.0	0	1.0	1.0	0	0	9.3
岩美町	蒲生	2.0	0	0	0.5	2.8	0	0	0	5.3	
中部	湯梨浜町	長瀬	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0.5
	北栄町	瀬戸	2.5	0	0	0	0.3	0.3	0	0	3.1
	琴浦町	出上	6.0	0	0	0	5.5	0	0.3	0.3	12.1
	"	美好	22.5	0	0	0	18.0	0	0	0	40.5
西部	米子市	東八幡	3.5	0	0	0.3	0.8	0	0	0	4.6
	"	福岡	3.5	0	0	0	0.8	0	0	0	4.3
	南部町(旧西伯町)	天万	4.8	0	0	0.3	1.5	0	0	0	6.6
	" (")	原	9.3	0	0.8	0	4.3	0	0	0	14.4
	伯耆町(旧岸本町)	吉長	1.3	0	0	0	2.3	0	0	0	3.6
	(旧溝口町)	二部	2.8	0	0	1.5	5.3	0	0	0.3	9.9
	日野町	黒坂	1.0	0	0.3	1.0	1.3	0	0	0	3.6
	江府町	洲河崎	0	0	0	0	7.0	0	0	0	7.0
	日南町	矢戸	1.3	0	0	0	0	0	0	0.3	1.6
	"	下石見	2.3	0	1.0	0	0	0.3	0.3	0	3.9
大山町	佐摩	2.8	0	0	0	1.3	0	0	0	4.1	
東部	虫数 (頭)		2.7	0	0.1	0.2	2.2	0.1	0	0.0	5.3
	発生ほ場率 (%)		75.0	0	5.6	13.9	66.7	2.8	0	2.8	88.9
中部	虫数 (頭)		7.9	0	0	0	6.0	0.1	0.1	0.1	14.1
	発生ほ場率 (%)		81.3	0	0	0	56.3	6.3	6.3	6.3	87.5
西部	虫数 (頭)		3.0	0	0.2	0.3	2.2	0.0	0.0	0.1	5.8
	発生ほ場率 (%)		68.2	0	11.4	18.2	52.3	2.3	2.3	4.5	90.9
県平均 R02年	虫数 (頭)		3.7	0	0.1	0.2	2.8	0.1	0.0	0.1	7.0
	発生ほ場率 (%)		72.9	0	7.3	13.5	58.3	3.1	2.1	4.2	89.6

注) 捕虫網25往復50回振りすくい取り平均成幼虫数。

(c) 予察灯

第19表 予察灯におけるニカメイガ成虫誘殺状況

項目	地 点								
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
越冬世代成虫	初飛来日	-	-	5月16日	-	↑	-	-	-
	最盛日	-	-	5月18日	-	↑	-	-	-
	最盛半旬	-	-	5月4半旬	-	↑	-	-	-
	50%誘殺日	-	-	-	-	欠測	-	-	-
	終息日	-	-	5月18日	-	↓	-	-	-
	総誘殺数(頭)	0	0	9	0	↓	0	0	0
性比(♀/(♀+♂))	-	-	0.63	-	↓	-	-	-	
第1世代成虫	初飛来日	-	-	-	-	↑	-	-	-
	最盛日	-	-	-	-	↑	-	-	-
	最盛半旬	-	-	-	-	↑	-	-	-
	50%誘殺日	-	-	-	-	欠測	-	-	-
	終息日	-	-	-	-	↓	-	-	-
	総誘殺数(頭)	0	0	0	0.1	↓	0	0	0
性比(♀/(♀+♂))	-	-	-	-	↓	-	-	-	

注) -は値がないまたは、総誘殺数10頭以下の年が過去10年間の内、5年以上ある場合。

第20表 予察灯におけるセジロウカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	8月5日	7月10日	6月27日	7月1日	6月13日	7月10日	6月25日	6月25日
最盛半旬	9月3半旬	8月6半旬	7月6半旬	8月4半旬	↑	8月5半旬	9月5半旬	8月3半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	14	23.2	218	263.7	欠測	137.7	1169	258.2
終息日	10月10日	10月3日	10月22日	10月12日	↓	10月8日	10月11日	10月14日
誘殺日数(日)	31	20.5	54	49.1		33.9	58	53.7
総誘殺数(頭)	80	57.0	584	689.8		283.1	1448	570.3
性比(♀/(♀+♂))	0.36	0.35	0.33	0.36		0.40	0.35	0.36

第21表 予察灯におけるトビロウカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	7月1日	9月11日	6月4日	8月15日	6月30日	9月14日	6月25日	9月10日
最盛半旬	9月2半旬	9月3半旬	9月4半旬	9月4半旬	↑	9月6半旬	9月5半旬	9月6半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	17	13.0	192	40.2	欠測	77.7	26	63.3
終息日	10月8日	10月21日	10月13日	10月4日	↓	10月2日	10月8日	9月28日
誘殺日数(日)	31	1.3	76	8.1		1.7	46	2.6
総誘殺数(頭)	62	2.6	927	41.6		25.8	154	27.6
性比(♀/(♀+♂))	0.42	0.43	0.37	0.514		0.69	0.49	0.41

第22表 予察灯におけるヒメトビウカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	7月28日	7月19日	7月24日	7月8日	↑	7月9日	6月29日	6月22日
最盛半旬	9月4半旬	8月6半旬	9月4半旬	8月6半旬	欠測	8月5半旬	9月5半旬	8月4半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	13	43.2	16	38.6		6.2	(4)	14.6
終息日	10月4日	9月24日	10月22日	9月29日	↓	9月17日	10月4日	9月29日
誘殺日数(日)	24	13.9	21	28.7		8.6	11	24.7
総誘殺数(頭)	65	54.2	59	105.5		14.1	14	56.8
性比(♀/(♀+♂))	0.29	0.34	0.47	0.35		0.38	(0.57)	0.31

注) () 内の数値は、誘殺数が30頭以下で少ない等により、確定できない場合の参考値

第23表 予察灯におけるツマグロヨコバイ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	-	7月2日	7月24日	6月18日	↑	6月20日	6月26日	6月19日
最盛半旬	-	8月3半旬	9月2半旬	9月2半旬	欠測	8月4半旬	6月6半旬	8月4半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	-	102.4	((6))	1761		505.2	((1))	97.4
終息日	-	9月16日	9月24日	10月2日	↓	9月26日	9月30日	9月23日
誘殺日数(日)	0	21.7	3	61.2		57.5	2	41.9
総誘殺数(頭)	0	216.3	8	4107.3		1326.6	2	305.2
性比(♀/(♀+♂))	-	0.40	((0.5))	0.48		0.47	((0.0))	0.21

注) (()) 内の数値は、誘殺数が10頭以下で少ない等により、確定できない場合の参考値

第24表 予察灯によるニカメイガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	9.0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	9.0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0		0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0		0	0	0
8	1	0	0	0	0		0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0.1		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0.1	欠測	0	0	0
9	1	0	0	0	0		0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0		0	0	0
10	1	0	0	0	0		0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0		0	0	0
合計		0	0	9.0	0.1	0	0	0	0

第25表 予察灯によるセジロウンカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	6	0	0	0	0	0	0	0	0.2
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0.3
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0.2
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	2.0	0	0	0.5
	4	0	0	0	0.1	0	0.3	0	6.1
	5	0	0.3	0	0.3	0	1.4	3.0	7.7
	6	0	0.4	2.0	3.3	0	0.2	15.0	6.1
	小計	0	0.7	2.0	3.8	2.0	1.9	18.0	20.6
7	1	0	1.2	1.0	3.7		3.0	1.0	19.1
	2	0	0.7	2.0	17.1		2.0	17.0	5.1
	3	0	2.8	2.0	55.4		14.9	3.0	88.4
	4	0	0.1	0	15.5		5.2	14.0	17.9
	5	0	0.4	5.0	8.4		2.4	57.0	7.1
	6	0	0.2	218.0	31.4		12.9	15.0	24.0
	小計	0	5.4	228.0	131.5		40.4	107.0	161.6
8	1	1.0	1.1	11.0	20.4		6.5	4.0	12.9
	2	1.0	2.7	27.0	28.9		26.7	1.0	17.4
	3	3.0	4.1	3.0	82.3		13.3	1.0	19.7
	4	5.0	9.0	7.0	99.3		67.6	13.0	41.0
	5	13.0	4.8	10.0	63.2		18.5	29.0	30.6
	6	10.0	3.9	21.0	80.8		26.9	14.0	122.6
	小計	33.0	25.5	79.0	374.9		159.4	62.0	244.1
9	1	8.0	2.2	155.0	32.8		13.7	8.0	21.6
	2	2.0	5.2	21.0	39.4		16.2	4.0	25.1
	3	14.0	7.4	25.0	44.3		17.9	17.0	36.8
	4	8.0	3.7	26.0	38.2		15.7	7.0	19.1
	5	12.0	5.1	43.0	10.0		6.4	1169.0	16.9
	6	0	0.7	0	5.1		3.3	53.0	5.6
	小計	44.0	24.3	270.0	169.8		73.1	1258.0	125.0
10	1	2.0	0.8	1.0	5.4		2.5	8.0	3.3
	2	1.0	0	0	1.3		3.1	0	4.0
	3	0	0.1	3.0	0.6		1.8	3.0	0.5
	4	0	0.1	0	0.4		0.2	0	0.6
	5	0	0.1	1.0	2.0		0.8	0	0.1
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	3.0	1.1	5.0	9.7		8.4	11.0	8.6
合計		80.0	57.0	584.0	689.8	2.0	283.2	1456.0	560.2

欠測

第26表 予察灯によるトビロウカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	1.0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	2.0	0	0	0	1.0	0
	6	0	0	8.0	0	1.0	0	3.0	0
	小計	0	0	11.0	0	1.0	0	4.0	0
7	1	1.0	0	1.0	0.8	↑ 欠測 ↓	0	0	0
	2	0	0	5.0	0.5		0	8.0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	4.0	0		0	10.0	0
	5	1.0	0	6.0	0		0	0	0
	6	4.0	0	12.0	0.1		0	0	0
	小計	6.0	0	28.0	1.4		0	18.0	0
8	1	0	0	13.0	0	↑ 欠測 ↓	0	8.0	0
	2	1.0	0.1	131.0	1.0		0	11.0	0
	3	4.0	0	35.0	0.2		0	3.0	0
	4	2.0	0	27.0	0.5		0	5.0	0
	5	7.0	0	52.0	0.8		0.5	1.0	0
	6	2.0	0	51.0	0.4		0	9.0	0.3
	小計	16.0	0.1	309.0	2.9		0.5	37.0	0.3
9	1	6.0	0	191.0	7.1	↑ 欠測 ↓	0.9	20.0	0.9
	2	17.0	0.2	20.0	1.8		0.4	21.0	1.3
	3	3.0	1.5	152.0	7.5		0	15.0	0
	4	13.0	0.3	192.0	1.4		0	1.0	0
	5	0	0	12.0	2.0		18.3	26.0	0.1
	6	0	0	1.0	4.6		1.1	2.0	1.2
	小計	39.0	2.0	568.0	24.4		20.7	85.0	3.6
10	1	0	0.1	5.0	1.1	↑ 欠測 ↓	0	9.0	2.6
	2	1.0	0.1	3.0	8.4		4.1	1.0	18.8
	3	0	0.2	3.0	3.2		0.4	0	2.3
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0.1	0	0.1		0	0	0
	6	0	0	0	0.1		0.1	0	0
	小計	1.0	0.5	11.0	12.9		4.6	10.0	23.7
合計		62.0	2.6	927.0	41.6	1.0	25.8	154.0	27.6

第27表 予察灯によるヒメトビウンカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	6	0	0.1	0	0	0	0	0	0.2
	小計	0	0.1	0	0	0	0	0	0.3
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0.2
	3	0	0	0	0	0	0	0	0.2
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.6
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0.8
	6	0	0.6	0	0.4	0	0.5	1.0	0.4
	小計	0	0.6	0	0.9	0	0.5	1.0	2.2
7	1	0	1.2	0	0.2		0.1	0	0.4
	2	0	0.2	0	0.5		0	0	0.8
	3	0	0.2	0	0.9		0.2	0	1.0
	4	0	0.3	0	1.4		0.6	0	2.0
	5	0	0.1	2.0	1.8		1.1	0	1.5
	6	1.0	0.1	0	0.8		1.2	0	3.2
	小計	1.0	2.1	2.0	5.6		3.2	0	8.9
8	1	0	0.1	0	1.2		0.7	0	2.3
	2	2.0	0.1	0	4.7		0.6	1.0	2.9
	3	1.0	0.6	2.0	2.5		0.6	1.0	2.1
	4	1.0	1.8	1.0	9.8		2.2	1.0	7.6
	5	10.0	2.8	2.0	22.2		2.3	0	12.6
	6	2.0	3.3	1.0	14.3		0.6	2.0	4.3
	小計	16.0	8.6	6.0	54.7		7.0	5.0	31.8
9	1	6.0	1.5	12.0	6.0		1.1	0	3.1
	2	10.0	1.4	1.0	11.0		1.0	0	1.9
	3	9.0	35.2	5.0	17.1		0.6	0	2.9
	4	13.0	2.2	16.0	5.9		0.2	1.0	1.7
	5	6.0	0.9	12.0	1.8		0.4	4.0	1.6
	6	2.0	0.8	2.0	1.3		0	0	0.6
	小計	46.0	42.0	48.0	43.1		3.3	5.0	11.7
10	1	2.0	0.6	1.0	0.7		0	3.0	0.6
	2	0	0	0	0.3		0	0	0.2
	3	0	0.1	1.0	0.1		0	0	0.1
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	1.0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	2.0	0.7	3.0	1.1		0	3.0	0.9
合計		65.0	54.1	59.0	105.4	0	14.1	14.0	55.8

欠測

第28表 予察灯によるツマグロヨコバイ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	3	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	4	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0.2
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.3	0	0	0	0.1
	3	0	0	0	1.1	0	0.3	0	1.2
	4	0	0.1	0	0.6	0	0.1	0	2.4
	5	0	0.4	0	0.6	0	0.6	0	9.2
	6	0	0.2	0	0.9	0	0.9	1.0	24.7
	小計	0	0.7	0	3.5	0	1.9	1.0	37.6
7	1	0	1.4	0	1.5		6.3	0	14.1
	2	0	2.3	0	6.2		12.8	0	13.0
	3	0	3.6	0	15.2		26.2	0	7.8
	4	0	6.2	0	44.4		35.8	0	6.5
	5	0	14.7	1.0	161.4		74.5	0	39.0
	6	0	65.0	0	136.8		169.9	0	64.3
	小計	0	93.2	1.0	365.5		325.4	0	144.7
8	1	0	34.0	0	85.0		170.8	0	39.4
	2	0	10.4	0	159.3		102.5	0	13.0
	3	0	2.1	0	109.0		28.6	0	4.3
	4	0	0.8	0	146.7		41.9	0	4.6
	5	0	2.0	0	129.0		11.0	0	5.0
	6	0	9.1	0	263.8		20.6	0	13.8
	小計	0	58.3	0	892.8		375.3	0	80.1
9	1	0	14.7	0	329.8		25.4	0	10.0
	2	0	22.3	6.0	585.5		59.0	0	9.4
	3	0	20.8	0	1555.4		371.9	0	7.6
	4	0	5.6	0	298.2		109.4	0	11.6
	5	0	0.7	1.0	46.5		55.6	0	1.0
	6	0	0	0	13.0		1.2	1.0	0.9
	小計	0	64.1	7.0	2828.4		622.5	1.0	40.4
10	1	0	0	0	6.9		1.2	0	0.2
	2	0	0	0	8.8		0.2	0	0.1
	3	0	0	0	1.4		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	17.1		1.4	0	0.3
合計		0	216.3	8.0	4107.4	0	1326.6	2.0	303.4

欠測

第29表 予察灯によるイネミズゾウムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0.3	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.7	0	0	0	0
	5	0	0.1	0	1.1	0	0	0	0
	6	0	0.2	0	0.3	0	0	0	0
	小計	0	0.4	0	2.4	0	0	0	0
6	1	0	0.1	0	0.2	0	0	0	0
	2	0	0.2	0	0	0	0	0	0
	3	0	0.2	0	0.2	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0.2	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0.7	0	0.4	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0.1	↑ 欠測	0.3	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0.1	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0.1		0	0	0.1
	6	0	0.3	0	0.6		0.3	0	0.2
	小計	0	0.4	0	0.8		0.7	0	0.3
8	1	0	0.7	0	0.4	↓	0	0	0.4
	2	0	0.2	0	0.1		0	0	0.5
	3	0	0.7	0	0.2		0	0	0.4
	4	0	0.2	0	0.1		0	0	0.1
	5	0	0	0	0.1		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	1.8	0	0.9		0	0	1.4
9	1	0	0.2	0	0	↓	0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0.2	0	0		0	0	0
10	1	0	0	0	0	↓	0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0		0	0	0
合計		0	3.5	0	4.5	0	1.0	0	1.8

第30表 予察灯によるコブノメイガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	1.0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1.0	0	0	0	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0	↑ 欠測	0	0	0
	2	0	0	2.0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	1.0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	3.0	0		0	0	0
8	1	0	0	0	0	↓	0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	2.0	0	0	0		0	0	0
	6	4.0	0	0	0.1		0	0	0
	小計	6.0	0	0	0.1		0	0	0
9	1	0	0	0	0	↓	0.1	0	0
	2	1.0	0	0	0.1		0	0	0
	3	3.0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	1.0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	1.0	0	0	0		0	0	0
	小計	5.0	0	0	0.1		0	0.1	1.0
10	1	0	0	0	0	↓	0	0	0
	2	0	0	1.0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0		0	0	0
合計		12.0	0	0	0.2	0	0.1	1.0	0

第31表 予察灯によるアカスジカスミカメ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0.2
	4	0	3.2	0	0.5	0	0.3	0	0
	5	0	11.6	0	0.8	0	0.1	0	0.9
	6	3.0	17.8	0	5.0	0	0.7	0	0.8
	小計	3.0	32.8	0	6.5	0	1.3	0	1.9
6	1	3.0	13.8	18.0	7.5	2.0	0.4	3.0	0.6
	2	0	16.5	45.0	16.0	1.0	0.7	0	0.6
	3	1.0	7.3	53.0	27.6	4.0	2.4	0	0.2
	4	0	12.8	1.0	31.7	0	3.4	0	1.4
	5	14.0	59.6	29.0	67.4	1.0	6.4	10.0	5.7
	6	16.0	187.9	93.0	186.9	0	20.3	8.0	21.4
	小計	34.0	297.9	239.0	337.1	8.0	33.6	21.0	29.9
7	1	8.0	208.2	110.0	231.4		49.3	4.0	44.1
	2	10.0	233.7	117.0	219.3		106.2	13.0	30.2
	3	0	122.3	17.0	96.8		107.4	0	18.5
	4	8.0	81.0	37.0	59.1		55.5	8.0	15.3
	5	3.0	36.3	18.0	49.8		54.5	2.0	19.8
	6	0	19.4	16.0	46.1		61.3	4.0	11.6
	小計	29.0	700.9	315.0	702.5		434.1	31.0	139.5
8	1	0	32.8	4.0	31.8		49.1	3.0	9.1
	2	0	34.0	14.0	31.4		56.9	17.0	12.8
	3	1.0	16.5	15.0	33.4		32.4	9.0	7.4
	4	1.0	16.6	0	42.3		22.4	5.0	6.8
	5	6.0	16.2	22.0	55.5		17.3	2.0	9.2
	6	6.0	18.1	2.0	55.4		16.8	4.0	7.3
	小計	14.0	134.1	57.0	249.8		194.8	40.0	52.6
9	1	14.0	18.0	17.0	55.1		9.1	1.0	9.5
	2	4.0	13.2	5.0	67.1		8.3	0	10.2
	3	2.0	24.9	13.0	89.4		9.5	0	4.2
	4	0	12.5	4.0	85.7		3.1	0	4.7
	5	2.0	3.3	11.0	30.5		2.6	0	1.0
	6	0	3.0	0	47.0		2.4	0	1.8
	小計	22.0	74.9	50.0	374.8		35.0	1.0	31.4
10	1	0	14.3	0	40.5		1.8	0	7.6
	2	2.0	3.5	8.0	35.3		0.6	0	1.3
	3	0	1.7	6.0	9.3		0.5	0	0.1
	4	0	0.1	0	2.8		0	0	0.5
	5	0	0.3	3.0	4.8		0.2	0	0
	6	0	0	0	5.1		0	0	0
	小計	2.0	19.9	17.0	97.8		3.1	0	9.5
合計		104.0	1260.5	678.0	1768.4	8.0	701.9	93.0	264.8

欠測

第3表 予察灯によるホソミドリカスミカメ類成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	—	0	—	0	—
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0.1	0	0	0	0.3	0	0.3
	2	0	0	0	0.5	0	1.2	0	0.5
	3	0	0	0	0.3	0	0.1	0	1.9
	4	0	0.4	0	0.2	0	0.1	0	2.1
	5	0	0.1	0	0.1	0	0.3	0	1.0
	6	0	0.3	0	0.4	0	0	0	0.2
	小計	0	0.9	0	1.5	0	2.0	0	6.0
6	1	0	0.2	0	0.7	1.0	0.4	0	0.4
	2	0	1.7	1.0	5.9	0	0	0	5.9
	3	0	5.0	3.0	18.2	3.0	2.9	0	18.3
	4	0	9.2	0	12.6	0	5.2	0	52.6
	5	0	13.1	0	13.0	0	8.6	5.0	49.3
	6	0	9.7	3.0	13.0	1.0	18.6	2.0	50.0
	小計	0	38.9	7.0	63.4	5.0	35.7	7.0	176.5
7	1	0	9.9	1.0	13.0		32.6	0	40.3
	2	0	15.5	3.0	13.3		35.6	7.0	55.4
	3	0	21.2	0	13.7		43.9	1.0	65.8
	4	0	13.8	1.0	9.9		33.6	8.0	35.9
	5	0	3.2	0	6.7		32.9	1.0	20.9
	6	0	3.9	0	6.7		27.3	0	22.2
	小計	0	67.5	5.0	63.3		205.8	17.0	240.3
8	1	0	6.3	0	6.1		17.0	1.0	21.7
	2	0	5.1	1.0	10.0		15.0	0	22.0
	3	2.0	1.4	0	8.3		11.6	1.0	9.3
	4	0	1.0	0	9.4		6.7	1.0	7.4
	5	0	0.9	1.0	15.7		4.3	0	12.3
	6	0	1.5	0	20.7		3.0	0	7.1
	小計	2.0	16.2	2.0	70.2		57.5	3.0	79.9
9	1	0	0.5	0	10.6		3.0	0	8.7
	2	0	0.9	0	11.7		4.8	0	3.0
	3	0	0.6	0	5.6		2.9	0	5.9
	4	0	4.4	0	7.4		1.5	0	9.8
	5	0	0.3	0	2.8		2.4	0	5.6
	6	0	0.1	0	3.5		0.7	0	3.8
	小計	0	6.8	0	41.6		15.3	0	36.7
10	1	0	0.7	0	3.8		0.4	0	1.8
	2	0	0.5	1.0	2.3		0.2	0	0.6
	3	0	0.8	0	0.5		0.6	0	0
	4	0	0	0	0.2		0	0	0.5
	5	0	0.1	0	0.1		0.2	0	0.4
	6	0	0	0	0		0	0	0.4
	小計	0	2.1	1.0	6.9		1.4	0	3.7
合計		2.0	132.4	15.0	246.8	5.0	317.7	27.0	543.1

欠測

第33表 予察灯によるフタオビコヤガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平均	本年	平均	本年	平均	本年	平均
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	1.0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	1.0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0.4	0	0	0	0
	2	0	0	0	1.3	0	0	0	0
	3	0	0.2	0	1.9	0	0.2	0	0.1
	4	1.0	0.3	1.0	0.7	0	0.2	0	0.2
	5	0	0.6	2.0	0.1	0	0	0	0.0
	6	0	0.3	0	4.6	0	0.2	0	0.1
	小計	1.0	1.4	3.0	0	0	0.6	0	0.4
6	1	0	0.2	0	0	0	0	0	0
	2	0	0.2	0	0	0	0.2	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.8	0	0.5	0	0.3
	5	0	0.3	0	0.3	0	0.6	0	0.9
	6	0	1.6	0	1.2	0	2.6	0	0.6
	小計	0	2.3	0	0	0	3.9	0	1.8
7	1	0	2.6	1.0	0.4		3.9	0	1.1
	2	0	0.8	0	1.3		3.0	0	0.7
	3	0	0.5	0	4.3		4.6	0	8.9
	4	0	11.8	0	3.2		9.3	1.0	14.2
	5	0	11.4	0	4.2		15.6	0	30.4
	6	0	7.6	0	13.4		22.3	0	18.7
	小計	0	34.7	1.0	6.3		58.6	1.0	73.9
8	1	0	4.4	0	31.9		15.0	0	7.0
	2	0	5.8	0	15.9		11.4	0	18.4
	3	1.0	6.8	0	11.7		9.0	4.0	21.2
	4	0	9.6	0	4.8		10.3	1.0	12.1
	5	1.0	3.2	0	5.0		7.6	0	5.3
	6	0	2.7	0	75.6		5.7	0	2.8
	小計	2.0	32.4	0	3.4		58.9	5.0	66.9
9	1	0	0.4	0	3.0		2.1	0	0.6
	2	0	0.4	0	1.2		1.6	0	0.9
	3	0	0.4	0	0.6		0.5	0	0.2
	4	0	0	0	0.6		0	0	0.1
	5	0	0	0	0.1		0.1	0	0.2
	6	0	0	0	8.9		0	0	0
	小計	0	1.2	0	0		4.3	0	2.0
10	1	0	0	0	0		0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	103.7		0	0	0
合計		3.0	72.0	5.0	115.8	0	126.3	6.0	145.0

欠測

イ. ムギ類（二条オオムギ）

（ア）調査地点

- a. 県予察ほ場 鳥取市橋本
- b. 一般ほ場 倉吉市新田・中江、北栄町江北

（イ）調査観察結果

- a. 県予察ほ場

第1表 県予察ほ場における調査（うどんこ病）

調査日	上位3葉の 平均病斑面積率(%)
12.9	0
1.10	0
2.10	0
3.10	0
4.6	0
15	0
24	0
5.4	0
15	0
25	0

注) 品種：しゅんれい

第2表 県予察ほ場における調査（赤かび病）

調査日	発病穂率(%)	発病度
4.6	0	0
10	0	0
15	0	0
20	0	0
24	0	0
30	0	0
5.4	0	0
10	0	0
15	0	0
20	0	0
25	0	0

注) 品種：しゅんれい

b. 一般ほ場（令和2年5月）

第3表 一般ほ場における調査（うどんこ病）

市町村	調査地点	調査番号	5月11日
			上位3葉の平均病斑面積率（%）
北栄町	江北	①	0
		②	0
		③	0
倉吉市	中江	①	0
		②	0
倉吉市	新田	①	0
		②	0
		③	0
		④	0
		⑤	0
発生ほ場率（%）			0

第4表 一般ほ場における調査（網斑病）

市町村	調査地点	調査番号	5月11日	
			発病茎率（%）	上位3葉の平均病斑面積率（%）
北栄町	江北	①	100	43.5
		②	100	60.4
		③	100	38.0
倉吉市	中江	①	100	15.8
		②	100	15.8
倉吉市	新田	①	100	61.7
		②	70.0	6.3
		③	70.0	6.3
		④	70.0	6.3
		⑤	70.0	6.3
発生ほ場率（%）			100	-

第5表 一般ほ場における調査（その他）

病害虫名	調査ほ場数	発生程度別ほ場数					発生ほ場率（%）
		甚	多	中	少	計	
縞萎縮病	10	0	0	0	0	0	0
小さび病	10	0	0	0	0	0	0
赤かび病	10	0	0	0	0	0	0
黒節病	10	0	0	0	0	0	0
雲形病	10	0	0	0	0	0	0
斑葉病	10	0	0	0	0	0	0

注) 調査月日：令和2年5月11日

ウ. ダイズ

(ア) 一般ほ場における調査地点

市町村	地点	市町村	地点
鳥取市	中大路	湯梨浜町	長和田
鳥取市	下坂本	北栄町	瀬戸
岩美町	大谷	米子市淀江町	下郷
倉吉市	四王子	米子市淀江町	亀浜
倉吉市	寺谷	米子市	東八幡

(イ) 一般ほ場における調査観察結果

第1表 一般ほ場におけるダイズ害虫の発生状況

調査月日	ハスモンヨトウ							
	調査ほ場数	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	平均白変か所数
		甚	多	中	少	計		
9月17～18日	35	0	1	3	17	21	60.0	0.9

第2表 一般ほ場における成熟期の被害状況（100英サンプリング調査）

サンプリング日	調査ほ場数	紫斑病						モザイク病（褐斑粒）					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月26日～11月8日	30	0	0	1	13	14	46.7	0	0	0	3	3	10.0

サンプリング日	調査ほ場数	フタスジヒメハムシ						カメムシ類					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月26日～11月8日	30	0	0	2	25	27	90.0	0	0	14	14	28	93.3

サンプリング日	調査ほ場数	マメシクイガ						その他子実害虫類					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月26日～11月8日	30	0	0	2	10	12	40.0	0	0	0	3	3	10.0

(ウ) フェロモントラップ

第3表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数

月・半旬	鳥取市橋本		鳥取市河原町		湯梨浜町長和田	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5・1	0.0	0.9	-	-	-	-
5・2	3.0	0.7	-	-	-	-
5・3	1.7	2.5	-	-	-	-
5・4	3.3	4.3	-	-	-	-
5・5	6.0	8.5	-	-	-	-
5・6	3.0	8.0	-	-	-	-
6・1	9.2	7.3	-	-	-	-
6・2	25.8	10.2	-	-	-	10.6
6・3	32.0	17.6	-	-	-	11.7
6・4	75.0	16.0	-	-	-	14.6
6・5	36.0	18.0	-	5.9	89.1	28.9
6・6	46.0	32.6	109.4	42.6	445.7	36.6
7・1	69.0	33.9	153.0	32.0	560.0	57.7
7・2	42.7	41.0	82.4	31.7	490.3	93.1
7・3	33.3	39.0	24.0	24.0	342.9	124.2
7・4	37.0	43.3	27.6	31.5	209.2	147.4
7・5	55.8	34.9	44.3	41.7	371.0	139.0
7・6	57.0	39.5	62.7	56.4	467.7	198.0
8・1	29.2	30.7	112.2	67.5	623.3	244.7
8・2	79.0	43.7	336.8	97.1	907.9	273.0
8・3	81.7	40.9	202.8	108.9	826.1	330.0
8・4	53.3	40.2	243.8	95.2	716.6	345.0
8・5	45.0	38.0	259.0	161.1	582.9	478.9
8・6	73.7	66.6	475.8	177.0	587.1	551.7
9・1	27.3	64.5	604.2	164.8	750.4	504.6
9・2	194.6	70.6	-	195.3	1473.3	478.5
9・3	72.9	65.2	-	140.0	870.7	358.0
9・4	164.2	62.6	-	173.2	1080.0	262.5
9・5	67.1	59.3	-	87.1	692.1	267.4
9・6	83.3	55.8	-	79.9	413.6	212.3
10・1	43.0	61.7	-	100.4	333.6	283.8
10・2	43.3	51.6	-	-	393.6	338.3
10・3	55.7	58.3	-	-	366.6	265.5
10・4	38.0	57.5	-	-	303.6	179.6
10・5	32.5	53.3	-	-	363.6	169.0
10・6	41.5	71.1	-	-	289.9	172.9

注1 鳥取市橋本：武田乾式トラップ、その他の地点：ファネルトラップ

(エ) 予察灯

第4表 予察灯によるイチモンジカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1		0		—		—		—
	2		0		—		—		—
	3		0		—		—		—
	4		0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	5.0	0
	6	0	0.1	0	0.1	0	0	2.0	0.1
	小計	0	0.2	0	0.1	0	0	7.0	0.1
7	1	0	0.4	0	0		0	0	0.1
	2	0	1.4	0	0.2		0	0	0.1
	3	0	1.1	0	0		0.2	0	0
	4	0	1.2	0	0.3		0	0	0
	5	0	1.2	0	0.3		0	0	0.2
	6	0	0.6	0	0.2		0	0	0.1
	小計	0	5.9	0	1.0		0.2	0	0.5
8	1	0	1.1	0	0.5		0	0	0.1
	2	0	0.8	0	0.5		0	0	0.3
	3	0	0	0	0.7		0	0	0
	4	0	0.5	0	0		0.1	0	0
	5	0	0.2	0	0.4		0	0	0.2
	6	0	0	0	0.8		0	0	0.2
	小計	0	2.6	0	3.1		0.1	0	0.9
9	1	0	0.4	0	0.4		0	0	0.2
	2	0	0.3	0	0.3		0	0	0.1
	3	0	0.3	0	1.2		0	0	0
	4	0	0.4	0	0.6		0	0	0.1
	5	0	0.1	0	0.2		0	0	0
	6	0	0	0	0.3		0	0	0
	小計	0	1.5	0	3.0		0	0	0.4
10	1	0	0	0	0		0	0	0
	2	0	0	0	0.1		0	0	0
	3	0	0	0	0.2		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0.3		0	0	0
合計		0	10.2	0	7.5	0	0.3	7.0	1.9

欠測

第5表 予察灯によるホソヘリカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1		0		—		—		—
	2		0		—		—		—
	3		0		—		—		—
	4		0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.1	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0		0	0	0.1
	2	0	0	0	0.1		0	0	0.2
	3	0	0	0	0		0	0	0.2
	4	0	0	0	0.2		0	0	0
	5	0	0.1	0	0.1		0	0	0.2
	6	0	0.1	0	0.3		0	0	0.4
	小計	0	0.2	0	0.7		0	0	1.1
8	1	0	0.2	0	0.2		0	1.0	0.2
	2	0	0.2	0	0.3		0	0	0.2
	3	0	0	0	0		0.1	0	0.3
	4	0	0.1	0	0		0	0	0.1
	5	0	0.2	0	0.3		0.1	0	0.1
	6	0	0	0	0.4		0	0	0.1
	小計	0	0.7	0	1.2		0.2	1.0	1.1
9	1	0	0.1	0	0.1		0	0	0
	2	0	0	0	0		0.1	0	0
	3	0	0	0	0.1		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0.1
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0.1
	小計	0	0.1	0	0.2		0.1	0	0.2
10	1	0	0	0	0		0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0		0	0	0
合計		0	1.0	0	2.1	0	0.3	1.0	2.5

欠測

第6表 予察灯によるアオクサカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1		0		—		—		—
	2		0		—		—		—
	3		0		—		—		—
	4		0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.2	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	1.2	0	0	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	小計	0	0	0	1.3	0	0	0	0.1
7	1	0	0.1	0	0	↑ 欠測 ↓	0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	
	3	0	0	0	0.2		0	0	
	4	0	0.1	0	0		0	0	
	5	0	0	0	0.2		0	0.3	
	6	0	0	0	1.0		0	0.1	
	小計	0	0.2	0	1.4		0	0.4	
8	1	0	0.5	0	0.8	↑ 欠測 ↓	0	0	0.5
	2	0	0.8	0	0.5		0	0.1	
	3	0	0.1	0	0.2		0	0.1	
	4	0	0.2	0	0.3		0	0.7	
	5	0	0.2	0	0.5		0	0.1	
	6	0	0	0	0		0	0.5	
	小計	0	1.8	0	2.3		0	2.0	
9	1	0	0.1	0	0.5	↑ 欠測 ↓	0	0	0.1
	2	0	0	0	0		0	0	
	3	0	0	0	0.1		0	0	
	4	0	0	0	0		0	0	
	5	0	0.1	0	0		0	0	
	6	0	0	0	0		0	0	
	小計	0	0.2	0	0.6		0	0.1	
10	1	0	0	0	0.1	↑ 欠測 ↓	0	0	0
	2	0	0	0	0.2		0	0	
	3	0	0	0	0		0	0	
	4	0	0	0	0.1		0	0	
	5	0	0	0	0		0	0	
	6	0	0	0	0		0	0	
	小計	0	0	0	0.4		0	0	
合計		0	2.2	0	6.2	0	0	0	2.6

7 果樹病害虫の発生予察調査結果

(1) 主な果樹病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積* (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率** (%)
			甚	多	中	少	計	
ナシ	671	黒斑病	0	0	20	140	160	23.8
		黒星病	0	2	14	74	90	13.4
		赤星病	0	0	0	17	17	2.5
		うどんこ病	0	0	3	70	73	10.9
		輪紋病	0	0	0	32	32	4.8
		ナシヒメシンクイ	0	0	1	80	81	12.1
		モモシンクイガ	0	0	0	12	12	1.8
		ハマキムシ類	0	0	2	20	22	3.3
		ハダニ類	0	2	6	253	261	38.9
		カメムシ類	0	1	1	39	41	6.1
		コナカイガラムシ類	0	0	1	60	61	9.1
		アブラムシ類	0	0	7	167	174	25.9
		ニセナシサビダニ	0	0	4	220	224	33.4
ブドウ	73	晩腐病	0	0	1	28	29	39.7
		黒とう病	0	0	1	4	5	6.8
		べと病	0	0	2	29	31	42.5
		灰色かび病	0	0	1	24	25	34.2
		チャノキイロアザミウマ	0	0	1	25	26	35.6
		ハマキムシ類	0	0	1	19	20	27.4
カキ	241	炭疽病	0	0	1	56	57	23.7
		灰色かび病	0	0	1	8	9	3.7
		うどんこ病	0	0	3	72	75	31.1
		落葉病類	0	0	2	34	36	14.9
		カキノヘタムシガ	0	0	0	3	3	1.2
		カイガラムシ類	0	0	3	36	39	16.2
		カメムシ類	0	1	5	33	39	16.2
		ハマキムシ類	0	0	3	21	24	10.0
		チャノキイロアザミウマ	0	0	0	2	2	0.8
		カキクダアザミウマ	0	0	0	1	1	0.4
		樹幹害虫 (ヒメコスカシバ、 フタモンマダラメイガ)	0	0	12	76	88	36.5

作付面積*は、農林水産省作物統計情報（令和3年3月31日確報）より引用

面積率** = 発生程度別面積の合計 (ha) / 作付面積 (ha) × 100

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. ナシ

病害虫名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
黒斑病 (やや多い)	4月のポリ袋検定における発病果率は平年に比べてやや低い傾向であったが、6月の新梢葉と果実、7月の果実においてはいずれも平年に比べてやや多い発生量であった。収穫期の果実においても被害が認められ、その発生量はやや多かった。	本病の越冬伝染源量は、平年並～やや多く、春季の胞子飛散量は平年に比べてやや多い傾向であった。梅雨時期の降水量は平年並～やや多く、本病の発生に好適な条件となり発生量が増加したと考えられる。
黒星病 (やや多い)	初発生の時期が例年に比べて早く、発生園では果そう葉よりも幼果における発病が目立った。5月中旬の果そう葉および果実、6月中下旬の果実における発生量は平年に比べてやや多く、収穫期にも被害が認められ、その発生量はやや多かった。	3月下旬～4月上旬にかけて連続降雨が認められ、罹病落葉由来の胞子飛散は例年に比べて早いピークとなり、その際の胞子飛散量は例年に比べて多く、生育初期における適期防除が難しかった事も重なり発生量が増加したと考えられる。
輪紋病 (平年並)	一部の地域において収穫果被害が目立ったが、県下全体での発生量は平年並であった。	昨年の発生量から越冬伝染源量は平年並と考えられた。梅雨時期の降水量は平年並～やや多く推移したが、本病の発生を強く助長するものではなく、平年並に留まったと考えられる。
ハダニ類 (平年並)	発生時期は、やや遅く7月下旬頃から増加し、発生量はほぼ平年並であった。8月中下旬以降、一部地域のナン園においてハダニ類の発生密度の高い園が確認された。発生種は、カンザワハダニやナミハダニが中心であった。	梅雨明けがやや遅く、7月はハダニ類の増殖には好適な条件ではなかった。梅雨明け後の8月以降は好適な気象条件となった。
コナカイガラムシ類 (やや少ない)	収穫果実において寄生果がみられたが、平年に比べてやや少ない被害量であった。クワコナカイガラムシふ化幼虫の発生時期は、越冬世代は平年に比べてやや遅く、第一世代ふ化幼虫はやや早かった。またマツモトコナカイガラムシのフェロモントラップ調査の結果、発生時期は、各世代ともにほぼ平年並で、誘殺数は、第一世代成虫は平年並、越冬世代成虫、第二世代成虫はやや少なかった。	被害量が平年に比べてやや少なかったことから防除が徹底されたと推察される。
アブラムシ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。5月以降に一部地域で発生密度が高い園が確認された。	適期防除が実施された。アブラムシ類に効果の高い薬剤が普及している。
カメムシ類 (やや多い)	越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量は平年並と推察された。予察灯の誘殺数は、チャバネアオカメムシは、5月下旬～6月下旬、7月上旬、8月上旬、9月上旬～中旬に、クサギカメムシの誘殺数は、7～8月に、ツヤアオカメムシの誘殺数は、6～8月上旬頃に密度が増加した。一部地域のナン園においてカメムシ類の飛来および果実被害が確認された。	昨年度の発生量がやや多かったことから、カメムシ類の越冬量がやや多いと推察された。またクサギカメムシの越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量は平年並と推察された。7月以降、カメムシ類の加害活動に好適な条件となった。7月下旬～8月下旬にかけて追加防除が実施された。
ニセナシサビダニ (やや少ない)	発生時期はやや遅く、発生量はやや少なかった。新梢の停止時期はほぼ平年並で、新梢被害はやや少なかった。また、本種由来とされるモザイク症状の被害が‘新甘泉’を中心にみられた。	効果の高い薬剤が普及している。発芽前防除および5～6月の防除により発生密度が抑えられた。
モモンクイガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、平年に比べて誘殺数がやや多い地点もみられたが、全般的にはほぼ平年並の発生量であった。果実の被害は少なく、被害量は平年並であった。	防除の徹底。有袋栽培が主である。
ナシヒメシンクイ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、平年に比べて誘殺数がやや多い地点がみられた。発生時期はほぼ平年並であった。果実の被害量はほぼ平年並であった。	7～8月の基幹防除の徹底、収穫前の防除の徹底により被害は最小限に抑えられた。
ハマキムシ類 (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、平年に比べてやや多い誘殺数であった。一部地域のナン園において被害果が確認されたが被害量は平年並であった。	平年に比べやや多い誘殺数であったが基幹防除が徹底されたと考えられる。

イ. ブドウ

病害虫名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
晩腐病 (平年並)	一部の園で被害が散見され、巨峰、ピオーネで一部多い園があったが、全体としての発生量は平年並であった。	梅雨時期の降水量は平年並～やや多く推移したため、本病原菌の孢子飛散や感染にやや好適な条件となったが、防除が徹底されたと考えられる。
べと病 (やや多)	一部地域では発生量がやや多く、ハウスの谷部や露地で多い園があった。	梅雨時期の降水量は平年並～やや多く推移したため、本病原菌の孢子飛散や感染にやや好適な条件となった。特に、植物体に雨が直接当たる環境があった園では、それが顕著であったと考えられる。
灰色かび病 (平年並)	目立った被害は無く、発生量は平年並であった。	防除が徹底された。
チャノキイロアザミウマ (やや少ない)	黄色粘着板トラップ（無加温ハウス）の結果、8月上～下旬にかけて平年に比べてやや多い発生量であったが、果実の被害量はやや少なかった。	防除が徹底された。
ハマキムシ類 (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、発生量は、越冬世代、第一世代、第二世代は平年に比べてやや多かった。発生時期はほぼ平年並であった。収穫果の被害量は、一部地域でやや多かった。	カサ掛け栽培が多いため、防除が十分に実施できない。収穫後の防除が徹底されていない。昨年の第三世代成虫が多く、越冬量が多かったと推察される。

ウ. カキ

病害虫名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
炭疽病 (平年並)	梅雨時期に防除が不十分な園では発生が認められ、9月中旬以降に防除が不十分な園や葉液のかかりにくい部分で発生が多く見られたものの、県下全体での発生量は平年並であった。	薬剤防除と耕種的防除が徹底された。例年発生が増加する9～11月の降水量は平年並～やや少ない傾向であり、本病の発生を助長する気象条件ではなかった。
うどんこ病 (平年並)	一部の園で発生が認められた。	防除が徹底された。
カキノハタムシガ (やや少)	発生時期、発生量ともに平年並であった。果実被害は一部地域で確認されたが、被害量はやや少なかった。	近年、被害量は少ない。
カメムシ類 (やや多い)	越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量は平年並と推察された。予察灯の誘殺数は、チャバネアオカメムシは、5月下旬～6月下旬、7月上旬、8月上旬、9月上旬～中旬に、クサギカメムシの誘殺数は、7～8月に、ツヤアオカメムシの誘殺数は、6～8月上旬頃に密度が増加した。7月～収穫期にかけて、果実被害が確認され被害量はやや多かった。	昨年度の発生量がやや多かったことから、カメムシ類の越冬量がやや多いと推察された。またクサギカメムシの越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量は平年並と推察された。7月以降、カメムシ類の加害活動に好適な条件となった。7月下旬～9月中旬にかけて追加防除が実施された。
スリップス類 (やや少ない)	発生量、被害量ともにやや少なかった。	近年、被害が少ない。
フジコナカイガラムシ (やや多い)	フジコナカイガラムシのフェロモントラップ調査の結果、発生時期は、越冬世代成虫、第一世代成虫は平年並、第二世代成虫はやや遅かった。誘殺数は、越冬世代成虫、第一世代成虫はやや多く、第二世代成虫は多かった。収穫果の被害は平年に比べてやや多かった。	発生時期がばらつくため、定期防除が困難である。
樹幹害虫 (ヒメコスカシバ、フタモンマダラメイガ) (並)	フェロモントラップ調査の結果（ヒメコスカシバ）、発生時期は平年並、発生量は平年に比べてやや少なかった。一部地域で被害が確認されたが平年並の被害量であった。	昨年の樹幹害虫の被害量が多かったことから越冬量が多くなると予想されたが 発生量はやや少なかった。近年、被害が多い。簡易で安価な防除手法がない。

エ. その他 (特記事項)

病害虫名 (概評) 【樹種】	発生経過の概要	発生原因の解析
クワゴマダラヒトリ (少ない) 【果樹類】	春季のクワゴマダラヒトリの発生量は少なかった。平成29年以降、発生量は少ない。	発生量が減少した要因は不明であるが、現在、発生密度が低い時期と推察される。

(3) 調査の概要と結果

ア ナシ

(ア) 生育状況

第1表 県予察ほ場及び地区予察ほ場における生育状況（二十世紀）

調 査 項 目	県予察ほ場（園試）		
	本 年	前 年	平 年 ^a
ア 催 芽 期	3.15	3.11	3.14
イ 発 芽 期	3.24	3.19	3.26
ウ 脱 苞 期	3.31	3.27	3.31
エ 展 葉 期	4. 4	4. 4	4. 5
オ 開 花 始 め	4. 7	4. 8	4. 9
1 満 開	4.15	4.15	4.13
2 落 花	4.20	4.22	4.21
カ 新梢の生育状況			
1 新梢の伸長開始	4.24	4.17	4.17
2 停 止 期	7. 2	7. 2	7. 2
3 第2次伸長停止期	8. 5	8.10	8.11
キ 袋 掛 期			
1 小 袋	5.14	5.10	5.13
2 大 袋	6. 8	6.10	6.11
ク 落 葉 期	— ^b	11.25	11.20

^a 平成27年～令和元年の平均

^b 欠測

概要：本年の県内の平均的満開日は4月15日であったが、天候不順の影響により、平均的交配日は4月11日となった。展葉初期（4月下旬）の気温が平年に比べて低く推移したため、葉色、展葉数ともに平年を下回った。副葉数については、4月中～下旬の気温が低かったものの、5月は平均を上回る気温で推移したこともあり、平年並の値となった。

主な病害虫は、病害では黒斑病、黒星病、赤星病の発生量が平年に比べてやや多く、虫害ではカメムシ類の発生量がやや多かった。

(イ) 黒斑病

a. 分生胞子の形成状況

第2表 二十世紀ナシ露地栽培ほ場における胞子採集状況

月・半月	本年	平年
3・5	7	-
6	1	6.0
4・1	7	6.7
2	1	4.2
3	4	6.8
4	2	7.2
5	20	11.4
6	26	13.0
5・1	12	13.8
2	17	15.9
3	67	30.0
4	145	58.5
5	180	72.5
6	165	141.3

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均
採集時間：午前10時30分～正午の1.5時間
検鏡：カバーガラス(18×18mm)内の *Alternaria* spp.胞子数

b. 新梢葉の発病状況

第3表 県予察ほ場における発病状況

月・旬	調査葉数	病葉数	病葉率(%)	
			本年	平年
5・中 下	111	1	0.9	0.6
	127	5	3.9	0.9
6・上 中 下	163	17	10.4	1.2
	218	31	14.2	1.9
	258	39	15.1	3.8
7・上 中 下	265	42	15.8	5.7
	279	44	15.8	8.8
	277	51	18.4	11.3
8・上 中 下	272	55	20.2	11.9
	265	56	21.1	12.7
	265	56	21.1	16.9
9・上 中 下	265	64	24.2	21.6
	258	66	25.6	24.6
	254	63	24.8	27.9

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均

第4表 新梢葉の発病状況

地 区		新梢葉の発病率(%)								
		6月			7月			9月		
		本年	前年	平年 ^a	本年	前年	平年 ^a	本年	前年	平年 ^a
県予察ほ場		14.2	1.5	2.3	15.8	23.9	10.7	24.9	38.0	24.0
東 部	鳥取市									
	河原町山 上	2.7	1.4	1.9	8.8	13.4	10.0	19.0	26.8	16.0
	佐治町高 山	10.1	1.5	2.7	27.5	21.9	9.8	53.7	37.4	16.0
	青谷町青 谷	1.3	0.5	- ^b	5.1	1.3	- ^b	6.6	5.7	- ^b
	八頭町花 原	0	0	0.3	0.5	0.9	1.4	3.2	9.6	3.5
中 部	湯梨浜町1 別 所	4.7	0.5	1.3	5.2	1.0	1.6	1.9	1.9	3.0
	湯梨浜町2 勝負谷	3.6	2.4	0.9	1.5	4.7	1.5	2.1	15.8	3.9
	倉吉市中 野	3.2	1.3	0.4	0.9	2.6	1.6	5.4	11.0	3.4
	琴浦町竹ノ内	5.7	0	0.7	3.1	4.0	3.0	3.1	10.6	2.9
西 部	大山町1 中 山	0.9	0	0.2	0.4	0.9	1.9	2.8	6.4	5.2
	大山町2 中 山	2.7	1.8	- ^b	2.7	0	- ^b	2.3	1.4	- ^b
	南部町朝 金	0	0	- ^b	2.1	0	- ^b	2.7	2.4	- ^b
平 均		4.1	0.9	1.2	6.1	6.2	4.6	10.6	13.9	8.7

^a 平成22年～令和元年の平均

^b 令和元年より調査園を変更した。

c. 果実の発病状況

第5表 収穫果実および病落果の発病状況

地 区	収 穫 果 実						病 落 果 率 (%)		
	月日	調査 果数	病果数	病果率	前年	平年 ^a	本年	前年	平年 ^a
県予察ほ場	8.27	200果	3果	1.5%	2.5%	10.1%	1.4	5.1	12.2

^a 平年・・・平成22年～令和元年の平均

第6表 ポリ袋検定による幼果の発病状況

地 区	ポリ袋検定法による 幼果の発病率 (%)		
	本 年	前 年	平 年 ^a
県予察ほ場	0	2.0	1.8
東 部			
鳥取市			
河原町 山 上	0	62.0	6.8
佐治町 高 山	1.0	8.0	2.5
青谷町 青 谷	0	1.0	- ^b
八頭町 花 原	0	0	0.2
中 部			
湯梨浜町1 別 所	0	3.0	0.5
湯梨浜町2 勝負谷	1.0	4.0	0.9
倉吉市 中 野	0	1.0	0.5
琴浦町 竹ノ内	0	3.0	1.0
西 部			
大山町1 中 山	1.0	3.0	1.2
大山町2 中 山	0	3.0	- ^b
南部町 朝 金	0	2.0	- ^b
平 均	0.3	7.7	1.7

^a 平成22年～令和元年の平均

^b 令和元年より調査園を変更した。

第7表 破袋調査による果実発病状況

地 区	被 袋 果 の 発 病 率 (%)					
	6 月			7 月		
	本 年	前 年	平 年 ^a	本 年	前 年	平 年 ^a
県予察ほ場	5.0	1.7	2.8	6.7	3.3	9.2
東 部						
鳥取市						
河原町 山 上	5.0	0	2.0	6.7	10.0	5.0
佐治町 高 山	13.3	1.7	2.2	36.7	10.0	6.0
青谷町 青 谷	1.7	0	- ^b	6.7	1.7	- ^b
八頭町 花 原	0	0	0.3	0	0	0.3
中 部						
湯梨浜町1 別 所	0	0	0.2	0	0	0
湯梨浜町2 勝負谷	1.7	0	0.2	0	0	0
倉吉市 中 野	0	0	0.3	0	0	0.8
琴浦町 竹ノ内	0	0	0.5	0	0	1.7
西 部						
大山町1 中 山	0	1.7	0.7	0	1.7	1.2
大山町2 中 山	0	0	- ^b	0	0	- ^b
南部町 朝 金	1.7	1.7	- ^b	3.3	0	- ^b
平 均	2.4	0.6	1.0	5.0	2.2	2.7

^a 平成22年～令和元年の平均

^b 令和元年より調査園を変更した。

第8表 県内定点調査ほ場における越冬密度調査（12月下旬調査）

地 区		病 枝 率 (%)		枝当たり病斑数(個)		短果枝の病芽率(%)	
		本 年	平 年 ^a	本 年	平 年 ^a	本 年	平 年 ^a
県予察ほ場		13.3	15.3	0.1	0.3	1.7	1.7
東 部	鳥取市						
	河原町 山 上	73.3	11.0	1.6	0.2	5.0	2.1
	佐治町 高 山	- ^b	10.5	- ^b	0.2	- ^b	1.6
	青谷町 青 谷	0	- ^c	0	- ^c	3.3	- ^c
	八頭町 花 原	0	2.0	0	0.0	1.7	4.0
中 部	湯梨浜町1 別 所	6.7	0.7	0.1	0.0	1.7	3.1
	湯梨浜町2 勝負谷	0	2.7	0	0.1	0	0.3
	倉吉市 中 野	0	3.8	0	0.1	1.7	1.9
	琴浦町 竹ノ内	6.7	5.8	0.1	0.1	1.7	0.4
西 部	大山町1 中 山	0	2.0	0	0.0	0	0.5
	大山町2 中 山	13.3	- ^c	0.1	- ^c	1.7	- ^c
	南部町 朝 金	0	- ^c	0	- ^c	0	- ^c
平 均		10.3	6.0	0.2	0.1	1.7	1.7

^a 平成23年～令和2年の平均

^b 伐採により調査ができなかった。

^c 令和元年より調査園を変更した。

(ウ) 黒星病

a. 分生孢子及び子のう孢子の孢子飛散消長

第9表 芽基部病斑上からの分生孢子採集数

月・半旬	雨水中の分生孢子数(個/10ml)		
	本 年	前 年	平 年 ^a
3・5	1.0	6.6	2.2
6	1.8	14.6	5.3
4・1	2.6	1.7	7.1
2	- ^b	27.4	8.2
3	12.5	0	6.3
4	7.2	1.3	3.5
5	0	195.4	32.2
6	4.5	64.7	13.6
5・1	82.4	0	1.6
2	0.3	0.8	2.2
3	20.9	0	1.6
4	6.5	3.9	12.4
5	0.5	0	69.3
6	0.3	9.1	14.5

^a 平成22年～令和元年の平均

^b 降雨なし

第10表 病落葉からの子のう孢子の採集数

月・半旬	病落葉からの子のう孢子的数(個)		
	本 年	前 年	平 年 ^a
3・5	16	19	4.8
6	116	11	2.8
4・1	80	0	4.3
2	0	30	10.3
3	40	44	13.0
4	18	17	4.5
5	0	312	81.5
6	0	21	5.5
5・1	3	4	1.3
2	1	0	0
3	0	0	0
4	0	0	0
5	0	0	0
6	0	0	0

^a 平成28年～令和元年の平均

第11表 春期ナシ黒星病の分生孢子飛散時期

年次	飛散始め	最盛期	終期
本年	3.23	5.3	5.26
前年	3.23	4.23	5.31
平年 ^a	3.26	5.1	5.27

^a 平成22年～令和元年の平均

第12表 春期ナシ黒星病の子のう孢子飛散時期

年次	飛散始め	最盛期	終期
本年	3.21	3.28	5.8
前年	3.22	4.25	5.3
平年 ^a	4.1	4.18	4.27

^a 平成28年～令和元年の平均

b. 幼果の発病調査

第13表 県内定点調査ほ場における発病状況（5月下旬調査）

地区名		品種	発病果率 (%)		
			本年	前年	平年 ^a
県予察ほ場		幸水	0	0	0
東部	鳥取市久未	豊水	3.0	0.7	0.2
	佐治町津無	豊水	0	0	0
	佐治町津無	新甘泉	0	0	0
	青谷町河原	新甘泉	3.0	0	- ^b
	八頭町山路	新甘泉	0.3	0	0.1
中部	湯梨浜町方面	新甘泉	0	0	0
	倉吉市悴谷	幸水	0	0	0
	倉吉市関金	幸水	27.3	0.3	1.5
	琴浦町西宮	幸水	0	0	0
西部	大山町陣構	新甘泉	23.3	0.7	0.8
	米子市稲吉	新甘泉	0	0	0.1
	南部町朝金	幸水	0	0	0.0
平均			4.4	0.1	0.2

^a 平成22年～令和元年の平均

^b 令和2年から調査園を変更した。

c. 休眠期における芽りん片病斑の発生状況

第14表 ナシ黒星病の越冬病芽割合（2月調査）

地区名		品種	花芽数	病芽数	病芽率 (%)		
					本年	前年	平年 ^a
県予察ほ場		新甘泉	120	5	4.2	0	0
		幸水	140	4	2.9	0	0.6
東部	鳥取市1	豊水	120	4	3.3	12.0	5.1
		幸水	135	1	0.7	1.1	1.5
	鳥取市2	新甘泉	127	7	5.5	0	0.7
		豊水	116	22	19.0	14.3	3.9
	鳥取市3	新甘泉	85	7	8.2	0	- ^b
	八頭町	新甘泉	- ^c	- ^c	- ^c	0	- ^b
		豊水	101	9	8.9	0	3.3
中部	湯梨浜町	新甘泉	45	0	0	0.8	1.4
	倉吉市	新甘泉	43	2	4.7	0	0
		幸水	48	0	0	0	0.2
	琴浦町	新甘泉	98	1	1.0	0	0.6
西部	大山町1	新甘泉	72	10	13.9	0	0.3
	大山町2	新甘泉	85	15	17.6	0.6	0.8
平均			95.4	6.2	6.4	1.9	1.4

^a 平成23年～令和2年の期間で3年以上の値の平均値

^b 令和2年から調査品種を変更または追加した

^c 欠測

(エ) 赤星病

a. バクシン上の冬孢子堆と小生子の形成時期

第15表 県予察ほ場におけるバクシン上の冬孢子堆成熟状況及び小生子形成状況

調査月・日	ナシの生育状況	冬孢子堆成熟状況		小生子形成状況	
		本年	前年	本年	前年
3.23	展葉期	30%			
3.29			30%		
3.30				+	
4.1					
4.4					
4.8	満開期	50%			+
4.9					
4.13					
4.15					
4.19					+++
4.22					
4.25		100%			
5.1		100%		+++	

b. 果そう葉の発病状況

第16表 県予察ほ場及び地区予察ほ場における赤星病の発病状況（6月上旬）

項目	八頭町		湯梨浜町		県予察ほ場	
	本年	前年	本年	前年	本年	前年
調査葉数	300	300	100	300	- ^a	300
病葉率(%)	0	0	0	0	- ^a	0

^a 欠測

(オ) ナシヒメシンクイ

第17表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	県予察ほ場		湯梨浜町		鳥取市福部町		八頭町花原	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	3.2	21.3	58.9	5.0	12.7	20.0	13.4
中	0	2.8	42.5	65.4	32.8	35.8	35.5	31.3
下	0	1.5	14.3	38.6	7.5	23.1	6.0	40.4
5・上	1.0	2.3	49.0	21.8	21.8	14.7	30.9	10.0
中	0	0.3	5.0	19.4	5.0	5.4	12.1	5.7
下	0	0.2	2.0	5.7	6.0	4.7	3.0	1.8
6・上	0	1.7	49.0	32.6	26.0	14.3	36.0	10.3
中	1.0	3.0	88.3	54.1	73.0	38.4	39.1	27.4
下	0	2.5	31.5	29.0	39.0	27.7	24.9	26.2
7・上	0.3	2.8	19.4	27.5	19.1	15.1	5.5	13.3
中	3.7	7.1	12.7	41.2	26.9	25.3	14.6	18.5
下	7.8	2.0	36.3	29.9	55.0	29.7	24.4	29.0
8・上	4.2	12.0	32.7	41.7	45.0	20.6	23.6	24.9
中	1.0	8.8	60.0	39.3	31.0	23.7	44.0	18.2
下	6.0	5.4	124.0	48.6	62.0	32.0	51.5	26.7
9・上	1.0	21.2	89.0	75.1	55.0	33.5	34.6	16.8
中	3.0	8.3	43.0	29.5	33.3	23.2	29.0	10.5
下	1.0	1.1	24.0	5.8	16.7	7.8	6.0	2.0
10・上	0	0.2	0.9	1.1	6.0	1.8	1.8	0.4
中	0	0	1.1	0.3	0	0.1	0.2	0
下	0	0	0	0.3	0	0.0	0	0
計	30.0	86.6	746.0	666.4	566.0	389.5	442.4	326.8

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約：総誘殺数は、鳥取市福部町で平年に比べてやや多く、湯梨浜町、八頭町で平年並、県予察ほ場で少なかった。

(カ) モモシンクイガ

第18表 フェロモントラップ（武田製）による誘殺消長

月・旬	県予察ほ場		湯梨浜町		鳥取市福部町		八頭町花原	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	1.0	0	0.0	0	0
下	0	0	8.0	27.8	2.0	2.3	0	2.3
6・上	0	0.2	85.0	93.2	5.0	5.5	2.0	9.3
中	0	0.3	128.0	75.2	21.0	11.3	25.5	16.4
下	0	0	70.0	39.2	29.0	10.8	21.6	17.4
7・上	0	0	109.0	75.8	17.3	20.7	10.2	13.2
中	0	0	70.0	17.1	4.7	7.7	1.8	8.6
下	0	0	46.2	27.9	1.8	6.3	1.7	6.0
8・上	0	0.5	131.8	69.0	12.2	19.2	7.3	14.2
中	0	0.1	181.0	39.8	1.0	15.2	6.0	8.0
下	0	0	115.0	31.7	5.0	5.4	4.1	6.9
9・上	0	0	73.0	60.8	4.0	3.3	0.9	0.5
中	0	0	11.0	14.4	0	1.6	1.0	0.2
下	0	0	6.0	0.8	0	0.3	0	0
10・上	0	0	0	0.3	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0.0	1.1	1034.0	574.2	103.0	109.5	82.0	103.1

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約：総誘殺数は、湯梨浜町で平年に比べて多く、県予察ほ場、福部町、八頭町で平年並であった。

(キ) ハマキムシ類

a. チャノココクモンハマキ

第19-1表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	チャノココクモンハマキ							
	県予察ほ場		八頭町池田		鳥取市福部町		湯梨浜町北福	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	3.0	2.5	0	0.3	1.0	0.1	4.0	2.6
中	9.3	3.0	1.0	0.7	18.0	0.5	0	1.9
下	13.8	5.3	2.0	2.3	13.0	3.3	0	1.6
5・上	21.0	32.7	42.0	6.6	89.0	17.3	1.0	0.2
中	11.0	19.7	28.0	5.8	44.0	18.3	2.0	1.1
下	4.0	3.9	27.0	2.1	15.0	5.9	2.0	0.1
6・上	1.0	2.4	2.0	0.4	4.0	2.9	2.0	0
中	11.8	4.2	14.0	1.6	42.0	4.7	0	0.5
下	39.2	8.6	18.0	4.4	59.0	9.6	0	0
7・上	24.3	19.5	28.0	6.8	21.0	9.4	6.0	0.3
中	2.7	4.6	9.0	3.0	10.0	6.0	2.0	0.2
下	2.1	2.8	8.0	2.2	19.0	6.4	2.0	0.4
8・上	20.9	3.2	24.0	6.8	60.0	9.4	1.0	0.1
中	0	5.6	14.0	4.6	17.0	6.2	1.0	0.1
下	0	2.8	10.0	1.4	14.0	11.3	3.0	0.4
9・上	4.0	2.9	4.0	1.0	13.0	31.6	7.0	0
中	41.0	7.9	18.0	2.8	33.0	13.2	5.0	0.1
下	25.0	20.6	17.0	4.0	45.0	10.5	5.0	0.4
10・上	49.1	27.0	18.0	6.9	44.0	11.5	3.0	0
中	12.9	22.5	30.0	4.0	36.0	9.9	2.0	0
下	14.6	12.9	12.0	1.9	15.0	3.5	2.0	0.2
計	310.6	214.2	326.0	69.6	612.0	191.5	50.0	10.2

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約：全地点で平年に比べてやや多い～多い誘殺数であった。

b. チャハマキ

第19-2表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	チャハマキ							
	県予察ほ場		八頭町池田		鳥取市福部町		湯梨浜町北福	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0.1	0	0.6	15.0	2.2
中	0.2	0	14.0	1.3	5.0	1.3	20.0	8.2
下	1.8	0.1	5.0	7.7	2.0	2.5	40.0	11.9
5・上	27.0	0.3	16.0	7.5	43.0	16.1	51.0	16.0
中	13.0	0.1	13.0	8.7	21.0	23.3	64.0	29.2
下	4.0	0.8	22.0	3.6	12.0	23.7	122.0	50.8
6・上	1.0	0.2	7.0	6.3	16.0	13.0	20.0	64.9
中	0	0.3	3.0	3.8	4.0	5.5	15.0	45.1
下	1.0	0.1	1.0	2.1	1.0	8.4	9.0	34.5
7・上	5.0	0.6	1.0	3.0	2.0	9.2	21.0	15.8
中	0	0.1	1.0	3.1	1.0	10.1	20.0	23.6
下	0	0.3	7.0	3.8	1.0	10.2	16.0	30.2
8・上	0	0.1	17.0	5.9	1.0	9.8	5.0	19.5
中	0	0.1	2.0	4.8	1.0	7.4	10.0	17.9
下	0	0.0	0	2.0	6.0	7.8	20.0	14.4
9・上	0	0.7	0	3.8	3.0	9.8	35.0	33.1
中	1.0	0.1	0	2.9	8.0	20.7	35.0	35.3
下	2.0	0.6	1.0	3.3	9.0	34.4	40.0	25.4
10・上	1.8	2.3	28.0	3.3	23.0	35.1	23.0	10.3
中	5.2	3.8	22.0	1.6	40.0	14.7	95.0	7.9
下	4.3	1.3	6.0	5.4	16.0	7.4	89.0	4.3
計	67.3	11.8	166.0	84.0	215.0	271.0	765.0	500.5

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均
要約：全地点で平年並～やや多い誘殺数であった。

c. ハマキムシ類による幼果の被害

第20表 地区予察ほ場における被害状況(6月上旬調査)

地点	6月		収穫期	
	調査果数	被害果率(%)	調査果数	被害果率(%)
八頭町	300	0.7	150	0.0
湯梨浜町	300	0.0	60	0.0

要約：6月調査で一部果実に被害が確認された。

(ク) コナカイガラムシ類

a. コナカイガラムシ類の越冬密度調査

第21表 県内定点ほ場における発生状況(1バンドあたり)

年次	県予察ほ場		巡回調査園(9園)	
	幼虫 ¹⁾	卵のう ²⁾	幼虫	卵のう
本年	0	0	0	0
平年	0	0	0	0

(注) ¹⁾：マツモトコナカイガラムシ幼虫
²⁾：クワコナカイガラムシ卵のう

要約：バンド内にコナカイガラムシ類は確認されなかった。

b. クワコナカイガラムシ

第22表 県予察ほ場におけるふ化状況

区別	ふ化初日	50%ふ化日	ふ化終息日	50%ふ化日	
				平年比(日)	
百葉箱	越冬世代	5.6 (5.3)	5.11 (5.9)	5.18 (5.22)	2
	第1世代	6.30 (7.4)	7.7 (7.8)	7.14 (7.20)	-1

(注) ()内は平年・・・平成22年～令和元年の平均
要約：越冬世代、第1世代のふ化最盛期は平年並であった。

c. 収穫果実の被害

第23表 果実の被害状況

	被害果率(%)		
	県予察ほ場(6号)	八頭町	湯梨浜町
本年	0	0	0
平年	0	0	0

(注) 平年・平成22年～令和元年の平均
要約：被害は確認されなかった。

(ケ) ハダニ類

第24表 県予察ほ場におけるハダニ類の越冬密度調査

種類	年次別	県予察ほ場
1. クワオオハダニ卵 (短果枝あたり)	本年	0
	平年	0.4
2. カンザワハダニ (バンドあたり)	本年	0
	平年	0.0
3. ナミハダニ (バンドあたり)	本年	0.2
	平年	0.0

(注) 平年・平成22年～令和元年の平均
要約：ナミハダニは平年に比べて多く、クワオオハダニ、カンザワハダニは少なかった。

第25表 県内定点調査ほ場におけるハダニ類の越冬密度調査

調査地点	カンザワハダニ (バンドあたり)			ナミハダニ (バンドあたり)			クワオオハダニ (短果枝あたり)			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
東部	鳥取市 佐治町	—*	0	0.0	—*	0	0.0	—*	0	0.1
	鳥取市 青谷町	0	0	0.0	0	0	0.0	2.1	0	0.3
	八頭町 郡家	0.3	0	38.7	0	0	0.4	0	0	0.2
中部	倉吉市 中野	0.5	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	湯梨浜町 別所	2.5	0	0.8	0	0	0.1	0	0	2.2
	北栄町 由良宿	0	0	0.0	0.2	0	0.0	0	0	0.4
	琴浦町 竹ノ内	0	0	9.3	0	0	0.0	0	0	1.2
西部	大山町 中山	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.5
	南部町 朝金	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	2.5
平均	0.4	0.0	5.4	0.0	0.0	0.1	0.3	0.0	0.8	

(注) 平年・平成22年～令和元年の平均、琴浦町は平成20年から、八頭は平成26年から、大山町と南部町は令和元年から調査地点変更（大山町と南部町の平年値は変更前の調査地点の値を示す）。*：調査園伐採のため中止。
要約：ハダニ類の越冬量は、平年に比べてやや少なかった。

第26表 県予察ほ場におけるクワオオハダニ越冬卵のふ化状況

区別	ふ化初日	50%ふ化日	ふ化終息日	50%ふ化日 平年比
	百葉箱	— (4.16)	— (4.25)	— (5.4)

(注) () 内は平年の月日。平年・・・平成22年～令和元年の平均
—：欠測

要約：本年は、クワオオハダニの越冬卵を採取できず、調査が行えなかった。

第27表 県予察ほ場におけるハダニ類の発消長（1葉当たり雌個体数）

月・旬	カンザワハダニ		ナミハダニ		クワオオハダニ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5・上	0	0	0	0	0	0
5・中	0	0	0	0	0	0
5・下	0	0	0	0	0	0
6・上	0	0	0	0	0	0
6・中	0	0	0	0	0	0
6・下	0	0	0	0.0	0	0
7・上	0	0.0	0	0.0	0	0
7・中	0	0.0	0	0	0	0
7・下	0	0	0	0.0	0	0
8・上	0	0.2	0	0.1	0	0
8・中	0	0.7	0.0	0.1	0	0
8・下	0	0.1	0.1	0.0	0	0.0
9・上	0.0	0.9	3.0	0.1	0	0.0
9・中	0.1	0.3	0	0.2	0	0.0
9・下	0.1	0.0	0	0.0	0	0
10・上	0.0	0.1	0	0.1	0	0
10・中	0	0.1	0	0.1	0	0.0
10・下	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均、3樹100葉調査(令和元年から2樹100葉調査)
 ダニ剤の散布履歴(7/2ダニコングフロアブル、8/5ダニゲッターフロアブル、9/28デュアルサイド水和剤)
 要約：ナミハダニの発生量が一時期多くなったが、全体としては平年並に推移した。

第28表 地区予察ほ場におけるハダニ類寄生葉率¹⁾の推移

地区 月・旬	八頭町			湯梨浜町		
	ナミハダニ	カンザワハダニ	クワオオハダニ	ナミハダニ	カンザワハダニ	クワオオハダニ
5・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
6・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
7・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
8・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
9・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

(注) 1) 50葉当たり寄生葉率、()内の数字は1葉当たり虫数
 要約：寄生は確認されなかった。

第29表 県内定点調査ほ場における発生状況（7月調査）

地区	寄生葉率(%)						
	クワオオハダニ		カンザワハダニ		ナミハダニ		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
東部	鳥取市 佐治町	8.3	1.8	0	10.2	0	0
	鳥取市 青谷町	0	0.7	0	4.7	0	0
	八頭町 花原	0	10.0	1.7	2.2	0	0.7
中部	倉吉市 中野	0	0	0	0	0	0.2
	湯梨浜町 別所	0	5.5	0	6.3	0	0.5
	北栄町 園試	0	0	0	0	0	0
	琴浦町 竹ノ内	0	7.8	1.7	6.2	0	0
西部	大山町 坪田	0	9.3	0	0.7	0	0
	南部町 朝金	0	0.5	0	0.7	0	0
	平均	0.9	4.0	0.4	3.4	0.0	0.1

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均、琴浦町は平成20年から、八頭は平成26年から、大山町と南部町は令和元年から調査地点変更(大山町と南部町の平年値は昨年までの調査地点の値を示す)。

要約：[クワオオハダニ] 平年比：やや少ない
 [カンザワハダニ] 平年比：やや少ない
 [ナミハダニ] 前年比：やや少ない

(コ) ニセナシサビダニ

第30表 ニセナシサビダニの成若虫の
葉当たり密度（県予察ほ場）

月・旬	本年	平年
5・上	0	2.8
中	0	10.7
下	0.8	67.3
6・上	102.8	414.7
中	117.6	1139.6
下	616.4	1319.2
7・上	585.6	520.8
中	—	3.0

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均、
殺ダニ剤無散布条件下
要約：発生時期はやや遅く、発生量はやや少かった。

(サ) カメムシ類

a. 種類別の誘殺個体数

第31表 誘殺されたカメムシの種類別個体数（3地区合計）

種類	本年	平年
チャバネアオカメムシ	15,599.3	7,779.6
クサギカメムシ	2,415.1	3,858.1
ツヤアオカメムシ	13,806.5	4,466.4
アオクサカメムシ	201.4	161.7

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均
要約：発生量は、チャバネアオカメムシ、ツヤ
アオカメムシが平年に比べてやや多く、
アオクサカメムシが平年並、クサギカメムシ
はやや少なかった。

第32表 予察灯による誘殺状況（チャバネアオカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0.0	0	0.0
下	0	1.5	0.6	1.9	0	1.1
5・上	1.0	4.6	5.7	11.9	2.0	9.9
中	3.0	62.8	30.9	51.5	7.0	25.0
下	78.0	27.5	166.8	50.8	131.0	39.6
6・上	228.0	23.3	109.2	27.3	225.0	25.7
中	151.3	30.0	120.5	57.0	103.8	47.5
下	219.7	86.7	526.3	189.3	194.2	84.5
7・上	175.0	135.9	3424.0	336.2	237.0	116.5
中	35.0	123.7	1839.2	456.8	181.1	119.4
下	39.0	116.9	612.8	549.5	149.9	113.7
8・上	125.0	288.0	1154.7	385.9	295.0	197.9
中	68.0	366.8	868.5	402.5	200.0	211.3
下	54.0	214.9	1449.2	434.0	373.0	181.8
9・上	41.0	104.5	829.3	487.2	255.0	210.9
中	19.0	62.1	408.0	389.5	95.0	133.9
下	13.0	41.6	150.2	289.2	12.0	55.4
10・上	40.8	28.3	122.6	268.0	18.2	50.6
中	3.2	1.7	3.6	36.5	2.8	6.0
下	0	0.6	0.4	2.4	0.9	0.4
合計	1294.0	1721.2	11822.4	4427.3	2482.9	1631.0

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均
要約：誘殺数は、八頭町花原、湯梨浜町別所で平年に比べてやや多く、県予察ほ場で平年並であった。

第33表 予察灯による誘殺状況（クサギカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0.1	0	0.1
中	0	0	0	0.2	0	0.1
下	0	0	0	2.0	0	0.9
5・上	0	0.2	0.8	2.8	0	0.8
中	0	1.5	3.2	4.1	0	0.3
下	0	0.8	10.1	8.3	0	1.4
6・上	1.0	0.3	6.4	11.2	5.0	2.0
中	6.7	1.5	21.0	19.4	8.2	1.5
下	5.3	5.6	49.6	42.0	10.8	5.9
7・上	12.0	11.1	145.4	92.8	12.0	16.6
中	18.0	31.1	108.6	255.5	19.5	28.2
下	36.0	74.1	359.2	533.2	41.9	72.0
8・上	45.0	115.8	467.5	521.6	101.6	132.2
中	33.0	114.1	260.7	534.6	117.0	189.8
下	1.0	44.0	173.8	338.3	64.0	110.3
9・上	1.0	9.6	95.8	103.6	12.0	33.2
中	1.0	4.8	65.3	108.0	10.0	27.4
下	0	0.9	12.8	62.4	2.0	17.3
10・上	1.0	3.0	38.3	61.0	7.3	21.0
中	0	3.3	5.6	24.6	0.7	21.8
下	0.9	4.3	7.9	12.5	9.3	10.9
合計	161.9	426.0	1831.9	2738.3	421.3	693.8

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約：誘殺数は、八頭町花原で平年並、湯梨浜町別所で平年に比べてやや少なく、県予察ほ場で少なかった。

第34表 予察灯による誘殺状況（ツヤアオカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0.1	0	0.1
5・上	6.0	0.7	1.8	0.5	2.0	0.5
中	58.0	8.2	7.7	3.0	8.0	3.8
下	274.0	8.9	26.6	4.1	41.0	9.2
6・上	156.0	22.1	57.6	11.7	248.0	18.1
中	395.7	43.0	225.3	40.0	268.4	34.3
下	580.3	150.8	394.1	120.1	1148.6	88.6
7・上	768.0	152.1	350.4	152.4	896.7	90.8
中	420.0	79.0	238.9	388.9	649.4	87.5
下	775.3	45.8	270.9	347.1	549.6	83.1
8・上	330.7	136.5	447.5	337.7	538.3	195.6
中	100.0	120.9	396.7	162.5	233.0	131.6
下	60.0	52.5	375.6	80.9	250.0	79.5
9・上	12.0	47.7	299.0	96.0	172.0	63.3
中	37.0	27.6	494.7	89.2	241.0	52.3
下	61.0	18.3	422.0	173.2	122.0	42.8
10・上	45.5	26.9	131.7	247.8	65.5	45.2
中	13.5	10.8	39.6	113.2	14.5	16.7
下	9.0	18.4	67.1	70.9	9.3	13.6
合計	4102.0	970.1	4247.1	2439.6	5457.3	1056.7

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約：誘殺数は、全地点でやや多い～多かった。

第35表 予察灯による誘殺状況（アオクサカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
下	0	0.1	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0.1	0	0.1	0	0
下	0	0	0	0	0	0
6・上	4.0	0	0	0.1	1.0	0.0
中	2.0	1.4	0	0.2	0	0.1
下	7.0	0.2	0	0	0	0.4
7・上	3.0	2.4	0.2	0.4	1.2	0.1
中	1.0	15.4	3.8	2.3	11.2	0.2
下	14.0	24.3	19.6	4.8	4.3	0.2
8・上	18.0	27.7	13.7	7.9	3.3	0.2
中	3.0	22.6	7.3	13.2	1.0	0.5
下	16.0	14.2	7.0	6.9	2.0	0
9・上	33.0	2.2	5.1	3.3	3.0	0
中	0	0.9	6.0	4.2	3.0	0
下	1.0	0.4	0.4	0.9	3.0	0
10・上	0	0.3	2.0	2.3	0	0
中	0	0.2	0.9	0.4	0	0.4
下	0	0.1	0.4	0.1	0	0.0
合計	102.0	112.4	66.4	47.1	33	2.2

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約：誘殺数は、湯梨浜町別所で平年比べて多く、八頭町花原でやや多く、県予察ほ場で平年並であった。

第36表 合成集合フェロモントラップ¹⁾による誘殺状況

月・旬	県予察ほ場				八頭町花原（水田畦畔）			
	チャバネアオカメムシ	クサギカメムシ	ツヤアオカメムシ	マルボシヒラタヤトリバエ	チャバネアオカメムシ	クサギカメムシ	ツヤアオカメムシ	マルボシヒラタヤトリバエ
4・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	0.3	0	0	2.6	0	0	0	0
下	6.7	0	0	42.4	0	0	0	1.1
5・上	59.0	3.0	10.0	38.0	4.5	0.3	0	1.6
中	47.0	2.0	18.0	35.0	18.4	0.8	0	2.3
下	42.0	5.0	14.0	59.0	54.1	0	0	0.9
6・上	68.0	13.0	8.0	33.0	200.6	0	0	6.2
中	11.0	6.0	0	18.0	25.0	0	0	5.9
下	36.0	1.0	5.0	97.0	125.4	0	0	7.9
7・上	51.2	0.2	10.7	27.5	429.6	0	0	2.0
中	54.8	0.8	3.3	2.5	167.4	0	0	0
下	55.5	1.2	1.0	4.0	180.6	0.2	0	0
8・上	94.5	1.8	0	2.0	413.1	0.8	0	0
中	19.0	0	0	0	199.7	0	0	0
下	10.0	0	0	0	54.4	0	0	0
9・上	10.0	0	1.0	0	11.4	0	0.7	0
中	7.0	1.0	4.0	4.0	8.5	0	2.0	0
下	9.0	2.0	1.0	1.0	4.0	0	0.5	1.9
10・上	1.8	0.8	5.7	3.8	5.4	0	0.9	7.4
中	2.2	0.2	1.3	1.2	0.9	0	0	3.7
下	3.4	1.0	1.0	0	0.4	0	0.9	2.9
合計	588.4	39.0	84.0	371.0	1903.4	2.0	4.9	43.9

(注) ¹⁾ ルアーはチャバネアオカメムシ用誘引剤、水盤式トラップ

要約：チャバネアオカメムシの誘殺数は、県予察ほ場で5月上旬～8月上旬、八頭町で5月中旬～6月上旬、6月下旬～8月中旬に増加した。

第37表 クサギカメムシの越冬調査

地点	個体数/トラップ						
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
佐治町	0.5	0	0	9.5	6.5	5.5	9.0
河原町	0	9.5	19.5	25.0	29.0	24.5	8.0
八頭町	0	0	6.0	3.5	9.0	8.5	3.0
湯梨浜町	1.0	2.5	6.5	3.0	7.5	11.0	7.5
関金町	0	0	2.0	1.0	2.5	0.5	1.0
倉吉市				3.4	54.0	10.5	12.5
北栄町	1.0	0	2.0	0.5	1.0	0.5	1.0
琴浦町	0	0	10.0	5.0	17.0	8.0	7.0
大山町	0.5	1.5	0.5	7.0	4.0	0.5	3.0
南部町	0.5	1.0	5.0	3.0	10.5	2.0	0.5
平均	0.6	2.4	5.7	6.1	14.1	7.2	5.3

注) 平成25年から調査方法を変更、表中の数字はトラップ当たりの成虫の捕獲数。倉吉市は平成29年に設置場所を追加。

要約：前年並の捕獲数であった。

b. 果実の被害調査

第38表 地区予察ほ場における被害状況

月・旬	八頭町(新興)			湯梨浜町(山梨)		
	調査果数	被害果率(%)		調査果数	被害果率(%)	
		本年	平年		本年	平年
5・中	50	0	0.4	50	0	0
7・下	50	0	0.7	50	0	0

(注) 調査時期：八頭町池田・・・5月中旬・7月20日
湯梨浜町・・・5月10日・7月20日

平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約：被害は確認されなかった。

第39表 定点調査ほ場における被害状況(7月23日・24日調査)

調査地点	品種	被害果率(%)		
		本年	前年	平年
鳥取市	豊水	0	0	0.1
倉吉市	幸水	0	0	0.1
北栄町	幸水	0	0	0.1
平均		0	0	0.1

(注) 平年・・・平成22～令和元年の平均

北栄町は、200果/園の露地無袋果実(幸水・豊水等)における調査

要約：被害は確認されなかった。

(シ) アブラムシ類

第40表 県予察ほ場におけるアブラムシ類の寄生新梢率の推移

月・半旬	寄生新梢率(%)						
	ワタアブラムシ		モモアブアブラムシ		ユキヤナギアブラムシ		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4月	5半旬	0	0.6	0	0	0	0
	6半旬	0	2.3	0	0.5	0	0.3
5月	1半旬	4.4	5.1	2.9	1.6	20.6	2.9
	2半旬	9.5	6.2	2.4	1.5	23.8	4.4
	3半旬	8.8	6.5	4.4	1.7	26.4	5.6
	4半旬	19.8	8.2	3.1	1.6	26.0	11.4
	5半旬	18.0	14.7	0	1.7	36.0	18.3
	6半旬	1.9	20.9	0	1.2	14.0	25.5
6月	1半旬	0	22.6	0	0.9	12.6	25.5
	2半旬	0.9	18.4	0	0.5	22.5	26.5
	3半旬	0	12.5	0	0.2	28.1	17.1
	4半旬	3.5	12.0	0	0.2	17.5	16.2
	5半旬	3.5	7.3	0	0	16.7	11.9
	6半旬	3.5	2.8	0	0.2	5.3	4.4
7月	1半旬	0	2.1	0	0.4	2.0	2.2
	2半旬	1.0	0.6	0	0	1.0	0.5
	3半旬	-	0.2	-	0	-	0
	4半旬	-	-	-	-	-	-
	5半旬	-	-	-	-	-	-
	6半旬	-	-	-	-	-	-

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均、殺虫剤無散布の条件下

要約：発生時期はやや遅く、発生盛期はワタアブラムシがやや早く、ユキヤナギアブラムシはやや早かった。

発生量は、ユキヤナギアブラムシが平年に比べてやや多かった。

第41表 県内定点調査ほ場における発生状況（5月調査）

地区	寄生新梢率（%）								
	ワタアブラムシ（黒）		ワタアブラムシ（緑）		モモアカアブラムシ		ユキヤナギアブラムシ		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
東部	鳥取市 佐治町	3.3	0.7	0	0	0	1.3	0	0
	青谷町	0	0.7	0	0	0	0.3	0	1.0
	八頭町 上峰寺	6.7	1.0	0	0	0	2.7	0	3.3
中部	倉吉市 中野	0	2.3	0	0	0	0	0	0
	湯梨浜町 別所	0	0	0	0	3.3	0	0	0.3
	北栄町 園試	0	0.3	0	0	0	0	0	2.0
	琴浦町 竹ノ内	20.0	0.7	0	0	0	1.3	0	0.3
西部	大山町 坪田	0	1.7	0	0	0	1.7	0	2.7
	南部町 朝金	6.7	5.0	0	0	0	1.3	0	1.0
平均		4.1	1.4	0.0	0.0	0.4	1.0	0.0	1.2

（注）平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約：ワタアブラムシは平年に比べてやや多く、モモアカアブラムシ、ユキヤナギアブラムシは平年に比べてやや少なかった。

イ. ブドウ

（ア）生育状況

第1表 県予察ほ場における生育状況（園芸試験場砂丘地農業研究センター）

作型・品種	年次	萌芽期	展葉期	開花期			着色期	成熟期	落葉期
				始め	満開	終り			
無加温ハウス デラウエア	本年	3.05	3.23	5.03	5.09	5.14	6.15	7.15～7.22	11.10
	前年	3.11	3.22	5.09	5.11	5.13	6.17	7.18～7.23	11.13
	平年	3.16	3.26	4.30	5.04	5.09	6.09	7.17～7.22	11.12
巨峰	本年	3.05	3.28	5.13	5.19	5.22	7.1	7.19～8.18	11.10
	前年	3.11	4.02	5.13	5.20	5.23	6.29	8.05～8.20	11.13
	平年	3.19	3.30	5.05	5.13	5.17	6.26	8.04～8.11	11.16
ピオーネ	本年	3.05	3.28	5.13	5.19	5.22	7.1	7.19～8.21	11.10
	前年	3.11	4.02	5.13	5.20	5.23	6.29	8.05～8.16	11.13
	平年	3.20	3.30	5.05	5.14	5.18	6.28	8.08～8.15	11.18

（注）平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約

- ・暖冬で積雪がなかったため、天井ビニールの被覆時期は2月下旬ごろが中心となり、平年よりも早い被覆時期となった。被覆後も平均気温は平年より高く推移し、各品種の萌芽期は平年と比べて10日以上早かった。
- ・3月までの生育は早かったが、4月に入ると気温は低温傾向となり、生育は一転して緩慢となった。
- ・4月の低温の影響で各品種とも、開花期が平年より5～6日遅くなった。
- ・6月～7月上旬の気温は平年並～平年より高く、果粒の生育は次第に平年並に近くなった。
- ・デラウエアの成熟期は7月中～下旬で平年並となった。梅雨時期の降水量は多かったが、裂果や病害の発生は少なかった。
- ・巨峰・ピオーネは梅雨時期の気温が低かったため、着色は良好であった。
- ・病気の発生は少なかったが、7月の梅雨時期に気温が低く、降水量が多かったため、露地栽培で「べと病」が散見された。8月に入ると、気温は高く、降水量は極端に少なくなったため、発生はそれ以上増えなかった。
- ・虫害では、暖冬のため、越冬害虫の発生時期が平年よりも早い傾向で、「ハマキムシ類」の発生は平年より早く、発生量は多めであった。

（イ）晩腐病・灰色かび病など

第2表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘農業研究センター）

病害名	調査月日	品種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
晩腐病	8月4日	巨峰	2樹	45房	0	0%	0%
灰色かび病	5月8日	巨峰	2樹	45房	0	0%	0%
白腐病	8月4日	巨峰	2樹	45房	0	0%	0%

要約： 晩腐病、灰色かび病、白腐病の発生はみられなかった。

(ウ) チャノキイロアザミウマ

第3表 粘着トラップ「黄色平板」によるチャノキイロアザミウマの誘殺消長
(砂丘地農業研究センター：露地栽培、無加温ハウス栽培)

月・旬	露地栽培		無加温ハウス栽培	
	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0
中	1	0	0	0
下	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0
中	0	1	0	0
下	0	1	0	3
6・上	1	1	0	1
中	0	1	0	1
下	1	7	0	2
7・上	0	15	0	8
中	57	31	30	35
下	52	66	21	185
8・上	183	100	604	76
中	186	142	240	79
下	235	112	466	75
9・上	54	63	294	53
中	20	60	31	41
下	62	21	21	18
10・上	8	8	6	11
中	3	2	2	3
下	2	0	0	0
合計	865	631	1,715	591

(注) 平年・・・平成22年～令和元年

要約：露地は平年並に推移し、8月上旬～下旬が発生のピークであった。無加温ハウスの発生量は平年に比べてやや多く、7月中旬から発生量が増え、8月上旬が発生のピークであった。

(エ) チャノココクモンハマキ

第4表 フェロモントラップによるチャノココクモンハマキの誘殺消長
(砂丘地農業研究センター：露地栽培、無加温ハウス栽培)

月・旬	露地栽培		無加温ハウス栽培	
	本年	平年	本年	平年
4・上	5	2	1	0
中	65	8	4	2
下	82	21	7	4
5・上	203	38	1	5
中	42	23	3	4
下	26	4	0	1
6・上	4	1	1	0
中	69	8	3	1
下	180	30	22	4
7・上	45	17	5	3
中	45	8	2	2
下	56	26	12	7
8・上	143	29	45	6
中	50	11	10	3
下	16	8	8	2
9・上	58	18	6	6
中	33	42	2	15
下	102	46	10	17
10・上	67	34	19	16
中	56	27	24	15
下	17	18	13	9
11・上	14	8	10	3
中	5	2	5	1
下	0	1	0	0
合計	1,383	429	213	125

(注) 平年・・・平成22年～令和元年

要約：露地の発生量は平年に比べて多く、年間を通して多く推移した。無加温ハウスの発生量は平年に比べて多かった。露地では、5月上旬、6月下旬、7月下旬、8月上旬、9月下旬、10月上旬にピークがみられた。無加温では、4月下旬、6月下旬、8月上旬、9月下旬、10月中旬にピークがみられた。

第5表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘地農業研究センター）

虫害名	調査月日	品 種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
ハマキムシ類	8月4日	ピオーネ	2樹	15房	0房	0%	0%

要約：被害はなかった。

(オ) 果実吸蛾類

第6表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘地農業研究センター）

虫害名	調査月日	品 種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
果実吸蛾類	8月4日	ピオーネ	2樹	15房	0房	0%	0%

要約：被害はなかった（防蛾灯設置あり）。

ウ. カ キ

(ア) 生育状況（品種：富有64年生）

第1表 県予察ほ場における生育状況（園芸試験場河原試験地）

調 査 項 目	本 年	平 年
萌 芽 期	1.17	2.20
発 芽 期	3.13	3.16
展 葉 期	4.06	4.11
開 花 初 期	5.25	5.23
最 盛 期	5.28	5.26
終 期	5.31	5.29
新梢発育停 止 期	5.31	5.28
果実の着色 始 め	9.28	9.25
落 葉 期	11.27	11.29

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約：展葉期は平年より5日早く、開花期は平年より2日遅く、着色初めは平年より3日遅かった。

果実の10日間肥大量は、猛暑・干ばつ等の影響で9月上旬～10月上旬にかけて鈍り、果実肥大は平年をやや下回った。

病害虫については、カメムシ類の発生がやや多く、果実被害もやや多かった。

ヘタスキの発生はやや少なく、収穫期は平年並であった。

(イ) カメムシ類・カキノヘタムシガ・モモノゴマダラメイガ

第2表 県予察ほ場における予察灯による誘殺状況（河原試験地）

月・半旬	カメムシ類								カキノヘタムシガ		モモノゴマダラメイガ	
	チャバネアオカメムシ		アオクサカメムシ及びツヤアオカメムシ		クサギカメムシ		総計		本年	平年	本年	平年
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年				
5・1	0	1.6	0	0.1	0	0.9	0	2.6	0	0.0	0	0.0
2	0	1.7	1	0.1	0	0.6	1	2.4	0	0.0	0	0.0
3	2	4.8	1	0.4	0	0.3	3	5.5	0	0.0	0	0.0
4	6	16.3	5	1.8	0	2.8	11	20.9	0	0.1	0	0.0
5	169	17.2	7	0.7	1	0.8	177	18.7	0	0.0	0	0.0
6	40	61.3	6	2.8	2	2.2	48	66.3	0	0.3	0	0.1
6・1	157	7.8	54	1.9	8	1.2	219	10.9	0	1.0	0	0.2
2	36	8.9	56	6.0	1	2.9	93	17.8	0	0.9	0	0.8
3	59	22.0	111	14.8	6	3.0	176	39.8	1	0.2	0	0.6
4	36	23.9	32	19.0	3	2.3	71	45.2	0	0.0	1	1.1
5	31	18.8	44	18.2	2	2.0	77	39.0	0	0.0	1	1.4
6	109	51.9	188	61.2	8	3.3	305	116.4	0	0.0	0	0.8
7・1	38	71.6	58	62.3	4	10.0	100	143.9	0	0.0	1	0.6
2	227	44.9	199	33.8	21	12.7	447	91.4	0	0.0	0	0.2
3	97	54.1	115	47.2	16	27.2	228	128.5	0	0.0	0	0.2
4	92	133.8	77	57.0	34	50.2	203	241.0	0	0.1	0	0.0
5	108	189.0	99	46.4	31	94.8	238	330.2	0	0.1	0	0.2
6	198	121.7	250	62.2	143	146.7	591	330.6	1	0.4	0	0.3
8・1	356	159.3	70	71.1	191	163.4	617	393.8	0	0.0	0	0.0
2	251	160.3	68	91.8	87	145.1	406	397.2	0	0.0	0	0.0
3	225	201.9	70	106.0	151	183.0	446	490.9	0	0.0	0	0.6
4	116	199.3	25	79.6	34	161.6	175	440.5	0	0.2	0	0.2
5	136	241.2	69	57.8	29	156.2	234	455.2	0	0.0	0	0.3
6	423	152.9	89	46.7	15	64.5	527	264.1	0	0.0	0	0.2
9・1	600	132.0	38	36.2	16	25.2	654	193.4	0	0.0	0	0.2
2	56	240.2	6	35.1	9	19.7	71	295.0	0	0.0	0	0.1
3	283	137.3	73	20.7	15	23.8	371	181.8	0	0.0	0	0.1
4	118	97.0	64	21.7	5	20.8	187	139.5	0	0.0	0	0.4
5	157	116.5	104	36.7	14	22.8	275	176.0	0	0.0	1	0.9
6	29	121.8	29	70.4	6	10.9	64	203.1	0	0.0	1	0.3
10・1	93	86.8	32	56.8	7	8.5	132	152.1	-	-	-	-
2	2	83.3	9	52.2	0	10.9	11	146.4	-	-	-	-
3	6	11.7	28	20.4	0	5.4	34	37.5	-	-	-	-
4	1	2.8	0	48.2	0	6.0	1	57.0	-	-	-	-
5	0	2.7	7	25.2	0	5.2	7	33.1	-	-	-	-
6	0	0.6	0	11.5	0	2.0	0	14.1	-	-	-	-
合計	4,257	2,998.9	2084	1324.0	859	1398.9	7,200	5,721.8	2	3.3	5	9.8

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約：カメムシ類の発生は、チャバネアオカメムシは5月下旬、6月上旬、7月上旬、8月上旬、8月下旬から9月中旬に増加し、発生量は平年を上回った。クサギカメムシは発生時期、発生量とも平年並であった。追加防除等を行ったが、果実被害はやや多かった。

カキノヘタムシガの誘殺数は平年並で、果実被害はみられなかった。

モモノゴマダラメイガの誘殺数は平年より少なかった。

(ウ) ハマキムシ類、ヒメコスカシバ

第3表 県予察ほ場における誘殺消長

月・旬	チャハマキ		チャノコカクモンハマキ		ヒメコスカシバ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	1	0.0	0	0.0	0	0.0
中	1	0.2	1	0.5	0	0.0
下	2	1.2	4	2.6	1	0.1
5・上	10	2.3	36	9.8	1	1.2
中	6	2.7	23	7.4	0	0.6
下	10	1.9	2	1.5	0	0.9
6・上	17	1.5	4	0.0	0	0.1
中	8	1.7	7	3.2	0	0.1
下	1	0.6	26	7.9	0	0.1
7・上	0	0.1	22	12.7	0	0.0
中	4	0.7	2	2.6	0	0.0
下	7	2.4	2	3.5	0	0.6
8・上	13	0.5	39	5.9	0	3.8
中	9	0.4	27	4.8	0	3.8
下	3	0.4	7	1.1	0	3.9
9・上	0	0.6	31	2.0	1	1.6
中	6	0.7	34	11.3	0	1.3
下	3	1.1	27	12.3	0	0.7
10・上	8	0.9	37	8.5	0	0.2
中	15	3.5	8	4.8	0	0.5
下	24	1.3	7	2.0	0	0.1
合計	148	24.7	346	104.4	3	19.6

(注) 平年・・・平成22年～令和元年の平均

要約：チャハマキ及びチャノコカクモンハマキの誘殺数は平年より多かったが、追加防除等により果実被害は少なかった。
ヒメコスカシバの誘殺数は平年より少なく、被害は平年並であった。

(エ) アワフキ類

第4表 予察灯による成虫の誘殺状況

月・半旬	コガシラアワフキ		モンキアワフキ	
	本年	平年	本年	平年
5・1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.2
6・1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0
7・1	0	1.8	0	0.0
2	1	0.9	0	0.1
3	1	1.8	0	0.0
4	0	0.9	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	1.0
3	0	0.0	0	7.4
4	0	0.0	0	9.7
5	0	0.0	5	23.3
6	0	0.0	7	32.6
10・1	0	0.0	2	23.0
2	0	0.0	1	8.4
3	0	0.0	0	2.2
4	0	0.0	0	0.7
5	0	0.0	0	0.4
6	0	0.0	0	0.0
合計	2	5.8	15	109.4

(注) 平年・・・平成22～令和元年の平均

要約：コガシラアワフキの誘殺数は平年よりやや少なく、モンキアワフキの誘殺数は平年より少なかった。果実の被害は平年並であった。

8 野菜病害虫の発生予察調査結果

(1) 主な野菜病害虫の発程度別面積

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
			甚	多	中	少	計	
スイカ	375	つる枯病		3	10	92	105	28.0
		炭そ病		4	11	110	125	33.3
		疫病・褐色腐敗病			1	3	4	1.1
		うどんこ病				42	42	11.2
		菌核病		1	12	75	88	23.5
		アブラムシ類		1	14	230	245	65.3
		ハダニ類		1	6	131	138	36.8
キャベツ	107	黒腐病			2	8	10	9.3
		菌核病				4	4	3.7
		べと病				4	4	3.7
		軟腐病			5	13	18	16.8
		モンシロチョウ				29	29	27.1
		コナガ		3	29	20	52	48.6
		ヨトウガ		2	16	18	36	33.6
		ハスモンヨトウ	1	4	40	26	71	66.4
		シロイチモジヨトウ				6	6	5.6
		アブラムシ類		1	14	25	40	37.4
ハマダラメイガ				19	19	17.8		
ブロッコリ	731	軟腐病		4	17	69	90	12.3
		べと病				31	31	4.2
		黒腐病		2	14	235	251	34.3
		コナガ	3	30	70	265	368	50.3
		ハスモンヨトウ	5	30	89	280	404	55.3
		ハマダラメイガ				48	48	6.6
夏ネギ	179	さび病			17	88	105	58.7
		黒斑病		3	26	124	153	85.5
		萎縮病				4	4	2.2
		べと病			2	5	7	3.9
		軟腐病		5	18	32	55	30.7
		ネギハモグリバエ		4	10	56	70	39.1
		ネギアザミウマ	7	28	57	75	167	93.3

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
			甚	多	中	少	計	
秋冬ネギ	343	さび病			1	7	8	2.3
		黒斑病		2	27	124	153	44.6
		萎縮病				1	1	0.3
		萎凋病		2	7	30	39	11.4
		べと病		1	2	7	10	2.9
		軟腐病		1	5	35	41	12.0
		アブラムシ類				3	3	0.9
		ネギハモグリバエ		6	22	125	153	44.6
		ネギアザミウマ	5	21	63	165	254	74.1
		ネギコガ				31	31	9.0
		シロイチモジヨトウ				115	115	33.5
ハスモンヨトウ				110	110	32.1		
イチゴ	21	灰色かび病			1	11	12	57.1
		うどんこ病			1	8	9	42.9
		炭疽病			1	8	9	42.9
		アブラムシ類			1	11	12	57.1
		ハダニ類			1	10	11	52.4
		ハスモンヨトウ			2	5	7	33.3
ナガイモ	55	炭疽病		1	4	24	29	52.7
		ナガイモコガ		1	2	15	18	32.7
		ハダニ類		4	9	14	27	49.1
		シロイチモジヨトウ				9	9	16.4
ラッキョウ	176	白色疫病			1	18	19	10.8
		灰色かび病			19	119	138	78.4
		ネギハモグリバエ		2	10	40	52	29.5
		ネギアザミウマ	5	18	84	107	60.8	

作付面積は、農林水産省統計情報、令和元年産野菜生産出荷統計（令和3年1月21日確報）より。
ラッキョウは平成30年産地域特産野菜生産状況（令和2年5月27日公表）を参照。

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. ス イ カ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
つる枯病 (やや多い)	発生時期はやや早く、5月下旬からトンネル内の水滴が当たりやすいつる先から発生し、5月の発生量はやや多かった。その後の増加は緩慢となり、6月下旬には発生量は平年並となった。	5月上旬から気温が高く推移したことから、発生時期が早まった。6月以降は降水量の増加に伴い発生を助長する気象条件となったが、6月下旬にかけて防除が徹底された。
疫病・褐色腐敗病 (平年並)	5月は発生が認められなかったが、6月以降、発生量が増加した。最終では発生時期・発生量ともに平年並であった。	防除が徹底された。5月に晴天が続く、降水量が少なかったことから、本病が発生しにくい気象条件であった。6月以降は降水量の増加に伴い発生を助長する気象条件となった。
炭疽病 (やや多い)	発生時期は平年並で、5月下旬からトンネル内の水滴が当たりやすいつる先から発生が見られた。6月以降、被害が増加し、6月下旬にはやや多い発生量となった。	5月上旬から気温が高く推移したことから、発生時期が早まった。6月以降は降水量の増加に伴い発生を助長する気象条件となった。
うどんこ病 (平年並)	発生時期は平年並であった。5月下旬以降、一部地域で発生量がやや多いほ場が見られた。全体では平年並の発生量であった。	5月の降水量が少なく、発生を助長する気象条件となったが、定期防除が徹底された。多発したほ場では、防除適期を失う場面が観察された。
菌核病 (平年並)	前年度発生ほ場など一部ほ場で発生が多くなったが、全体の発生量は平年並となった。発生時期は平年並であった。	4月中下旬の気温が低く、発生を助長する気象条件となったが、5月から的高温および定期防除の徹底により、発生が抑制された。
アブラムシ類 (やや少ない)	黄色水盤トラップの結果、初飛来は早かったが、誘殺数は平年並であった。ほ場における発生時期は平年並であったが、発生量はやや少なかった。	5月の高温と降水量が少なかったため発生が助長されたが、定期防除と6月中旬の多雨により、発生の増加が抑えられた。
ハダニ類 (やや少ない)	発生時期は平年並であったが、発生量はやや少なかった。	5月の高温と降水量が少なかったため発生が助長されたが、定期防除と6月中旬の多雨により、発生の増加が抑えられた。

イ. キャベツ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
黒腐病 (平年並)	発生時期は平年並で、9月以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並となった。	9月の気温が高く、降水量が多かったこと、台風が接近したことが助長要因となった。定期防除および追加防除が徹底された。
菌核病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
軟腐病 (平年並)	発生時期は平年並で、9月以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並となった。	9月の気温が高く、降水量が多かったこと、台風が接近したことが助長要因となった。定期防除および追加防除が徹底された。
べと病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
黒斑細菌病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
アブラムシ類 (やや少ない)	黄色水盤トラップの誘殺数は、10月第1半旬に増加したが、全体としては平年並であった。ほ場の発生時期は、平年並であったが、発生量はやや少なかった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
モンシロチョウ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
コナガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、5月から6月第5半旬までの誘殺数はやや少なかったが、それ以降は平年並であった。ほ場での発生時期、発生量はともに平年並であった。	4月の気温が低く、降水量が多かったため、発生の抑制要因となった。また、6月、7月の降水量も多く、発生の抑制要因となった。
ヨトウガ・ハスモン ヨトウ・シロイチモジ ヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、ヨトウガの誘殺数はやや少なく、ハスモンヨトウの誘殺数は多かった。シロイチモジヨトウは6月から8月の第1半旬まではやや多く推移したが、それ以降はやや少なく推移した。ほ場でのヨトウ類の発生時期、発生量はともに平年並であった。	5月の気温が高く、降水量が少なかったため、発生の助長要因となったが、定期防除により、発生の増加が抑えられた。
タマナギンウワバ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハイマダラノメイガ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

ウ. ブロッコリー

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
軟腐病 (平年並)	発生時期は平年並で、9月以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並となった。	9月の気温が高く、降水量が多かったこと、台風が接近したことが助長要因となった。定期防除および追加防除が徹底された。
黒腐病 (平年並)	発生時期は平年並で、9月以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並となった。	9月の気温が高く、降水量が多かったこと、台風が接近したことが助長要因となった。定期防除および追加防除が徹底された。
べと病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
黒すす病 (やや多い)	8月中旬に育苗中の発生が認められた。また、本ぽでは、9月以降発生量が増加し、最終的な発生量はやや多くなった。	9月の気温が高く、降水量が多かったこと、台風が接近したことが助長要因となった。定期防除および追加防除が徹底された。
アブラムシ類 (やや少ない)	黄色水盤トラップの結果、誘殺数は、10月第1半旬に増加したが、全体としては平年並であった。ほ場での発生時期は平年並であったが、発生量はやや少なかった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
モンシロチョウ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
コナガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、5月から6月第5半旬までの誘殺数はやや少なかったが、それ以降は平年並であった。ほ場での発生時期は平年並で、発生量は8月がやや多かったが、それ以降は平年並であった。	8月の気温が高く、降水量が少なかったため、発生の助長要因となった。定期防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
ヨトウガ・ハスモン ヨトウ・シロイチモジ ヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、ヨトウガの誘殺数はやや少なく、ハスモンヨトウの誘殺数は多かった。シロイチモジヨトウは6月から8月の第1半旬まではやや多く推移したが、それ以降はやや少なく推移した。ほ場でのヨトウ類の発生時期は平年並で、発生量は8月がやや多かったが、それ以降は平年並であった。	5月と8月の気温が高く、降水量が少なかったため、発生の助長要因となった。定期防除が徹底された。
タマナギンウワバ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

エ. ネ ギ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
さび病 (平年並)	春：発生時期はやや早く、4月の発生量はやや多かった。しかし、その後の増加は緩慢で、発生量は平年並となった。 秋：9月下旬以降の発生量は平年並で、最終的な発生量は平年並となった。	冬期が暖冬であったため、越冬伝染減量がやや多くなったものと推察される。また、5～6、8月は平年より気温が高く推移し、発病に好適な条件とならなかった。9月以降も気温が高く、発病に好適な条件とならなかった。
黒斑病 (やや多い)	5月下旬は、発生量はやや少なかった。8月下旬から9月下旬にかけて被害が増加し、やや多い発生量となった。発生時期は平年並であった。	8月の高温によるネギの根痛みなどによる葉先枯れが多く見受けられた。9月以降、降水量が多く、助長要因となった。
萎縮病 (平年並)	全般に平年並の発生量であった。	アブラムシ類の発生が平年並であったことから、平年並の発生量となった。
軟腐病 (平年並)	発生時期は平年並で、8月下旬以降発病が増加し、最終的な発生量は平年並であった。	9月の気温が高く、降水量が多かったこと、台風が接近したことが助長要因となった。
べと病 (平年並)	発生時期・発生量ともに平年並であった。	4月の気温が低く、その後5月の平均気温が高くなり、降水量も少なかったことから、発病に好適な条件とならなかった。また、9月の気温が高く推移し、発病に好適な条件にならなかった。
白絹病 (平年並)	発生時期は平年並で、7月下旬から発生した。最終的な発生量は平年並であった。	7月の高温と降雨により発生が助長されたが、防除の徹底により発生の増加が抑えられた。
萎凋病 (平年並)	発生時期・発生量ともに平年並であった。	7～9月の高温と9月以降の降水量の増加により、本病発生が助長されたが、防除の徹底により発生の増加が抑えられた。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの結果、誘殺数は、10月第1半旬に増加したが、全体としては平年並であった。ほ場の発生時期、発生量はともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ネギハモグリバエ (やや少ない)	発生時期は平年並であったが、発生量はやや少なかった。	6月、7月の降水量が多く、発生量が抑えられた。また、定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ネギアザミウマ (やや多い)	発生時期は平年並であった。発生量は4月から7月までは平年並であったが、それ以降の発生量はやや多かった。	8月の気温が高く、降水量が少なかったため、発生量が増加した。

病虫害名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
シロイチモジヨトウ (やや少ない)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は6月から8月第1半旬まではやや多く推移したが、それ以降はやや少なく推移した。ほ場での発生時期は平年並であったが、発生量はやや少なかった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ネギコガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は5月から6月はやや多かったが、それ以降は平年よりやや少なく推移した。ほ場の発生時期・発生量はともに平年並であった。	3月の気温が高く、降雪量も少なかったため、越冬した成虫個体が多かったと推察された。また、5月の気温が高く、降水量が少なかったため発生の助長要因となったが、定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハスモンヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は多かったが、発生時期、発生量はともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

オ. イ チ ゴ

病虫害名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
灰色かび病 (平年並)	発生時期は平年並で、最終的な発生量は平年並であった。	本ぼにおける防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
炭疽病 (平年並)	発生時期は平年並で、最終的な発生量は平年並であった。	育苗期における防除の徹底により、苗床での発生の増加が抑えられた。
うどんこ病 (平年並)	発生時期は平年並で、最終的な発生量は平年並であった。	5月～6月上旬の降水量が少なく、本病発生を助長する気象条件であったが、育苗期や本ぼにおける防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
アブラムシ類 (やや少ない)	黄色水盤トラップの誘殺数は、10月第1半旬に増加したが、全体としては平年並であった。ほ場の発生時期は平年並で、発生量はやや少なかった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハダニ類 (やや少ない)	発生時期は平年並であったが、発生量はやや少なかった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハスモンヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は多かったが、ほ場での幼虫の発生時期、発生量はともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

カ. ナ ガ イ モ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
炭疽病 (平年並)	発生時期はやや早く、7月下旬から発生し、最終的な発生量は平年並であった。	7月の降雨により本病発生が助長された。また、9月の台風の通過などにより、発生量が増加した。
ナガイモコガ (少ない)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は少なかった。ほ場に発生時期は平年並であったが、発生量は少なかった。	昨年の発生量が少なく、越冬密度が低かったものと推察される。また、定期防除により、発生の増加が抑えられた。
シロイチモジヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、6月から8月第2半旬までの誘殺数は多く推移したが、それ以降は少なく推移した。ほ場での発生時期、発生量はともに平年並であった。	5月の気温が高く、降水量も少なかったため、発生の助長要因となった。6月の気温も高く、雨も中旬以外は少なかったため、発生の助長要因となったが、定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハダニ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

キ. ラ ッ キ ョ ウ (R2年産)

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
白色疫病 (平年並)	2月以降被害が増加し、最終的な発生量は平年並となった。発生時期は平年並であった。	定期防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
灰色かび病 (平年並)	発生時期は平年並で、最終的な発生量は平年並であった。	定期防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
ネギハモグリバエ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ネギアザミウマ (やや多い)	発生時期は平年並であったが、4月以降の発生量はやや多かった。	4月、5月の降水量が少なく、5月の気温が高かったため、発生の助長要因となった。

(3) 調査の概要と結果

ア. ス イ カ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 黄色水盤によるアブラムシ類の誘殺数

月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数
4.1	10.8	6.1	37.4	8.1	7.1	10.1	192.9
4.2	11.4	6.2	75.7	8.2	4.9	10.2	133.4
4.3	2.9	6.3	17.4	8.3	3.4	10.3	93.8
4.4	1.1	6.4	12.0	8.4	2.1	10.4	47.9
4.5	9.3	6.5	25.7	8.5	7.1	10.5	53.9
4.6	22.1	6.6	40.0	8.6	3.5	10.6	69.0
5.1	12.9	7.1	30.6	9.1	1.8		
5.2	30.9	7.2	22.6	9.2	2.5		
5.3	35.1	7.3	15.7	9.3	40.0		
5.4	4.3	7.4	26.0	9.4	29.1		
5.5	19.7	7.5	28.3	9.5	28.4		
5.6	30.9	7.6	29.3	9.6	31.4		

b. 一般ほ場における調査

第2表 巡回調査ほ場の概要

作型	定植期	開花期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
ビニールハウス	3月上旬	4月下旬	6月中旬～下旬	東伯郡 北栄町(由良宿、妻波、大谷、高千穂、下種)	5 (各1ほ場)
大型トンネル	3月下旬	5月上旬	6月下旬～7月上旬	東伯郡 北栄町 由良宿	2
				” ” 大谷	2
				” ” 高千穂	1
				倉吉市 横田	1

第3表 巡回調査ほ場における発病調査（菌核病）

作型	地区	調査月日	菌核病					
			調査ほ場数	程度別ほ場数				
				甚	多	中	少	計
ビニールハウス	北栄	4.14	5	0	0	0	0	0
		5.1	5	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5.22	5	0	0	0	0	0
		6.23	5	0	0	0	0	0
	倉吉	5.22	2	0	0	0	0	0
		6.23	2	0	0	0	0	0
	合計	5.22	7	0	0	0	0	0
		6.23	7	0	0	0	0	0

第4表 巡回調査ほ場における発病調査（つる枯病、うどんこ病）

作型	地区	調査月日	つる枯病					うどんこ病						
			調査 地点数	程度別ほ場数				調査 地点数	程度別ほ場数					
				甚	多	中	少		計	甚	多	中	少	計
ビニール ハウス	北栄	4.14	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
		5.1	25	0	0	0	1	1	25	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5.22	25	0	0	0	17	17	25	0	0	0	0	0
		6.23	25	0	0	0	7	7	25	0	0	0	0	0
	倉吉	5.22	10	0	0	0	4	4	10	0	0	0	0	0
		6.23	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
	合計	5.22	35	0	0	0	21	21	35	0	0	0	0	0
		6.23	35	0	0	0	7	7	35	0	0	0	0	0

第5表 巡回調査ほ場における発病調査（疫病・褐色腐敗病、炭疽病）

作型	地区	調査月日	疫病・褐色腐敗病					炭疽病						
			調査 地点数	程度別ほ場数				調査 地点数	程度別ほ場数					
				甚	多	中	少		計	甚	多	中	少	計
トンネル	北栄	5.22	25	0	0	0	0	0	25	0	0	1	8	9
		6.23	25	0	0	0	0	0	25	0	0	5	15	20
	倉吉	5.22	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	4	4
		6.23	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	9	9
	合計	5.22	35	0	0	0	0	0	35	0	0	1	12	13
		6.23	35	0	0	0	0	0	35	0	0	5	24	29

第6表 巡回調査ほ場における発生調査（アブラムシ類、ハダニ類）

作型	地区	調査月日	アブラムシ類					ハダニ類						
			調査 地点数	程度別ほ場数				調査 地点数	程度別ほ場数					
				甚	多	中	少		計	甚	多	中	少	計
ビニール ハウス	北栄	4.14	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
		5.1	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5.22	25	0	0	0	1	1	25	0	0	0	0	0
		6.23	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
	倉吉	5.22	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
		6.23	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
	合計	5.22	35	0	0	0	1	1	35	0	0	0	0	0
		6.23	35	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0

イ. キャベツ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

コナガ						ヨトウガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	8.1	7.1	10.0	9.1	0	5.1	15.6	7.1	0.4	9.1	0.8
5.2	6.7	7.2	4.3	9.2	0	5.2	15.7	7.2	0.6	9.2	1.3
5.3	7.1	7.3	4.3	9.3	0	5.3	14.6	7.3	0	9.3	0
5.4	12.9	7.4	2.0	9.4	0.6	5.4	10.0	7.4	0.6	9.4	3.4
5.5	12.3	7.5	0.9	9.5	0.4	5.5	6.6	7.5	0.4	9.5	3.7
5.6	18.9	7.6	0	9.6	0	5.6	6.4	7.6	0.1	9.6	2.9
6.1	15.9	8.1	0	10.1	0.7	6.1	4.0	8.1	0.7	10.1	11.4
6.2	2.1	8.2	0	10.2	0.3	6.2	0	8.2	0.1	10.2	12.4
6.3	4.4	8.3	0.3	10.3	0	6.3	0	8.3	0	10.3	13.1
6.4	6.1	8.4	0.7	10.4	0	6.4	0	8.4	0	10.4	0.7
6.5	7.9	8.5	2.1	10.5	3.0	6.5	0	8.5	0	10.5	0.7
6.6	18.6	8.6	0.9	10.6	5.7	6.6	0	8.6	0	10.6	0.6

第2表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

カブラヤガ						タマナヤガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	22.5	7.1	11.1	9.1	5.5	5.1	0.6	7.1	0.6	9.1	3.0
5.2	26.1	7.2	8.0	9.2	8.1	5.2	2.0	7.2	0	9.2	5.0
5.3	27.0	7.3	11.4	9.3	10.0	5.3	2.6	7.3	0	9.3	0
5.4	20.7	7.4	7.4	9.4	7.7	5.4	1.4	7.4	0	9.4	0
5.5	10.4	7.5	6.4	9.5	4.3	5.5	0.3	7.5	0	9.5	0
5.6	6.9	7.6	6.7	9.6	0.0	5.6	0.9	7.6	0.1	9.6	0
6.1	3.9	8.1	1.4	10.1	2.9	6.1	1.1	8.1	0.7	10.1	0
6.2	5.0	8.2	0.3	10.2	4.1	6.2	0	8.2	1.3	10.2	0
6.3	6.7	8.3	0	10.3	5.0	6.3	0	8.3	0.9	10.3	0
6.4	9.1	8.4	0	10.4	4.3	6.4	0.9	8.4	0	10.4	0
6.5	12.1	8.5	2.1	10.5	5.1	6.5	2.1	8.5	0	10.5	0
6.6	17.1	8.6	2.2	10.6	6.2	6.6	1.4	8.6	0	10.6	0

b. 一般ほ場における調査

第3表 巡回調査ほ場の概要

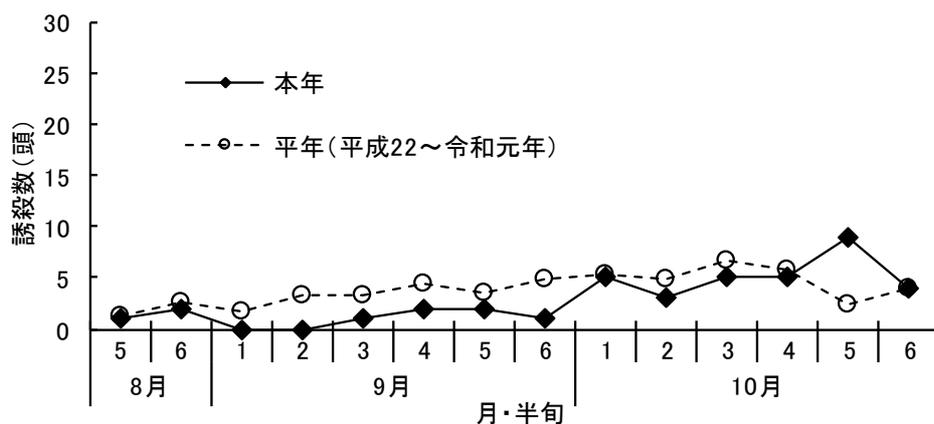
は種期	定植期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
7月上旬	8月上旬	10月上旬	倉吉市 横田	2
～	～	～	東伯郡 北栄町 高千穂	1
7月下旬	9月上旬	12月	〃 〃 此山	2

第4表 フェロモントラップの設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
倉吉市 下米積 (病害虫発生状況調査ほ)	8月21日～ 10月31日	コナガ	SEトラップ

第5表 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）

倉吉市下米積			
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
8.5	1.0	9.6	1.0
8.6	2.0	10.1	5.0
9.1	0	10.2	3.0
9.2	0	10.3	5.0
9.3	1.0	10.4	5.0
9.4	2.0	10.5	9.0
9.5	2.0	10.6	4.0



第1図 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺消長（倉吉市下米積）

第6表 巡回調査ほ場における発病調査（黒腐病、菌核病、べと病）

地区	調査月日	調査ほ場数	黒腐病					菌核病					べと病					
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	
北栄	8.24	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.24	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.27	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.27	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.24	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.24	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.27	5	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第7表 巡回調査ほ場における発病調査（軟腐病、黒斑細菌病）

地区	調査月日	調査ほ場数	軟腐病					黒斑細菌病						
			程度別ほ場数					程度別ほ場数						
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計		
北栄	8.27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.25	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.25	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.25	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.25	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第8表 巡回調査ほ場における発生調査（コナガ、アオムシ、ヨトウガ・ハスモンヨトウ）

地区	調査月日	調査ほ場数	コナガ					アオムシ					ヨトウガ・ハスモンヨトウ					
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	
北栄	8.24	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
倉吉	8.24	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	10.27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.24	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	10.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1

第9表 巡回調査ほ場における発生調査（アブラムシ、タマナギンウワバ、ネキリムシ）

地区	調査月日	調査ほ場数	アブラムシ					タマナギンウワバ					ネキリムシ					
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	
北栄	8.24	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.24	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第10表 巡回調査ほ場における発生調査（ハイマダラノメイガ）

地区	調査月日	調査ほ場数	ハイマダラノメイガ				
			程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計
北栄	8.24	3	0	0	0	0	0
	10.27	3	0	0	0	0	0
倉吉	8.24	2	0	0	0	0	0
	10.27	2	0	0	0	0	0
合計	8.24	5	0	0	0	0	0
	10.27	5	0	0	0	0	0

ウ. ブロココリー

第1表 定点調査ほ場の概要

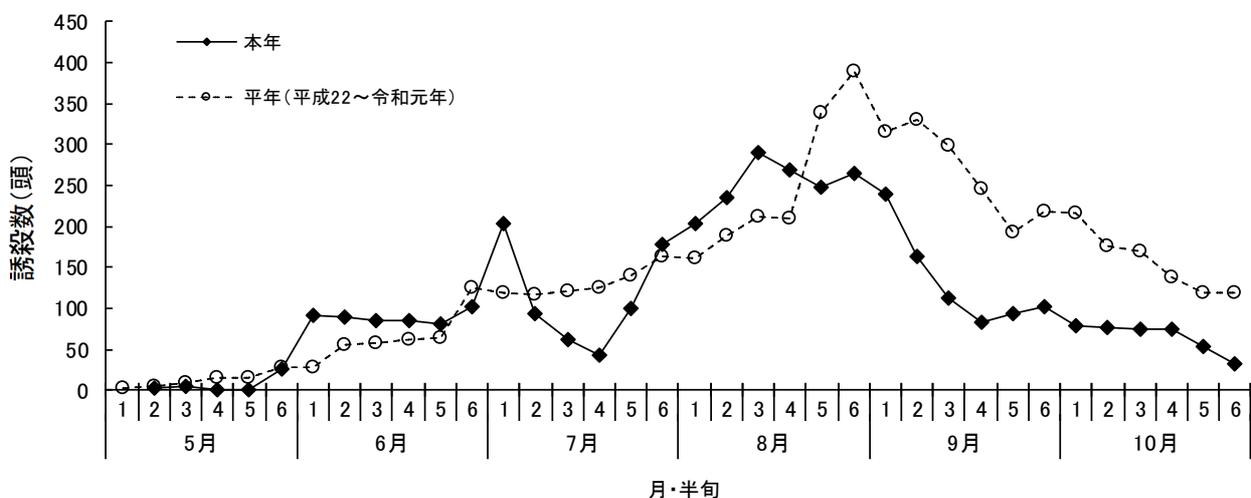
は種期	定植期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
3月上旬 ～ 3月下旬	4月上旬 ～ 4月下旬	6月上旬 ～ 6月下旬	東伯郡 琴浦町 高野 " " 杉下 西伯郡 大山町 下甲	2 1 4
7月上旬 ～ 8月下旬	8月上旬 ～ 9月下旬	10月上旬 ～ 12月	東伯郡 北栄町 高千穂 " " 大谷 西伯郡 大山町 下甲	1 2 4

第2表 フェロモントラップの設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
西伯郡 大山町 下甲 (病害虫発生状況調査ほ)	5月1日～ 10月31日	ハスモンヨトウ	ファネルトラップ
		コナガ	SEトラップ

第3表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）

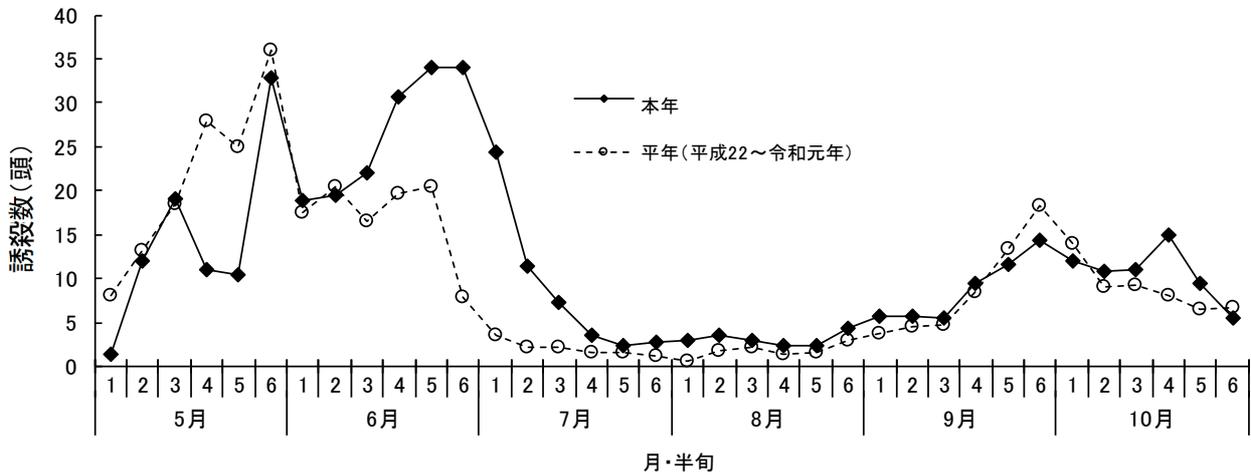
大山町下甲					
月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数
5.1	-	7.1	203.6	9.1	239.2
5.2	2.4	7.2	93.7	9.2	163.2
5.3	4.0	7.3	61.4	9.3	112.5
5.4	1.6	7.4	42.1	9.4	83.8
5.5	1.3	7.5	99.3	9.5	93.3
5.6	25.2	7.6	177.1	9.6	101.6
6.1	92.5	8.1	203.0	10.1	78.1
6.2	88.9	8.2	235.0	10.2	76.7
6.3	86.1	8.3	290.0	10.3	75.6
6.4	85.0	8.4	268.5	10.4	75.0
6.5	80.3	8.5	247.4	10.5	53.1
6.6	102.4	8.6	264.0	10.6	31.9



第1図 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺消長（大山町下甲）

第4表 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）

大山町下甲					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	1.3	7.1	24.3	9.1	5.7
5.2	11.9	7.2	11.4	9.2	5.7
5.3	19.0	7.3	7.2	9.3	5.6
5.4	11.0	7.4	3.6	9.4	9.4
5.5	10.4	7.5	2.4	9.5	11.6
5.6	32.9	7.6	2.8	9.6	14.4
6.1	18.8	8.1	2.9	10.1	11.9
6.2	19.5	8.2	3.6	10.2	10.8
6.3	22.1	8.3	2.9	10.3	11.0
6.4	30.6	8.4	2.4	10.4	15.0
6.5	34.1	8.5	2.4	10.5	9.4
6.6	34.0	8.6	4.3	10.6	5.6



第2図 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺消長（大山町下甲）

第5表 巡回調査ほ場における発病調査（黒腐病、べと病、軟腐病、黒すす病）

地区	調査月日	調査ほ場数	黒腐病					べと病					軟腐病					黒すす病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	5.19	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	8.24	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.24	4	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	10.27	4	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
北栄	5.19	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.24	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.24	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	10.27	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
合計	5.19	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	8.24	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.24	7	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
	10.27	7	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6

第6表 巡回調査ほ場における発生調査（コナガ、アオムシ、ヨトウガ・ハスモンヨトウ）

地区	調査月日	調査ほ場数	コナガ					アオムシ					ヨトウガ・ハスモンヨトウ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	8.24	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	4
	10.27	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北栄	8.24	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
	10.27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.24	7	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	1	2	1	2	6
	10.27	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第7表 巡回調査ほ場における発生調査（ネキリムシ、ハイマダラノメイガ）

地区	調査月日	調査ほ場数	ネキリムシ					ハイマダラノメイガ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	8.24	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.27	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北栄	8.24	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.24	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.27	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

エ. ネギ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

シロイチモジヨトウ						ネギコガ					
月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数
5.1	0.6	7.1	36.7	9.1	31.9	5.1	48.8	7.1	52.1	9.1	0
5.2	6.3	7.2	21.7	9.2	28.1	5.2	66.6	7.2	31.0	9.2	0
5.3	8.4	7.3	25.7	9.3	8.3	5.3	74.0	7.3	15.0	9.3	0
5.4	2.1	7.4	28.0	9.4	33.7	5.4	55.7	7.4	15.0	9.4	1.7
5.5	2.7	7.5	54.6	9.5	38.6	5.5	86.6	7.5	16.1	9.5	1.3
5.6	6.9	7.6	102.0	9.6	36.4	5.6	119.1	7.6	20.1	9.6	0
6.1	12.9	8.1	42.1	10.1	55.0	6.1	112.6	8.1	11.4	10.1	5.0
6.2	30.0	8.2	31.9	10.2	29.5	6.2	145.7	8.2	2.3	10.2	5.0
6.3	36.9	8.3	24.1	10.3	12.5	6.3	94.9	8.3	0	10.3	5.0
6.4	44.0	8.4	16.4	10.4	0	6.4	69.6	8.4	0	10.4	4.3
6.5	52.1	8.5	34.3	10.5	2.1	6.5	50.7	8.5	0	10.5	2.1
6.6	60.7	8.6	43.7	10.6	5.5	6.6	77.9	8.6	0	10.6	0.6

第2表 黄色粘着トラップによるアザミウマ類成虫の誘殺数（県予察ほ場）

月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数
5.1	3.1	7.1	1.1	9.1	1.4
5.2	5.1	7.2	1.3	9.2	1.3
5.3	6.4	7.3	0.7	9.3	2.5
5.4	6.4	7.4	2.4	9.4	0.5
5.5	11.6	7.5	1.7	9.5	0.3
5.6	15.4	7.6	0	9.6	0.7
6.1	11.1	8.1	0	10.1	2.1
6.2	4.3	8.2	0.6	10.2	1.2
6.3	0.9	8.3	1.0	10.3	0.6
6.4	0.3	8.4	1.4	10.4	0
6.5	0.7	8.5	1.4	10.5	0
6.6	0.7	8.6	1.9	10.6	0

注)黄色粘着トラップ10cm×10cm 当たり虫数

b. 一般ほ場における調査

第3表 巡回調査ほ場の概要

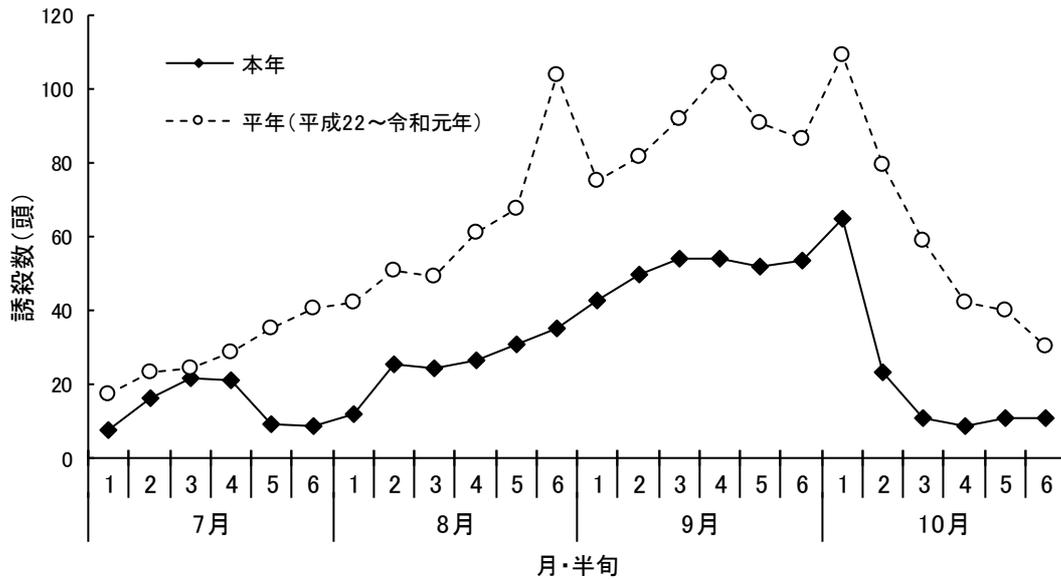
地 区	調査場所	調査ほ場数
米 子	米子市 富益町	5
境 港	境港市 森岡町	5

第4表 フェロモントラップ調査地点の設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
米子市 夜見町 (病害虫発生状況調査ほ)	7月1日～ 10月31日	シロイチモジヨトウ	SEトラップ

第5表 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ雄成虫の誘殺数

米子市夜見町			
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
7.1	7.9	9.1	43.0
7.2	16.4	9.2	49.6
7.3	22.0	9.3	54.3
7.4	21.4	9.4	54.3
7.5	9.4	9.5	52.1
7.6	9.0	9.6	53.6
8.1	12.0	10.1	65.0
8.2	25.7	10.2	23.3
8.3	24.6	10.3	11.1
8.4	26.9	10.4	8.6
8.5	30.7	10.5	11.0
8.6	35.1	10.6	11.0



第1図 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ雄成虫の誘殺消長 (米子市夜見町)

第6表 巡回調査ほ場における発病調査 (さび病、黒斑病、萎縮病、べと病)

地区	調査 月日	調査 ほ場数	さび病					黒斑病					萎縮病					べと病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	4.14	5	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.28	5	0	0	0	3	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.25	5	-	-	-	-	-	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.27	5	-	-	-	-	-	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.27	5	-	-	-	-	-	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.30	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
境港	4.14	5	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.28	5	0	0	1	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.25	5	-	-	-	-	-	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.27	5	-	-	-	-	-	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.27	5	-	-	-	-	-	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.30	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4.14	10	0	0	2	1	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.28	10	0	0	1	7	8	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.25	10	-	-	-	-	-	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.27	10	-	-	-	-	-	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.27	10	-	-	-	-	-	0	0	0	10	10	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.30	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

第7表 巡回調査ほ場における発病調査（軟腐病、萎凋病、白絹病）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	軟腐病					萎凋病					白絹病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	6.25	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	8.27	5	0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
境港	6.25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.27	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6.25	10	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	8.27	10	0	0	1	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第8表 巡回調査ほ場における発生調査（ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、アブラムシ、ネギコガ）

地区	調査 月日	調査 ほ場 数	ネギハモグリバエ					ネギアザミウマ					アブラムシ					ネギコガ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	4.14	5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
	5.28	5	0	0	0	1	1	0	0	4	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.25	5	0	0	0	1	1	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	1	1	1	0	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	5	0	0	0	1	1	1	4	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.30	5	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
境港	4.14	5	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5.28	5	0	0	0	1	1	0	0	4	1	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	6.25	5	0	0	0	1	1	0	0	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	2	2	0	1	1	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	5	0	1	1	3	5	1	3	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.30	5	0	0	0	0	0	1	2	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4.14	10	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
	5.28	10	0	0	0	2	2	0	0	8	2	10	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	6.25	10	0	0	0	2	2	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7.27	10	0	0	0	3	3	1	1	3	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	10	0	1	1	4	6	2	7	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.30	10	0	0	0	0	0	1	2	4	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第9表 巡回調査ほ場における発生調査（シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ）

地区	調査月日	調査ほ場数	シロイチモジヨトウ					ハスモンヨトウ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	5.28	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.30	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
境港	5.28	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.30	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5.28	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.25	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.30	10	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

オ. イチゴ

第1表 巡回調査ほ場の概要

品 種	調査場所	調査ほ場数
とっておき 章 姫	東伯郡 湯梨浜町 長瀬	2
紅ほっぺ	” ” 浅津	3

第2表 病害虫発生状況調査ほの概要

品 種	調査場所	調査ほ場数
章 姫	倉吉市 沢谷	1
とっておき	東伯郡 湯梨浜町 橋津	1
紅ほっぺ	東伯郡 北栄町 西園	1

第3表 病害虫発生状況調査ほにおける調査結果

地区	調査 月日	病害虫名							
		灰色かび病	うどんこ病			炭疽病	アブラムシ類	ハダニ類	ハスモンヨトウ
		発病果率 (%)	発病葉率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	幼虫寄生株率 (%)	
倉吉	6.20	-	0	-	0	0	0	-	
	11.20	0	-	0	0	8.0	0	0	
	1.10	0	-	0	0	8.0	4.0	0	
湯梨浜	6.20	-	0	-	0	0	0	-	
	11.20	0	-	0	0	12.0	8.0	0	
	1.9	0	-	0	0	20.0	0	0	
北栄	6.20	-	0	-	0	0	0	-	
	11.20	0	-	0	4.0	0	0	0	
	1.12	0	-	0	0	0	0	0	

注)表中の「-」は調査対象でないことを示す。

第4表 巡回ほ場における調査結果（うどんこ病、炭疽病）

地区	調査月 日	調査 ほ場数	うどんこ病					炭疽病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
湯梨浜	5.27	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第5表 巡回ほ場における調査結果（アブラムシ類、ハダニ類）

地区	調査月 日	調査 ほ場数	アブラムシ類					ハダニ類				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
湯梨浜	5.27	4	0	0	0	2	2	0	0	1	0	1
	6.29	4	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1

カ. ナガイモ（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによるナガイモコガ雄成虫の誘殺数（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

ネギコガ誘引剤						コナガ誘引剤					
月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数
5.1	4.4	7.1	2.1	9.1	0.7	5.1	0.6	7.1	87.9	9.1	100.8
5.2	5.2	7.2	0.9	9.2	0.6	5.2	0.7	7.2	132.6	9.2	66.3
5.3	6.9	7.3	1.4	9.3	2.5	5.3	0.9	7.3	122.9	9.3	332.5
5.4	11.4	7.4	0.3	9.4	4.5	5.4	1.4	7.4	106.3	9.4	805.9
5.5	13.1	7.5	0	9.5	3.3	5.5	1.4	7.5	137.6	9.5	984.9
5.6	25.7	7.6	0.3	9.6	0.7	5.6	1.7	7.6	297.0	9.6	1075.7
6.1	27.4	8.1	1.4	10.1	0.7	6.1	3.0	8.1	531.4	10.1	507.1
6.2	20.0	8.2	0.3	10.2	1.0	6.2	9.3	8.2	617.1	10.2	269.6
6.3	21.7	8.3	0.3	10.3	1.3	6.3	8.1	8.3	412.0	10.3	111.3
6.4	17.6	8.4	0.7	10.4	0	6.4	6.1	8.4	72.1	10.4	16.4
6.5	10.7	8.5	0.7	10.5	0.4	6.5	3.6	8.5	385.0	10.5	6.6
6.6	4.3	8.6	1.0	10.6	0.9	6.6	17.1	8.6	276.0	10.6	0

キ. ラッキョウ

第1表 巡回調査ほ場の概要

地区	品種	調査場所	調査ほ場数
福部	ラクダ	鳥取市 福部町 細川	2
		" " 海士	1
		" " 浜湯山	2
北栄		東伯郡 北栄町 東新田場	1
		" " 国坂	1
		" " 西園	1
		" " 東園	1
		" " 由良	1

第2表 巡回調査ほ場における調査結果（白色疫病、灰色かび病）

地区	調査月日	調査ほ場数	白色疫病					灰色かび病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
福部	R2.3.23	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	R2.11.26	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	R3. 1.21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北栄	R2. 3.23	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R2.11.26	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R3. 1.21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	R2. 3.23	10	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	R2.11.26	10	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	R3. 1.21	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第3表 巡回調査ほ場における調査結果（ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ）

地区	調査月日	調査ほ場数	ネギハモグリバエ					ネギアザミウマ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
福部	R2. 3.23	5	0	0	0	1	1	0	0	0	2	2
	R2.11.26	5	0	0	0	2	2	0	0	0	4	4
北栄	R2. 3.23	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	R2.11.26	5	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
合計	R2. 3.23	10	0	0	0	1	1	0	0	0	3	3
	R2.11.26	10	0	0	0	2	2	0	0	1	6	7

ク. サトイモ（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	1.9	7.1	650.6	9.1	608.1
5.2	4.2	7.2	704.9	9.2	671.9
5.3	4.9	7.3	192.9	9.3	489.2
5.4	1.4	7.4	83.7	9.4	397.3
5.5	2.6	7.5	170.7	9.5	442.3
5.6	10.7	7.6	398.6	9.6	544.3
6.1	38.9	8.1	282.1	10.1	346.4
6.2	134.3	8.2	538.1	10.2	369.2
6.3	370.9	8.3	483.0	10.3	384.4
6.4	394.0	8.4	304.3	10.4	107.9
6.5	340.0	8.5	517.9	10.5	177.3
6.6	377.1	8.6	617.1	10.6	298.2

ケ. トマト（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

タバコガ						オオタバコガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	0	7.1	3.6	9.1	4.8	5.1	1.9	7.1	0.4	9.1	1.1
5.2	0	7.2	3.6	9.2	1.9	5.2	2.5	7.2	1.0	9.2	1.9
5.3	0.1	7.3	3.6	9.3	3.3	5.3	5.6	7.3	2.1	9.3	1.7
5.4	0.7	7.4	4.1	9.4	2.4	5.4	16.4	7.4	1.0	9.4	2.6
5.5	0.1	7.5	4.6	9.5	3.3	5.5	6.1	7.5	0.7	9.5	5.4
5.6	1.3	7.6	6.9	9.6	5.0	5.6	6.0	7.6	1.0	9.6	9.3
6.1	2.1	8.1	9.3	10.1	6.4	6.1	7.4	8.1	1.4	10.1	31.4
6.2	2.1	8.2	11.6	10.2	5.9	6.2	11.4	8.2	0.9	10.2	21.2
6.3	5.0	8.3	12.1	10.3	5.6	6.3	2.3	8.3	0.4	10.3	14.4
6.4	5.4	8.4	12.1	10.4	4.3	6.4	0.3	8.4	0	10.4	5.7
6.5	5.0	8.5	12.9	10.5	1.7	6.5	0.7	8.5	0	10.5	11.3
6.6	3.6	8.6	12.5	10.6	0	6.6	0	8.6	0	10.6	17.0

Ⅲ ミバエ類等侵入警戒調査事業

1 事業の目的

新たに国内に侵入し、又は既に国内の一部に存在している有害動物又は有害植物がまん延して有用な植物に重大な損害を与える恐れが生じる。その前に本県への侵入状況を把握し、これらの駆除又はそのまん延防止に資するため、ミバエ類等侵入警戒調査実施要領の定めるところにより、植物防疫所に協力する。本県では、チチュウカイミバエ、コドリングア、火傷病、スイカ果実汚斑細菌病を対象として侵入警戒調査を実施する。

2 令和2年度調査結果

すべての調査地点において、当該病害虫は発見されなかった。

3 対象害虫

	チチュウカイミバエ	コドリングア
寄主植物	果樹、果菜類、豆類	ナシ、リンゴ、モモ等
使用トラップ	スタイナー型	SEトラップ（白）
使用誘引剤	トリメドラルア剤	コドレルア剤
調査方法	フェロモントラップによる誘殺数の確認	
トラップの設置場所	風通しの良い木陰等の地上1.5メートル程度の位置（樹園地等）	
調査地点	農試調査：鳥取市(1)、八頭町(1)、日吉津村(1) 園試調査：北栄町(1) (計4か所)	
調査期間	令和2年4月～11月	
調査時期	毎月2回、15日間隔	

4 対象病害

	スイカ果実汚斑細菌病	火傷病
寄主植物	スイカなど	ナシ、リンゴ、オウトウなど
調査方法	スイカの育苗期及び果実肥大期から結実期までについて、病徴の有無を確認調査	主な寄主植物（ナシなど）の開花期及び新梢伸長期から果実の肥大期までについて、病徴の有無を確認調査
調査地点	園試調査 倉吉市(2)、北栄町(10) (計12か所)	園試調査 鳥取市、八頭町、倉吉市、湯梨浜町、北栄町、琴浦町、大山町、米子市、南部町 (計25か所)
調査期間	令和2年2月～6月	令和2年4月～11月

付表 令和2年 半旬別気象表

1 鳥取市（鳥取地方気象台）

月	半旬	気温(°C)					降水量(mm)		日照時間(h)		
		平均		最高		最低		本年	平年	本年	平年
		本年	平年	本年	平年	本年	平年				
1月	1	7.2	4.8	11.0	8.6	4.1	1.5	10.0	32.0	11.8	11.3
	2	8.9	4.4	13.7	8.2	4.2	1.2	26.0	33.9	8.7	11.0
	3	6.2	4.2	11.0	7.9	2.5	1.0	17.0	34.8	11.8	11.0
	4	6.5	3.8	10.8	7.6	2.7	0.6	3.5	33.0	21.0	11.1
	5	7.9	3.5	11.4	7.3	4.1	0.4	17.0	31.6	3.5	11.5
	6	7.8	3.3	10.4	7.1	5.2	0.2	44.5	38.3	8.1	14.2
	平均(合計)	7.4	4.0	11.4	7.8	3.8	0.8	118.0	203.6	64.9	70.1
2月	1	5.8	3.5	10.8	7.4	1.7	0.2	21.5	29.9	20.8	12.3
	2	3.1	4.0	6.6	8.1	-0.7	0.5	30.0	27.7	12.9	13.2
	3	9.5	4.4	15.2	8.7	4.2	0.8	6.5	28.1	19.2	13.7
	4	5.8	4.6	10.5	8.9	2.3	0.9	46.5	28.9	16.7	14.9
	5	8.2	4.9	13.5	9.2	2.7	1.0	5.0	28.4	23.0	16.1
	6	7.4	5.2	10.5	9.6	4.5	1.2	10.5	21.6	5.1	13.5
	平均(合計)	6.6	4.4	11.2	8.7	2.5	0.8	120.0	164.6	97.7	83.7
3月	1	8.0	5.6	12.5	10.2	3.9	1.5	18.0	25.0	16.9	17.6
	2	9.3	6.4	15.2	11.2	4.5	2.0	52.5	22.9	23.4	18.9
	3	8.1	7.2	13.5	12.2	3.5	2.5	36.0	22.1	24.5	20.1
	4	10.0	7.9	16.0	13.0	3.8	3.1	14.5	22.3	35.2	21.2
	5	10.6	8.5	16.4	13.6	4.5	3.5	0.0	22.5	39.9	21.7
	6	11.6	9.2	16.8	14.4	6.5	4.1	27.5	25.6	16.8	27.5
	平均(合計)	9.6	7.5	15.1	12.4	4.5	2.8	148.5	140.4	156.7	127.0
4月	1	10.5	10.4	16.1	15.8	5.5	5.1	58.5	19.4	28.1	25.4
	2	10.2	11.6	16.8	17.1	4.2	6.2	0.0	18.6	45.4	27.0
	3	10.0	12.6	14.8	18.1	5.2	7.2	142.0	19.3	23.8	27.9
	4	13.7	13.5	18.4	19.1	9.2	8.0	11.0	19.3	18.4	29.3
	5	11.2	14.5	16.0	20.2	6.1	8.9	1.5	17.5	26.5	31.2
	6	14.1	15.4	20.3	21.3	8.0	9.8	6.5	16.2	48.7	32.7
	平均(合計)	11.6	13.0	17.1	18.6	6.4	7.5	219.5	110.3	190.9	173.5
5月	1	19.7	16.4	25.5	22.3	14.8	10.8	4.5	18.1	37.6	32.6
	2	17.3	16.9	22.1	22.7	12.9	11.5	10.5	22.1	28.4	31.8
	3	18.6	17.2	25.4	22.8	12.2	11.9	4.0	24.4	46.2	31.2
	4	18.4	17.7	22.7	23.2	15.7	12.5	47.5	22.5	13.5	31.6
	5	18.9	18.4	24.2	23.9	13.9	13.3	3.5	19.5	35.6	32.6
	6	19.5	19.2	24.8	24.7	14.3	14.2	4.5	21.1	47.5	40.0
	平均(合計)	18.7	17.6	24.1	23.3	14.0	12.4	74.5	127.7	208.8	199.8
6月	1	22.7	20.0	28.9	25.4	17.4	15.2	0.0	16.5	40.6	32.7
	2	23.5	20.8	29.5	26.0	17.7	16.1	0.0	15.8	44.6	31.0
	3	23.8	21.4	27.4	26.5	21.3	17.1	212.0	17.6	8.5	28.8
	4	21.1	22.1	26.0	26.8	17.6	18.1	25.5	24.6	27.2	25.3
	5	23.8	22.6	29.5	27.1	17.9	19.1	15.5	34.7	49.3	20.9
	6	24.8	23.2	30.0	27.5	20.1	19.8	35.0	40.6	23.8	19.3
	平均(合計)	23.3	21.7	28.6	26.6	18.7	17.6	288.0	149.8	194.0	158.0

月	半旬	気 温 (°C)					降水量(mm)		日照時間(h)		
		平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年
		本年	平年	本年	平年	本年	平年				
7 月	1	22.3	24.0	25.4	28.3	19.8	20.6	10.0	39.6	8.8	20.5
	2	25.5	24.7	29.2	29.1	22.2	21.3	80.5	40.1	13.3	21.4
	3	23.0	25.3	26.1	29.8	20.4	21.9	87.5	43.0	5.6	22.1
	4	25.1	26.0	29.8	30.7	21.3	22.3	6.5	37.2	17.2	26.2
	5	25.2	26.7	29.3	31.6	22.2	22.8	24.5	24.9	7.4	31.4
	6	26.2	27.2	30.2	32.3	23.7	23.2	63.5	19.6	11.3	41.7
	平均 (合計)	24.6	25.7	28.3	30.3	21.6	22.0	272.5	204.4	63.6	163.3
8 月	1	28.0	27.5	33.6	32.6	23.8	23.3	0.0	13.8	29.7	36.4
	2	30.1	27.5	34.2	32.7	26.3	23.4	6.0	15.3	27.1	35.6
	3	29.7	27.3	35.6	32.6	25.6	23.3	2.5	18.6	39.8	33.7
	4	28.9	27.0	35.2	32.2	24.1	23.0	0.0	21.5	56.1	31.9
	5	28.5	26.6	34.3	31.8	23.9	22.5	0.0	22.3	44.4	31.1
	6	30.5	26.1	36.6	31.3	25.8	22.0	0.0	26.1	66.9	36.7
	平均 (合計)	29.3	27.0	34.9	32.2	24.9	22.9	8.5	117.6	264.0	205.4
9 月	1	28.7	25.2	34.8	30.2	24.7	21.2	14.5	25.8	33.6	28.3
	2	27.2	24.1	33.1	29.0	22.8	20.2	17.0	31.9	29.0	25.1
	3	23.5	23.1	28.1	27.9	19.9	19.2	15.5	35.9	22.4	23.1
	4	22.8	22.2	27.8	27.0	19.4	18.3	103.0	37.0	18.6	22.4
	5	21.2	21.1	25.5	25.9	17.7	17.1	68.5	35.5	10.8	21.7
	6	20.2	20.1	24.5	24.9	16.7	16.0	43.0	32.2	17.1	21.2
	平均 (合計)	23.9	22.6	29.0	27.5	20.2	18.7	261.5	198.3	131.5	141.8
10 月	1	20.5	19.1	25.3	24.1	16.0	14.9	2.0	28.2	26.2	21.7
	2	17.9	18.3	21.8	23.4	14.6	13.9	20.0	25.2	11.8	22.9
	3	18.4	17.4	22.1	22.7	15.6	12.9	12.0	24.5	15.2	24.4
	4	15.0	16.3	21.1	21.6	10.9	11.7	3.5	24.3	25.0	25.2
	5	15.9	15.2	20.6	20.6	11.4	10.7	72.0	23.7	28.1	24.6
	6	13.6	14.4	20.3	19.8	8.6	9.9	1.5	28.0	37.6	27.8
	平均 (合計)	16.9	16.8	21.9	22.0	12.9	12.3	111.0	153.9	143.9	146.6
11 月	1	13.2	13.8	18.4	19.1	8.2	9.2	27.0	23.5	20.4	22.1
	2	13.9	13.1	17.8	18.2	10.6	8.7	16.0	24.2	10.5	20.5
	3	11.5	12.1	18.8	16.9	5.6	7.9	0.0	25.8	39.7	18.4
	4	18.2	10.9	23.6	15.7	12.7	6.8	1.5	26.0	30.7	17.1
	5	11.9	10.1	16.9	14.8	6.7	5.9	11.0	26.3	15.2	16.4
	6	9.6	9.3	13.3	13.9	6.7	5.2	59.0	28.5	8.8	15.7
	平均 (合計)	13.1	11.6	18.1	16.4	8.4	7.3	114.5	154.3	125.3	110.2
12 月	1	8.9	8.5	13.0	13.1	5.9	4.5	24.5	31.3	13.6	15.5
	2	8.7	7.8	14.9	12.2	3.7	3.9	0.0	32.7	24.2	15.4
	3	6.6	7.0	10.4	11.3	4.0	3.3	107.0	32.1	7.4	14.5
	4	2.3	6.4	5.1	10.4	0.6	2.7	109.0	30.3	7.8	13.7
	5	4.6	5.9	9.5	9.9	1.3	2.4	33.5	29.5	13.5	13.3
	6	5.4	5.4	10.7	9.3	1.6	2.0	85.5	36.8	19.0	15.0
	平均 (合計)	6.1	6.8	10.6	11.0	2.9	3.1	359.5	192.7	85.5	87.4

2 北栄町（園芸試験場）

平年値：昭和52年～令和元年の平均値
降水量・日照時間：倉吉アメダス観測データ

月 半旬	気 温 (°C)						降水量 (mm)		日照時間 (h)		
	平 均		最 高		最 低		本年	(平年)	本年	(平年)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
1 月	1	6.2	5.0	10.4	8.5	2.7	1.6	3.5	27.5	11.2	12.6
	2	7.6	4.8	12.1	9.0	3.6	1.3	16.0	25.3	6.7	14.7
	3	6.3	4.1	10.3	8.0	2.6	0.9	20.5	29.3	13.9	13.4
	4	6.3	4.2	10.2	8.1	2.7	0.9	4.5	24.4	19.9	13.7
	5	7.8	3.5	10.9	7.4	4.4	0.3	13.0	27.3	2.1	13.9
	6	7.4	3.8	9.8	7.9	5.0	0.4	27.0	26.3	7.7	18.9
平均 (合計)	6.9	4.3	10.6	8.1	3.5	0.9	84.5	160.1	61.5	87.2	
2 月	1	5.6	3.4	10.0	7.4	1.7	-0.1	12.0	21.7	20.0	14.7
	2	3.0	3.9	6.6	8.5	-0.4	-0.1	20.0	23.1	12.7	17.3
	3	9.4	4.7	14.5	9.4	4.7	0.7	3.5	20.8	22.2	16.1
	4	5.6	4.2	10.2	8.8	1.8	0.2	23.0	24.3	17.5	17.6
	5	8.3	5.0	13.0	9.3	2.8	1.1	5.0	18.6	23.9	18.5
	6	6.9	5.4	9.5	10.2	4.0	0.8	8.0	11.9	4.1	13.4
平均 (合計)	6.5	4.4	10.6	8.9	2.4	0.4	71.5	120.5	100.4	97.6	
3 月	1	7.2	5.7	11.3	10.4	2.9	1.4	12.0	23.4	10.0	20.1
	2	8.5	6.4	12.8	11.6	4.5	1.7	65.0	16.5	21.5	21.2
	3	7.7	6.9	12.7	12.3	2.4	1.7	37.5	17.5	27.4	23.7
	4	9.8	7.9	15.4	13.3	3.7	2.5	9.0	18.1	36.5	24.8
	5	10.1	7.9	15.3	13.1	4.5	2.8	0.0	22.8	41.2	24.3
	6	9.8	8.9	14.3	14.3	4.5	3.4	28.0	20.8	18.4	32.7
平均 (合計)	8.9	7.3	13.6	12.5	3.8	2.2	151.5	119.1	155.0	146.8	
4 月	1	8.6	9.9	15.2	15.7	3.0	4.2	50.5	17.3	30.7	31.2
	2	8.0	11.4	14.7	17.0	1.1	5.9	0.0	17.7	48.6	27.9
	3	8.1	11.7	13.1	16.8	2.9	6.1	122.0	18.3	26.5	29.9
	4	11.5	12.8	16.2	18.7	6.8	7.1	12.0	18.8	19.2	34.0
	5	10.2	13.6	15.7	19.3	4.2	8.3	0.5	14.2	27.6	34.2
	6	11.8	14.7	18.2	20.7	5.5	8.5	5.5	13.8	51.0	37.3
平均 (合計)	9.7	12.4	15.5	18.0	3.9	6.7	190.5	100.1	203.6	194.5	
5 月	1	16.9	15.7	22.8	21.3	11.5	9.9	8.5	13.8	35.3	34.8
	2	14.9	16.4	19.3	22.0	10.4	10.7	8.0	16.4	26.1	35.7
	3	17.0	16.5	23.8	21.7	10.0	10.8	3.5	28.7	43.9	33.1
	4	16.2	17.0	20.0	22.7	13.9	11.2	32.5	21.9	9.7	36.5
	5	16.2	17.9	21.8	23.6	10.8	12.2	0.0	14.0	33.3	38.3
	6	16.9	18.7	22.2	23.9	12.1	13.5	2.0	20.0	46.5	41.2
平均 (合計)	16.4	17.0	21.7	22.6	11.5	11.4	54.5	114.7	194.8	219.7	
6 月	1	20.2	19.3	26.8	24.8	15.5	14.0	0.0	16.1	42.7	38.0
	2	21.1	20.1	26.8	25.0	15.6	15.4	3.5	17.8	46.7	32.6
	3	21.9	20.6	25.3	25.2	19.0	16.1	216.5	17.1	9.2	31.5
	4	18.9	21.6	23.6	26.0	15.1	17.4	19.0	23.4	29.6	29.9
	5	21.3	21.7	26.6	25.8	15.3	18.1	25.5	45.0	50.4	24.5
	6	22.5	22.8	27.2	26.7	18.0	19.5	69.5	42.7	26.8	23.2
平均 (合計)	21.0	21.0	26.1	25.6	16.4	16.7	334.0	161.2	205.4	179.8	

月 半旬	気 温 (°C)						降水量 (mm)		日照時間 (h)		
	平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
7 月	1	20.1	23.6	23.9	27.6	17.7	20.2	10.0	43.6	9.9	24.0
	2	23.0	24.1	26.4	28.4	20.4	20.4	82.0	32.4	12.0	27.7
	3	21.3	25.1	24.5	29.3	18.7	21.6	89.0	42.1	10.0	24.6
	4	23.0	25.2	27.4	29.5	16.3	21.5	3.0	35.3	23.9	31.0
	5	23.0	26.4	27.2	31.1	20.4	22.4	41.5	18.8	9.1	36.7
	6	24.5	26.7	28.7	31.4	22.2	22.6	49.0	13.0	15.0	46.4
平均 (合計)	22.5	25.2	26.4	29.6	19.3	21.4	274.5	185.2	79.9	190.4	
8 月	1	25.4	27.6	31.5	31.8	21.1	22.8	0.0	16.5	34.2	41.1
	2	28.3	26.8	33.1	31.6	24.4	22.6	1.0	22.2	29.0	36.7
	3	27.9	26.6	35.3	31.4	23.0	22.6	2.0	21.8	39.6	34.9
	4	26.3	26.1	32.6	31.0	21.6	22.4	0.0	18.4	56.4	35.1
	5	25.9	25.8	31.6	30.6	21.6	21.8	0.0	26.1	41.4	30.5
	6	28.1	25.4	34.3	30.4	23.9	21.5	0.0	29.4	64.1	38.4
平均 (合計)	27.0	26.4	33.1	31.1	22.6	22.3	3.0	134.4	264.7	216.7	
9 月	1	26.5	24.6	32.2	29.3	21.9	20.5	9.5	39.3	33.2	31.4
	2	25.1	23.4	32.1	28.0	21.1	19.6	15.0	43.5	30.2	26.3
	3	20.9	22.8	25.4	27.5	17.7	19.0	27.0	32.4	19.8	25.9
	4	20.5	21.9	25.6	26.6	16.7	17.7	86.5	40.4	18.2	26.1
	5	19.4	20.7	23.8	25.3	15.5	16.7	43.0	37.4	10.1	22.9
	6	18.7	19.9	22.8	24.6	15.2	15.6	19.5	41.3	16.9	24.5
平均 (合計)	21.9	22.2	27.0	26.9	18.0	18.2	200.5	234.3	128.4	157.1	
10 月	1	18.4	19.0	24.1	24.0	13.9	14.4	1.5	26.5	26.7	25.0
	2	16.8	18.2	20.8	23.3	13.1	13.6	18.0	22.4	12.1	26.7
	3	16.6	17.4	21.1	22.6	13.0	12.7	3.0	27.9	15.8	25.1
	4	13.8	16.1	20.6	21.4	8.4	11.1	2.0	37.1	28.5	27.5
	5	15.4	15.3	20.4	20.8	11.3	10.4	81.0	25.9	30.3	26.5
	6	13.9	14.5	19.3	19.8	9.8	9.5	2.5	21.2	36.3	29.3
平均 (合計)	15.8	16.8	21.1	22.0	11.6	12.0	108.0	161.1	149.7	160.2	
11 月	1	13.5	13.4	18.9	19.1	8.3	8.5	20.0	27.9	19.6	24.3
	2	11.6	13.6	15.6	18.8	8.9	8.9	20.0	21.2	11.1	23.1
	3	10.7	12.1	18.6	17.1	4.3	7.7	0.0	32.2	34.7	18.2
	4	15.8	10.6	20.8	15.8	10.1	6.3	2.0	21.8	33.1	17.9
	5	9.4	10.0	15.8	15.4	4.0	5.4	18.0	20.4	13.4	19.3
	6	8.3	9.4	12.8	14.0	4.6	5.2	26.5	30.2	9.5	16.7
平均 (合計)	11.6	11.5	17.1	16.7	6.7	7.0	86.5	153.8	121.4	119.5	
12 月	1	7.3	8.5	12.2	13.5	3.8	4.1	29.0	23.6	16.9	18.0
	2	7.4	7.7	14.2	12.3	1.6	3.7	0.0	26.1	24.5	16.4
	3	5.0	7.0	9.8	11.3	1.9	3.2	104.5	27.8	9.6	14.7
	4	1.3	6.3	4.0	10.5	-0.7	2.6	84.0	22.9	7.9	14.7
	5	3.9	6.4	9.1	10.6	0.5	2.6	22.0	22.3	14.3	15.1
	6	4.4	5.3	10.2	9.4	0.5	1.7	65.0	27.6	20.1	17.2
平均 (合計)	4.9	6.9	9.9	11.3	1.3	3.0	304.5	150.5	93.3	96.0	

<本業務年報中の表における注意事項>

表中に記載されている「-」及び「空欄」は、「調査未実施」もしくは「データの蓄積年数が少ないことによる平年値の省略」を示す。

鳥取県病虫害防除所

〒680-1142 鳥取市橋本260
TEL : (0857) 53-1345
FAX : (0857) 53-0723
E-mail : byougaichu@pref.tottori.lg.jp

<ホームページアドレス>
<http://www.jppn.ne.jp/tottori/>
